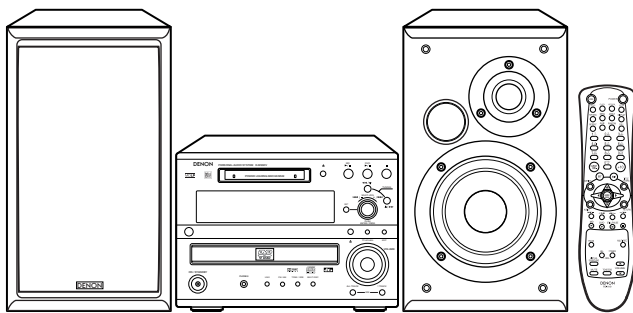
DENON
取扱説明書

D-MS5DV

PERSONAL AUDIO SYSTEM

パーソナル オーディオ システム

安全にお使いいただくために一必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

目　次

1 安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について　この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害のみの発生が想定される内容を示しています。

【絵表示の例】

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警 告

■安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

電源プラグをコンセントから抜け

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

内部に異物を入れない

ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

キャビネット（天板・裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警 告 つづき

■安全上お守りいただきたいこと

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

ACアウトレットのご使用は表示供給電力内で

接続する装置の消費電力の合計が表示供給電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。
また供給電力内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器（電熱器具・ヘアードライヤー・電磁調理器など）は接続しないでください。

雷が鳴り出したら

電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない

水場での
使用禁止

火災・感電の原因となります。

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注 意

■安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

DVD/CD挿入口やMD挿入口に手を入れない

指を挟まれないように注意

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。
万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

電池を交換する場合は

極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

■置き場所について

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど、高温になるところ

壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 注 意 つづき

■取り扱いについて

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- ●仰向けや横倒し、逆さまにする
- ●押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ●テーブルクロスをかけたり、じゅうたんや布団の上に置いて使用する

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■お手入れについて

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。

なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

ステレオ音のエチケット

◎楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
◎隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
◎ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。
◎特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
◎窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
◎お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

2 取り扱い上のご注意

結露現象について

■ 結露とは

冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

■ 結露が起こる条件は

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、本機内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。
結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。

■ 結露後の処置は

◎結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1～2時間で使用できるようになります。

◎ディスクに露が付いている場合がありますので、きれいに拭き取ってください。

テレビ放送の画面にしま模様が入る場合

■ 本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、テレビ放送の電波状態によりしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。テレビ放送を見る場合には本機の電源を切ってご覧ください。

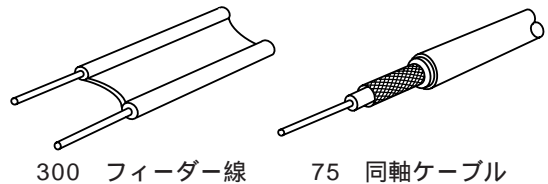
設置の際のご注意

■ 本機やマイコンを搭載した電子機器をチューナーやテレビと同時に使用する場合、チューナー・テレビの音声や映像に雑音や画面の乱れが生じることがあります。このような場合には次の点に注意してください。

◎本機をチューナーやテレビからできるだけ離してください。

◎チューナーやテレビのアンテナ線を本機の電源コードおよび入出力などの接続コードから離して設置してください。

◎特に室内アンテナや300Ωフィーダー線をご使用の場合に起こりやすいので、屋外アンテナおよび75Ω同軸ケーブルのご使用をおすすめします。

300Ωフィーダー線　　75Ω同軸ケーブル

携帯電話使用時のご注意

■ 本機の近くで携帯電話を使用すると、雑音（ノイズ）が入ることがあります。携帯電話は本機から離れた位置でお使いください。

使わないときは

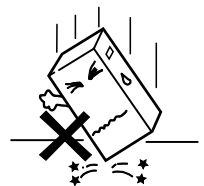
■ ふだん使わないとき

◎電源を切ってください。

◎外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 移動させるとき

◎衝撃を与えないでください。

◎MDやDVD/CDを取り出し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、他のオーディオ機器との接続コードなどを外したことを確認してから移動させてください。
ディスクを装着したまま移動させると、ディスクが本機の内部に脱落して故障の原因になることがあります。

取り扱い上のご注意（つづき）

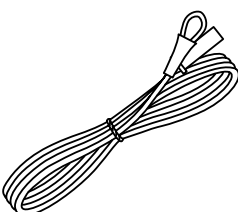
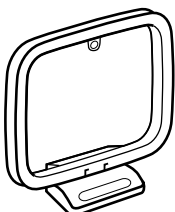
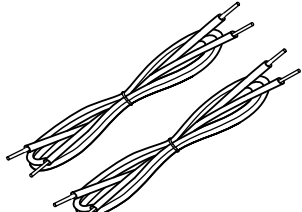
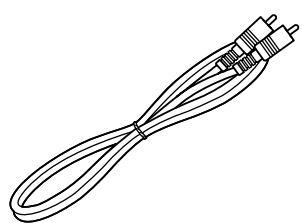
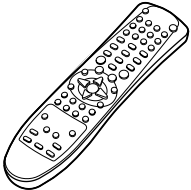
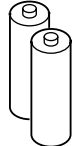
その他のご注意

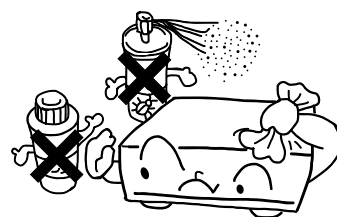
■ 電源ボタンを押してスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電していますので、外出やご旅行の場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 説明のためのイラストは、原型と異なる場合があります。

■ 取扱説明書を保存してください。
この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保存してください。また、裏表紙の記入欄に必要事項を記入しておくと便利です。

お手入れについて

■ キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布を使用して軽く拭き取ってください。

◎化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。

3 付属品について

★ 本体とは別に下記の付属品がついています。ご使用の前にご確認ください。

FM用アンテナ　1本	AM用ループアンテナ　1個	スピーカーコード　2本
ビデオコード　1本	リモコン（RC-919）　1個	単4形乾電池　2本
取扱説明書（本書）　1冊	製品のご相談と 修理・サービス窓口一覧表　1枚	保証書（本体部の梱包箱に貼り付けられています。）

※ スピーカーは別梱包になっています。

4 保証とサービスについて

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

※修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
※当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

5 本機の特長

1. 外観品位の高さと高音質を徹底訴求

- アルミフロントパネルをベースに、ボリウムノブ、POWERボタンにもアルミキャップを使用し、アルミの高級感を創出。
- 高音質設計のスピーカーをはじめとし、パワーアンプ回路も上位モデルと同一のものを採用するなど徹底した高音質設計を実施しています。

2. 2モードバーチャルサラウンド搭載

- 再生ソースに応じた2種類の下記バーチャルサラウンド機能を搭載し、効果的なサラウンドを実現します。

① **シネマモード**：
映画ソースの再生に適したサラウンドモード
② **ミュージックモード**：
音楽ソースの再生に適したサラウンドモード

3. CDからMDへ2倍速録音

- CDからMDへ2倍速録音機能を搭載しています。
- 著作権保護のため、一度高速録音すると録音を開始した時点から74分間、同じ曲は高速で録音することはできません。

4. MDグループ管理機能搭載

- 1枚のMDに録音された多数の曲を、任意のグループに分けて編集できる、MDグループ管理機能を搭載しています。グループ分けした曲はグループ名を付けたり、グループでの編集が可能です。

5. CD-R/RWディスクの再生

- 音楽用CDレコーダーで録音されたCD-R/RWの再生が可能です。但し、一部記録状態の悪いCD-R/RWは再生できない場合があります。

6. コピープロテクト済みのディスクもMDに録音可能（シンクロ録音時のみ）

- デジタル録音されたCD-R/RWなど、SCMSによりコピープロテクト記録済みのディスクであってもMDに録音が可能です。但し、この場合はアナログ録音になります。

7. MP3ファイル再生可能

- パソコンからダウンロードされたMP3ファイル形式で記録されたCD-R/RWディスクの再生が可能です。音楽CD約10枚分もの記録容量を持つMP3ファイル再生に対応することにより、長時間の連続再生も可能になりました。

8. 徹底した高音質設計を施したスピーカー

- ウーハーのコーン素材には、コンポスピーカーでも使用している高音質素材のグラスファイバーを採用しています。口径は12cmと余裕の大型設計です。
- 本機のスピーカーは防磁設計です。

6 DVD/ビデオCD/CDについて

(1) 再生できるディスク

★ ディスクのマークはディスクのレーベル、またはジャケットについています。

再生できるディスク	マーク（ロゴ）	記録されているもの	ディスクの大きさ
DVD ビデオ ＜注1＞	DVD VIDEO	デジタル音声 ＋ デジタル映像 （MPEG2方式）	12cm
DVD オーディオ ＜注1＞＜注2＞	DVD VIDEO		8cm
ビデオCD ＜注1＞	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	デジタル音声 ＋ デジタル映像 （MPEG1方式）	12cm 8cm
CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	デジタル音声 MP3	12cm
CD-R ＜注3＞	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable		
CD-RW ＜注3＞	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable		8cm

■ 下記のディスクは再生できません。

- リージョン番号が『2』または『ALL』以外のDVD
- DVDオーディオ　＜注1＞
- DVD-R/DVD-RW
- DVD+R/DVD+RW
- DVD ROM/DVD RAM
- CD-ROM（MP3ファイルは再生可能）
- VSD/CVD/SVCD
- CDV（**オーディオパートのみ再生できます。**）
- CD-G（**音声は出力されますが、画像は出力されません。**）
- フォトCD

など

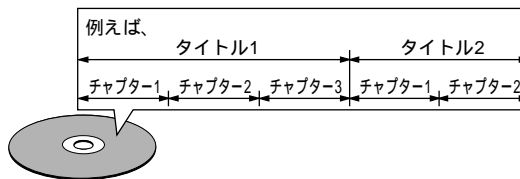
＜注1＞ DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCDの中にはソフト制作者の意図により、本書の説明通りに動作しないディスクがあります。
＜注2＞ DVDオーディオディスクは、DVDビデオ規格のビデオパートのみ再生できます。
＜注3＞ CD-R/RWは、記録状態によっては再生できない場合があります。

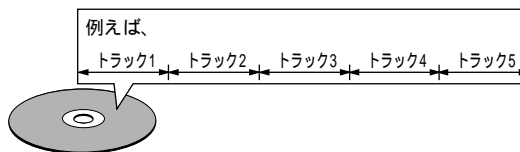
■ 記録されている音声の種類

本機はドルビーデジタル/DTSデコーダーを内蔵しているので右記ロゴの付いたディスクの再生が可能です。

■ ディスクに関する用語について

- **タイトル、チャプター**（DVDビデオ）

DVDビデオは、いくつかの大きな区切り（タイトル）と小さな区切り（チャプター）に分けられています。
それぞれの区切りには番号が割り当てられ、これらの番号をタイトル番号、チャプター番号と呼びます。

- **トラック**（ビデオCD/音楽CD）

ビデオCDや音楽CDは、いくつかの区切り（トラック）に分けられています。
この区切りには番号が割り当てられ、この番号をトラック番号と呼びます。

- **プレイバックコントロール**（ビデオCD）

『プレイバックコントロール付き』などとディスクやジャケットに書かれているビデオCDは、テレビに表示されるメニュー画面を見ながら見たい場面や情報を対話形式で楽しむことができます。
本書では、メニュー画面を用いて再生することをビデオCDの『**メニュー再生**』と呼びます。
本機はプレイバックコントロール付きビデオCDに対応しています。

ご注意

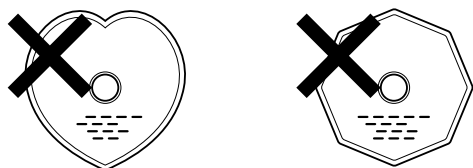
- 本機は国ごとに割り当てられた番号（リージョン番号）がDVDに表示されている場合には、DVDと本機のリージョン番号が一致しないと再生できません。

本機のリージョン番号は2です。

DVD/ビデオCD/CDについて（つづき）

（2）ディスクの取り扱いとご注意

ディスクについて

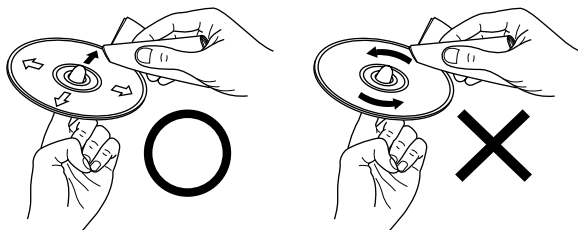
本機で再生できるディスクは、9ページにあるマークが付いているものです。
但し、ハート型や八角形など特殊形状のディスクは再生できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

ディスクの持ちかた

ディスクを装着したり取り出すときは、できるだけ表面を触らないようにしてください。

信号記録面（虹色に光っている面）には、指紋などを付けないようにしてください。

ディスクのお手入れのしかた

■ ディスクに指紋や汚れが付いた場合、音質や画質が低下したり、途切れることがありますので、拭き取ってからご使用ください。

■ 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。

内周から外周方向へ軽く拭く。

円周に沿っては拭かない。

ご注意

レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品も使用しないでください。

取り扱いについてのご注意

- 指紋、油、ゴミなどを付けないでください。
- 表面に傷を付けないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。
- 曲げたりしないでください。
- 熱を加えないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。
- 屋外などの寒い場所から急に暖かい場所へ移すと表面に水滴が付くことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- 再生後は必ずディスクを取り出してください。
- ほこり、傷、変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所には置かないでください。
  1．直射日光が長時間当たるところ
  2．湿気、ほこりなどが多いところ
  3．暖房器具などの熱が当たるところ

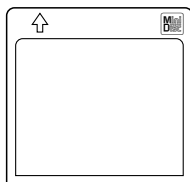
ディスクを装着する際のご注意

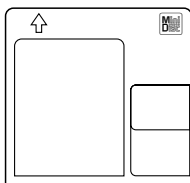
- ディスクは1枚だけ装着してください。2枚以上重ねて装着しますと故障の原因になり、ディスクを傷付けることにもなります。
- 8cmディスクは、アダプターを使用せずに確実にディスクガイド（凹部）に合わせて装着してください。正しく装着しないとディスクが脱落し、ディスクトレイが開かなくなる場合があります。
- ディスクトレイが引き込まれるときに、指を挟まないようにご注意ください。
- ディスク以外のものをディスクトレイに載せないでください。
- ひび割れ、変形または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

7 MDの取り扱いとご注意

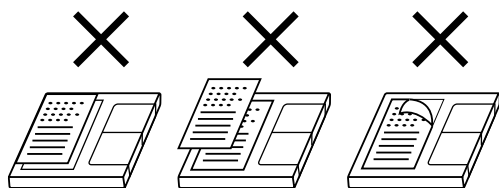
★ MDには、再生専用MDと再生/録音用MDがあります。
★ 本機で再生/録音できるMDは右のマークがついているものです。

再生専用MD

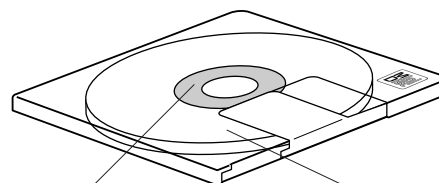
● 再生のみが可能なMDで、市販のミュージックMDソフトはこのタイプです。
● 再生専用MDは、CDと同じ光ディスクです。
● 曲の編集などはおこなえません。

再生/録音用MD

● 再生/録音が可能なMDで光磁気ディスクを使用しており、磁界変調方式で録音をおこないます。
● 書き替えも可能です。

取り扱いについてのご注意

MDはカートリッジの中にディスクが収納されているため、汚れや傷を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。しかしカートリッジの汚れやソリなどが誤動作の原因になることもあります。
次のことに注意してください。

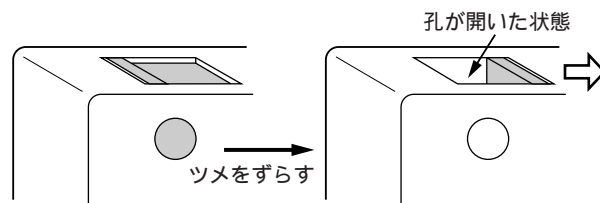
◎ディスク面に直接触れないでください。
◎シャッターを手で開けないでください。
◎ほこりやチリ、湿気の多いところには置かないでください。
◎直射日光が当たるところなど温度の高いところには置かないでください。
◎カートリッジにラベルを貼り付けるときは、必ず次のことをお守りください。
正しく貼り付けないと、MDが内部につまって取り出せなくなることがあります。

● ラベルは指定の場所（エリア内）に正しく貼ってください。（指定エリア以外には貼り付けないでください。）
● ラベルを重ねて貼り付けないでください。
● ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り替えて使用してください。

MDの書き込みについて

MDには曲や音声を録音する部分と、曲番や曲名などの情報を記録する部分があります。

■ TOC（トック）とは

MDには曲や音声とともに曲番、曲名や録音場所など曲を認識するための目次情報（TOC：Table of Contents）が記録されます。再生するときはこのTOCを手がかりにします。また、曲の編集はTOCを書き替えることによっておこなわれます。
このTOCは、編集の後にMD取り出しボタン（⏏）を押してMDを排出する操作と、電源操作ボタンを押して電源をスタンバイ状態にする操作をしたときにMDに書き込まれます。またTOCは録音が終わったときや録音を途中で止めるために停止ボタン（■）を押したときにもMDに書き込まれます。
書き込みをはじめると、“ TOC ” 表示が点滅します。このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。録音した情報が記録されません。

誤録音/誤消去防止ツメについて

再生/録音用MDには誤録音や誤消去を防止するためのツメが付いています。
録音した内容を誤って消さないために、このツメをずらして孔を開けた状態にしてください。（下図参照）この状態にすることで録音や消去などの編集ができなくなり、録音内容を保護することができます。
再び録音や消去などの編集をおこなう場合は、ツメを元に戻して孔を閉じてください。

お手入れについて

カートリッジの汚れやほこりなどは無理な力を加えないで、乾いた布で拭き取ってください。

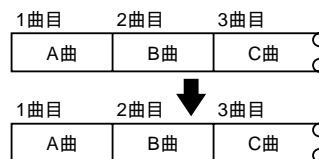
MDの取り扱いとご注意（つづき）

曲番について

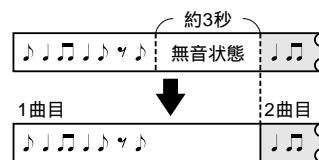
MDに曲や音声を録音すると、自動的に曲番が付けられます。追加録音したときは順に曲番が上がります。

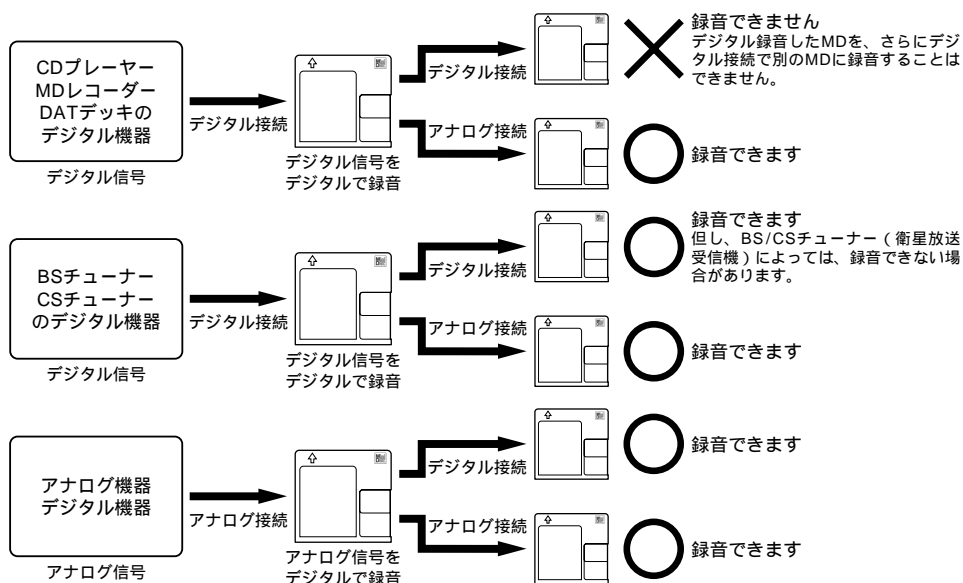
■ デジタルでMDに録音したとき（ファンクションがDVD/CD、OPTのとき）

CDについている曲番と同じところに､1曲ごとの曲番が自動的に付きます。

- CDからMDに録音したときにCDの曲番と録音されたMDの曲番が一致しないことがあります。
- ファンクションがDVD/CDのとき、CDのみデジタルで録音できます。

■ アナログでMDに録音したとき（ファンクションがDVD/CD、FM/AM、CD-R、TAPEのとき）

オートトラックインクリメント機能がオンのとき、約3秒以上の無音部分を曲間として、曲番が自動的に付きます。

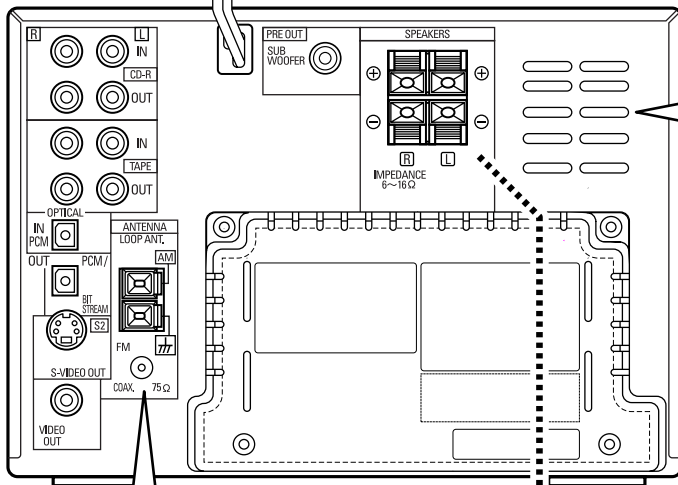
- 信号に雑音があるときなど録音する内容によっては、正しい位置に曲番が付かないこともあります。
- オートトラックインクリメント機能をオフにすることもできます。（75ページ参照）
- ファンクションがDVD/CDのとき、DVD、ビデオCD、MP3ディスクはアナログ録音になります。

デジタルコピーについて

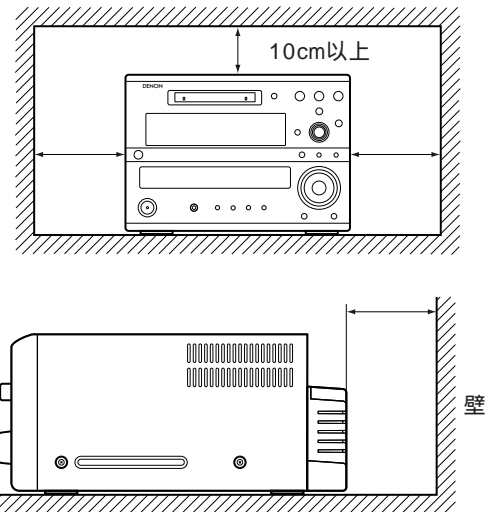
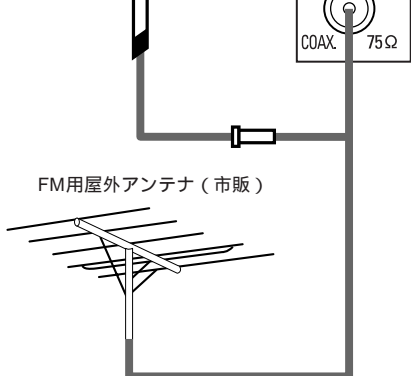
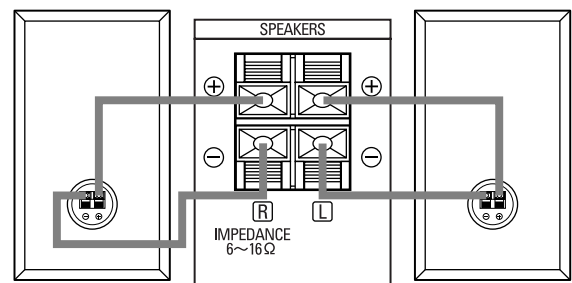
デジタル入力でCDなどを録音したMDをさらに別のMDやDATなどにデジタル録音（コピー）することはできません。これは、SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）により定められた規格です。

- 他の機器でデジタル信号をデジタル録音されたCD-R/RWは、本機ではアナログで録音することができます。（81、82ページ参照）

8 接続のしかた

(1) 通常の接続のしかた

ご注意

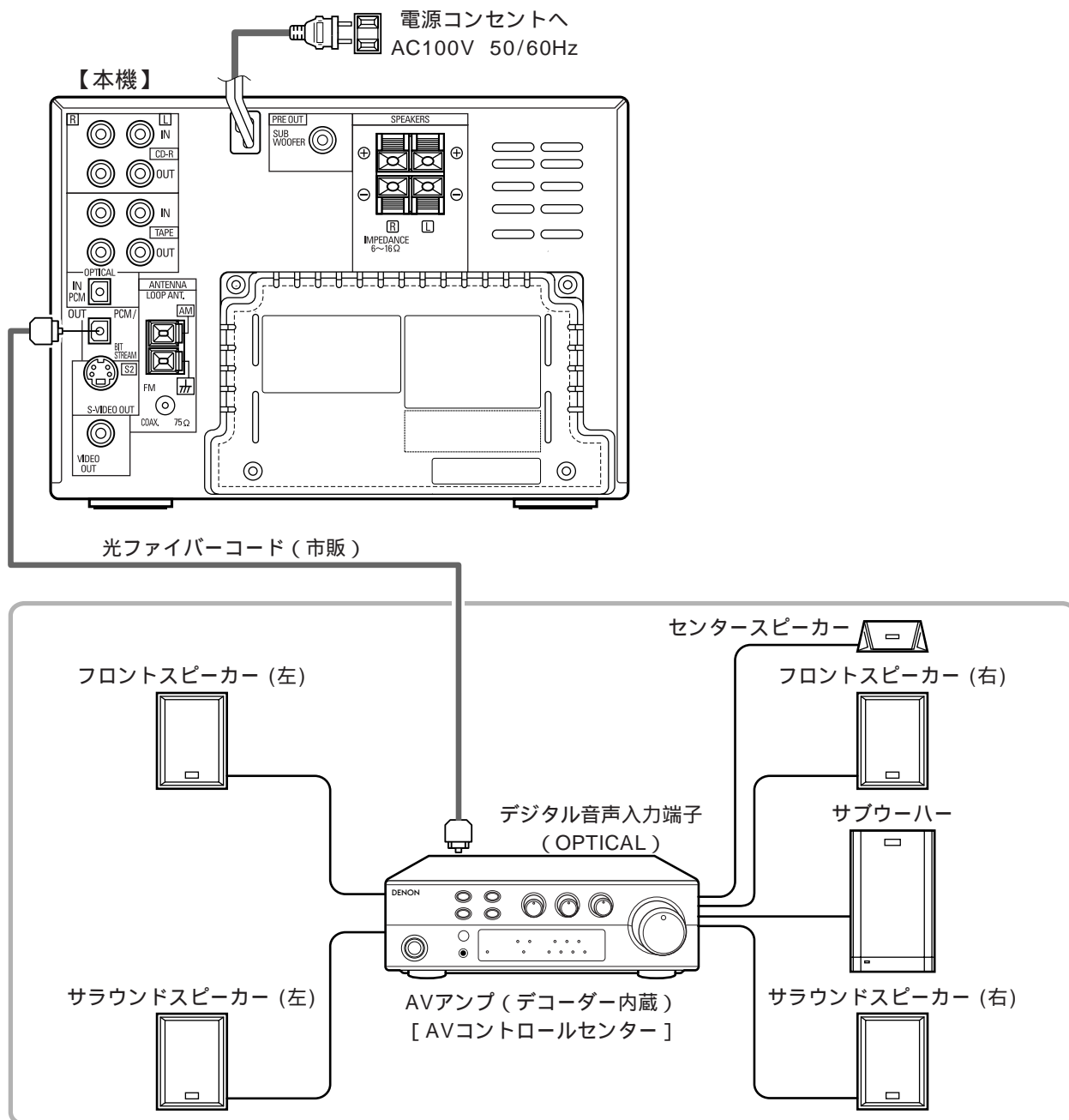
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。
- 接続コードは確実に差し込んでください。不完全な接続は雑音発生の原因になります。
- 大変危険ですので、アンテナ端子やアース端子をガス管に接続しないでください。

通風孔について

- 確実に放熱をするために、通風孔（背面、天面、側面、底面）をふさがないようにご注意ください。
- 本機の背面と壁との間隔は十分（10cm以上）に確保してください。

スピーカーシステムの接続

左チャンネル（正面から見て左側）のスピーカーシステムをL端子に、右チャンネルのスピーカーシステムをR端子に接続します。スピーカーは必ずインピーダンスが6Ω以上のものを使用してください。（18ページ参照）

接続のしかた（つづき）

(2）デコーダー内蔵のAVアンプとデジタル接続する

★ ドルビーデジタルまたはDTSで収録されたDVDの再生時は、本機のデジタル音声出力端子からドルビーデジタルまたはDTSのビットストリームが出力されます。ドルビーデジタルデコーダーまたはDTSデコーダー内蔵のAVアンプに接続することで、映画館やホールにいるような迫力と臨場感ある音声で楽しむことができます。

ご注意

- DTSに対応していないAVアンプ（デコーダ）を使用する場合は、DTSで収録されたDVDを再生すると耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。
- 著作権保護処理がされたリニアPCMのDVDを再生する場合は、48kHz/16bitを超えるソースは著作権への配慮からデジタル出力されません。このようなソースを再生する場合は、『初期設定』で『音声設定』の『LPCM変換』を『変換する』に設定（44ページ参照）してください。
- 96kHz未対応のAVアンプなどにデジタル接続する場合は、『初期設定』で『音声設定』の『LPCM変換』を『変換する』に設定してください。（44ページ参照）

■ 本機のデジタル音声出力端子から出力される音声について

【ビットストリーム出力の場合】

		設　　　　　定	
		デ　ジ　タ　ル　出　力	
	音 声 記 録 方 式	N O R M A L	P C M 変 換
DVD ビデオ	ドルビーデジタル	ドルビーデジタル ビットストリーム	2チャンネルPCM（48kHz /16bit）
	DTS	DTS ビットストリーム	2チャンネルPCM（48kHz /16bit）

【PCM出力の場合】

			設　　　　　定		
			L P C M 変 換 モ ー ド		
	音 声 記 録 方 式		変 換 し な い		変 換 す る
			著作権保護あり	著作権保護なし	
DVD ビデオ	リニア PCM	48kHz / 16〜24bit	出力しない　＊1	48kHz / 16〜24bit PCM	48kHz / 16bit PCM
		96kHz / 16〜24bit	出力しない	96kHz / 16〜24bit PCM	48kHz / 16bit PCM
ビデオCD	MPEG1		44.1kHz / 16bit PCM		44.1kHz / 16bit PCM
音楽CD	44.1kHz / 16bit リニアPCM		44.1kHz / 16bit PCM		44.1kHz / 16bit PCM
MP3 ディスク	MP3（MPEG-1 Audio Layer 3）		32〜48kHz / 16bit PCM		32〜48kHz / 16bit PCM

＊1：48kHz/16bitのソースは出力されます。

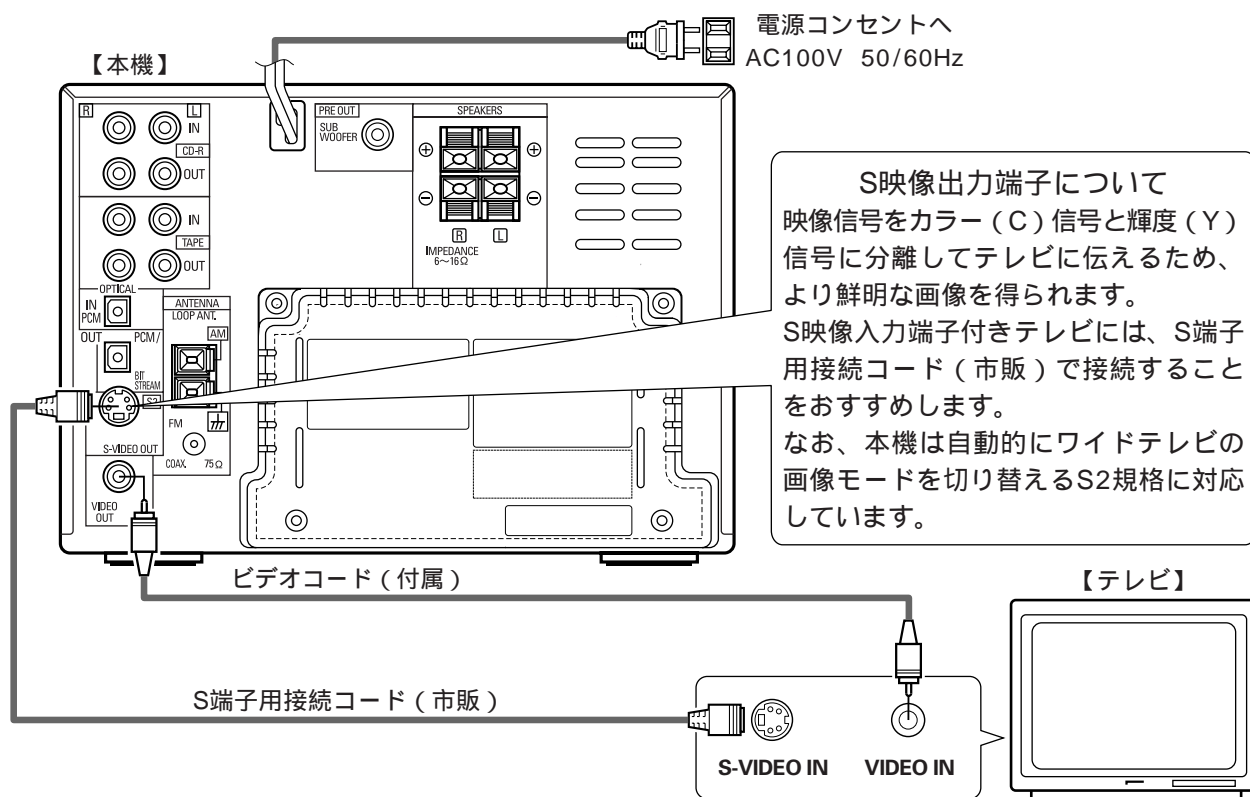
ビットストリームとは

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
デコーダによって5.1chなどのマルチチャンネル音声にデコード（復号）されます。

リニアPCM（LPCM）とは

圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。（音楽CDに用いられている信号記録方式です。）
音楽CDでは44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは48kHz/16bit〜96kHz/24bitで記録されていますので、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

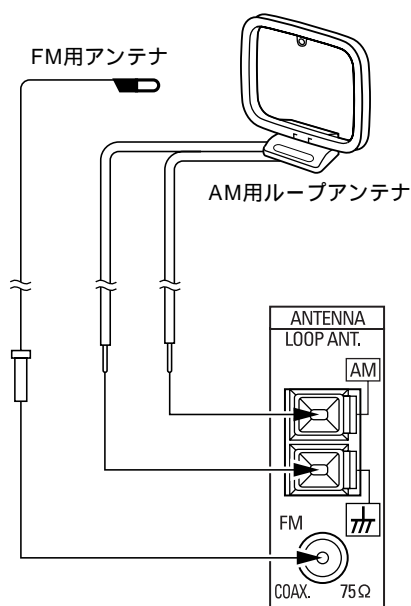
（3）本機とワイドテレビ/AVテレビを接続する（映像端子、S映像端子）

★ 付属のビデオコードで、テレビの映像入力端子と本機のVIDEO OUT端子、または市販のS端子用コードでS-VIDEO OUT端子を接続します。

ご注意

- 本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。VTR（ビデオテープレコーダー）経由で接続しないでください。（ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRを通して再生するとコピーガイドシステムにより、画面が乱れることがあります。）
- ワイドテレビと接続する場合は、『初期設定』で『映像設定』の『TVアスペクト』を『ワイド』に設定してください。また、通常のテレビと接続する場合は、『4：3 PS』または『4：3 LB』に設定してください。（42ページ参照。なお、工場出荷時は『4：3 PS』に設定されています。）
- 国内で使われているテレビはNTSC方式です。『初期設定』-『映像設定』の『TVタイプ』を『NTSCタイプ』に設定してください。（43ページ参照。なお、工場出荷時は『NTSCタイプ』に設定されています。）

(4) アンテナのつなぎかた

FM用屋内アンテナの設置方法

FM放送を受信（55ページ参照）し、音を聞きながら歪みや雑音の最も少ない位置にアンテナの先端をテープや押しピンなどで固定してください。
付属のFM用アンテナは電波が十分強い場所などでの一時的な受信のためのものです。良好な受信のためには、FM用屋外アンテナを使用した75Ω同軸ケーブルの接続をおすすめします。

FM用屋外アンテナのつなぎかた

付属のFM用アンテナで放送がきれいに受信できないときはFM用屋外アンテナを使用し、同軸ケーブルに市販の変換アダプターをつないで、本機のFMアンテナ端子（FM COAX. 75Ω）に接続してください。

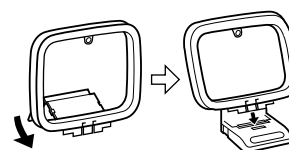
屋外アンテナを立てる場所について

- 放送局の受信アンテナがある方向に立てます。
- ビルや山のかげなどでは、最も良く受信できるところに立てて方向を変えてください。
- 送電線の下には立てないでください。送電線がアンテナに触れると大変危険です。
- 自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路から離れたところへ立ててください。
- 落雷の恐れがありますので、あまり高いところには立てないでください。

AM用ループアンテナの設置方法

AM放送を受信（55ページ参照）し、音を聞きながら本機からできるだけ離して歪みや雑音の最も少ない位置に設置してください。接続の極性を逆にした方が良い場合もあります。
AM用ループアンテナを接続しなかったり、また接続しても金属部分に接近していますと、AM放送を良好に受信することができません。

AM用ループアンテナの組み立てかた

付属のAM用ループアンテナを図のように組み立てます。

AM用ループアンテナのつなぎかた

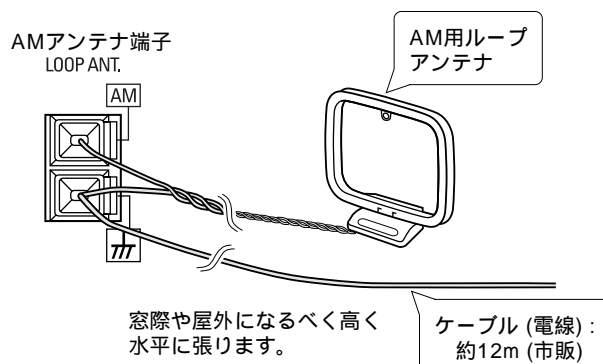
付属のAM用ループアンテナを図のようにアンテナターミナルに接続してください。

① レバーを倒します。

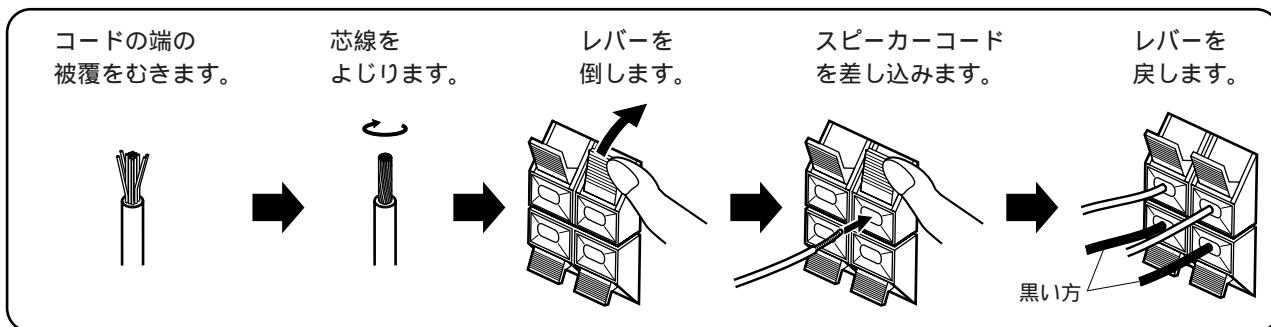
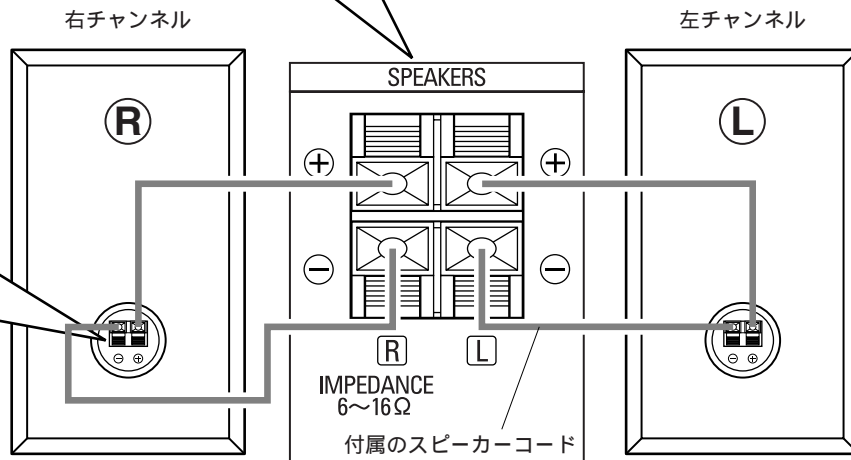
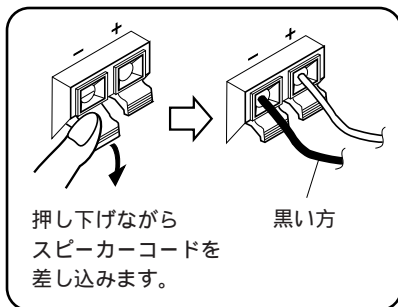
② アンテナ線を差し込みます。

③ レバーを戻します。

AM用屋外アンテナのつなぎかた

付属のAM用ループアンテナは取り外さないで、一緒に接続しておいてください。

（5）スピーカーのつなぎかた

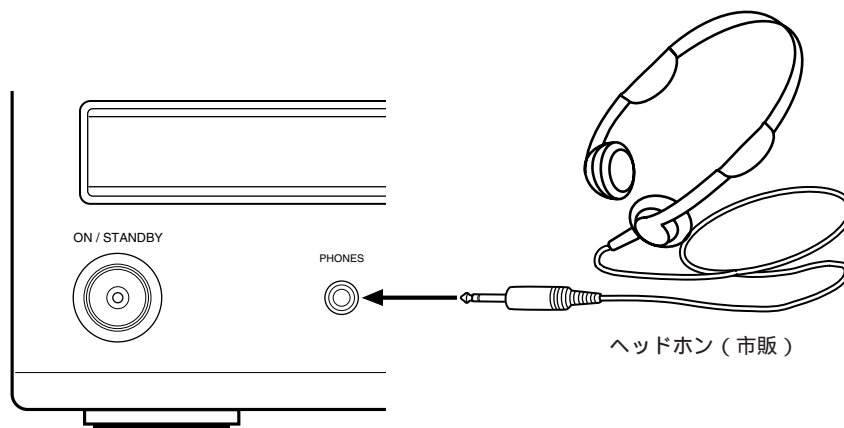
付属のスピーカーコードを使用して、本体とスピーカーを接続します。
- スピーカーを本体に接続する場合は、必ず電源コードを抜いてからおこなってください。
- スピーカーは左右非対象です。左チャンネル（L側）のスピーカーをL端子に、右チャンネル（R側）のスピーカーをR端子に接続します。

■スピーカーとコードのつなぎかた【赤端子が（＋）、黒端子が（－）です。】

使用上のご注意

- スピーカー端子とスピーカーは必ず同じ極性（⊕と⊕、⊖と⊖）を接続してください。極性を間違えて接続しますと、中央の音が抜けたようになり、楽器の定位がはっきりせず、ステレオの方向感が損なわれます。
- テープレコーダーの早送り信号や正弦波などの特定な信号を連続して再生することは、絶対に避けてください。

設置上のご注意

- 低音域が不自然に強調されたりする場合には、コンクリートブロックなどの固い台の上にのせるようにしてください。
- スピーカーの背面や前面に壁やガラス戸などがある場合には、共振や反射を防止するために、厚手のカーテンなどを掛けるようにしてください。
- スピーカーには強力なマグネットがついていますので、テレビ・時計・磁気テープなどの近くには置かないでください。
- スピーカーをレコードプレーヤーと同じ台や棚の上に設置しますと、ハウリングを起こすことがありますのでご注意ください。
- スピーカーを移動させる場合、サランネットに強く触れますと、スピーカーを破損させることがありますのでご注意ください。

ヘッドホンで聞く

ヘッドホンのプラグをPHONES端子に差し込む。

- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

※音量や音質の調整は、27、28ページを参照してください。

ご注意

耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

9 各部の名前

★ 各部のはたらきなど詳しい説明については（　）内のページを参照してください。

(1) フロントパネル

1 **電源操作ボタン（ON/STANDBY）** (27)

2 **ヘッドホン端子（PHONES）** (19)

3 **ライン切り替えボタン（LINE）** (74, 120)

4 **FM/AM切り替えボタン（FM/AM）** (55)

5 **音質/重低音ボタン（TONE/SDB）** (28)

6 **マルチ録音ボタン（MULTI REC）** (71, 78〜80, 83)

7 **シンクロ録音（オールトラック）ボタン（ALL TRACK）** (81)

8 **シンクロ録音（任意の1トラック）ボタン（1 TRACK）** (82)

9 **音量調節つまみ（VOLUME）** (27)

10 **タイトル/キャラクターボタン（TITLE/CHARA）** (52, 97, 100)

11 **編集ボタン（EDIT）** (91)

12 **DVD開閉ボタン（⏏）** (36)

13 **マルチジョグダイヤル**
エンター/プログラムボタン
（PUSH ENTER/PROG） (38 60, 69, 99)
【チューナーファンクション】
　プリセットボタン（－, ＋） (57)
【DVD/CD, MDファンクション】
　オートマチックサーチボタン
　（I◄◄, ►►I） (50, 54)
【各モード設定】
　マルチジョグダイヤル (29)

14 **【チューナーファンクション】**
　チューニングボタン（∨, ∧） (55)
【DVD/CD, MDファンクション】
　マニュアルサーチボタン
　（◄◄, ►►） (50, 54)

15 **停止ボタン（■）** (49, 52)

16 **DVD再生/一時停止ボタン（DVD ►/II）** (48, 50)

17 **MD再生/一時停止ボタン（MD ►/II）** (52)

18 **セットボタン（SET）** (29)

19 **MD取り出しボタン（⏏）** (52)

20 **MD挿入口** (52)

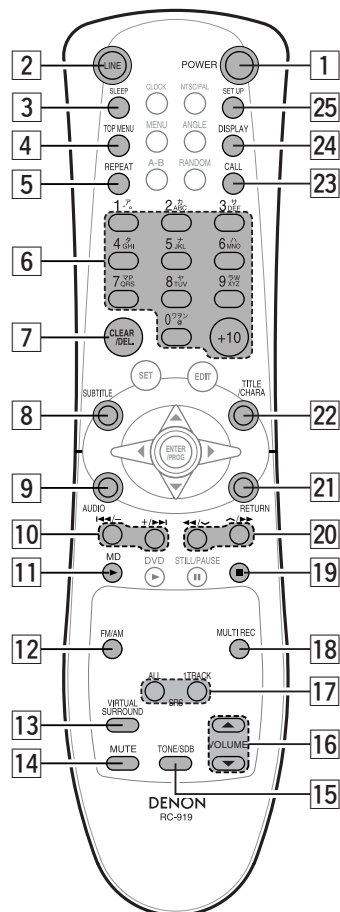
21 **ディスプレイ** (24, 25)

22 **リモコン受光部** (26)

23 **ディスクトレイ** (36)

各部の名前（つづき）

(2) リモコン

※は、リモコンだけの操作ボタンです。

1 **電源操作ボタン（POWER）** (27)

2 **ライン切り替えボタン（LINE）** (74, 120)

3 **スリープボタン（SLEEP）** (127)

4 **トップメニューボタン（TOP MENU）** (65)

5 **リピートボタン（REPEAT）** (58, 67, 68)

6 **文字入力/ダイレクトボタン** (53, 57, 62, 101)

7 **クリアー/消去ボタン（CLEAR/DEL.）** (60, 69, 96, 101)

8 **サブタイトルボタン（SUBTITLE）** (64)

9 **オーディオボタン（AUDIO）** (63)

10 **【チューナーファンクション】**
プリセットボタン（−, ＋） (57)
【DVD/CD, MDファンクション】
オートマチックサーチボタン（I◀◀, ▶▶I） (50, 54)

11 **MD再生ボタン（MD ▶）** (52)

12 **FM/AM切り替えボタン（FM/AM）** (55)

13 **バーチャルサラウンドボタン（VIRTUAL SURROUND）** (34)

14 **ミュートボタン（MUTE）** (27)

15 **音質/重低音ボタン（TONE/SDB）** (28)

16 **音量調節ボタン（VOLUME ▲▼）** (27)

17 **シンクロ録音ボタン（ALL-SRS-1TRACK）** (81, 82)

18 **マルチ録音ボタン（MULTI REC）** (71, 78〜80, 83)

19 **停止ボタン（■）** (49, 52)

20 **【チューナーファンクション】**
チューニングボタン（∨, ∧） (55)
【DVD/CD, MDファンクション】
マニュアルサーチボタン（◀◀, ▶▶） (50, 54)

21 **リターンボタン（RETURN）** (49)

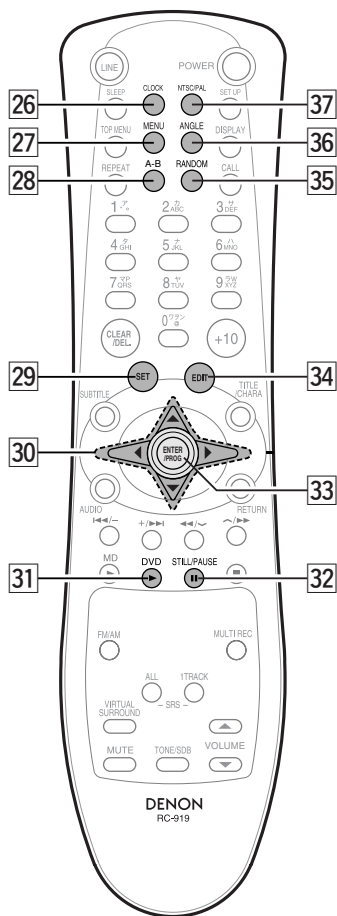
22 **タイトル/キャラクターボタン（TITLE/CHARA）** (52, 97, 100)

23 **コールボタン（CALL）** (60, 61, 70, 88, 97)

24 **ディスプレイボタン（DISPLAY）** (53 62, 67, 88)

25 **セットアップボタン（SET UP）** (37)

各部の名前（つづき）

※は、リモコンだけの操作ボタンです。

26 **クロックボタン（CLOCK）** （30）

27 **メニューボタン（MENU）** （65）

28 **A-Bリピートボタン（A-B）** （58）

29 **セットボタン（SET）** （29）

30 **カーソルボタン（◄, ►, ▲, ▼）** （38, 49, 63）

31 **DVD再生ボタン（DVD ►）** （48）

32 **スチル/一時停止ボタン（STILL/PAUSE ❚❚）** （50〜52）

33 **エンター/プログラムボタン（ENTER/PROG）** （38, 60, 69, 99）

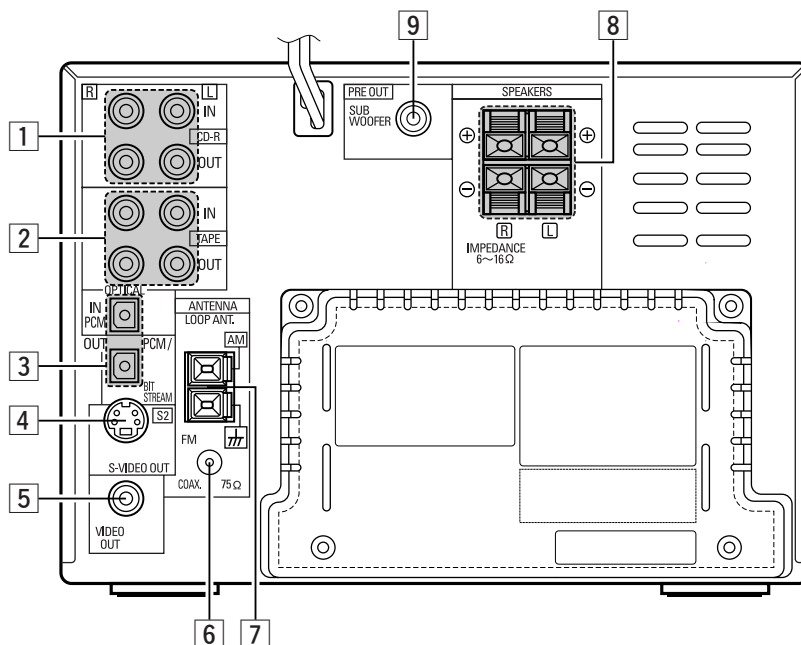
34 **編集ボタン（EDIT）** （91）

35 **ランダムボタン（RANDOM）** （59, 67, 68）

36 **アングルボタン（ANGLE）** （64）

37 **NTSC/PAL切り替えボタン（NTSC/PAL）** （本頁）
本機のビデオ出力フォーマット（NTSC/PAL）を切り替えるときに使用します。

各部の名前（つづき）

(3) リアパネル

1 **CDレコーダー入出力端子（CD-R）** （118, 119）

2 **カセットデッキ入出力端子（TAPE）** （118, 119）

3 **光入出力端子（OPTICAL）** （14, 118, 119）

4 **S映像出力端子（S-VIDEO OUT）** （16）

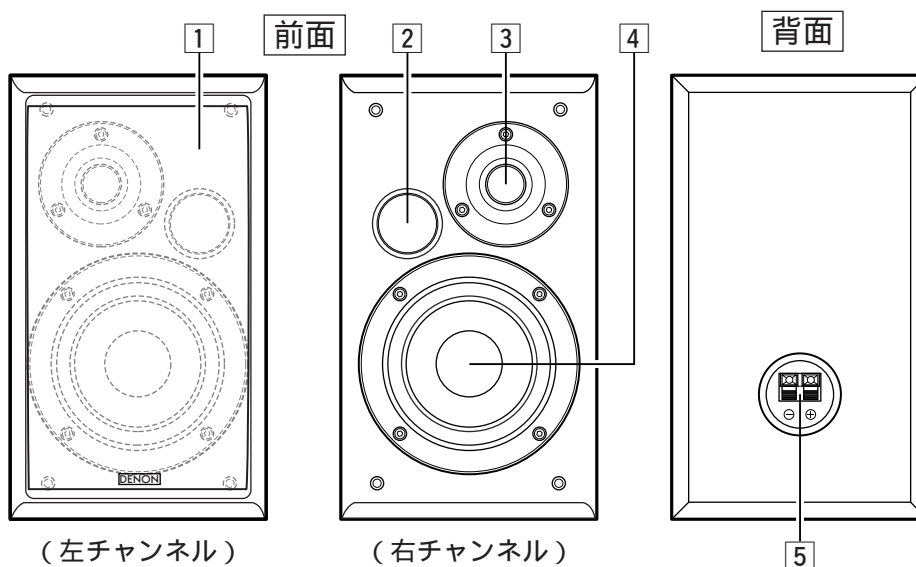
5 **映像出力端子（VIDEO OUT）** （16）

6 **FMアンテナ端子（FM）** （13, 17）

7 **AMアンテナ端子（AM）** （13, 17）

8 **スピーカー端子（SPEAKERS）** （13, 18）

9 **プリアウト端子（PRE OUT）** （119）

(4) スピーカー

1 **スピーカーネット（着脱式）**

2 **バスレフダクト**

3 **ツィーター**

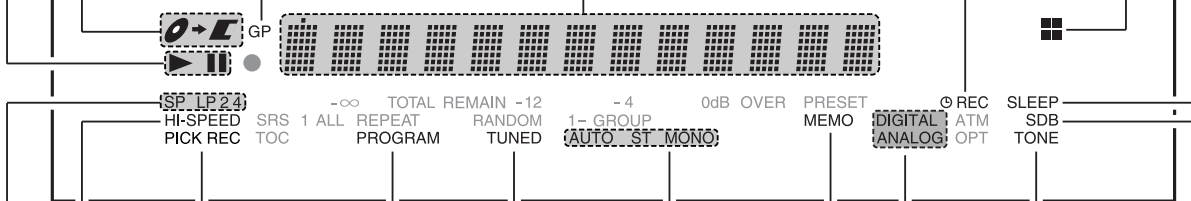
4 **ウーハー**

5 **スピーカー接続端子**

各部の名前（つづき）

(5) ディスプレイ

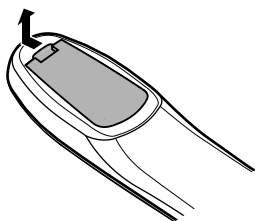
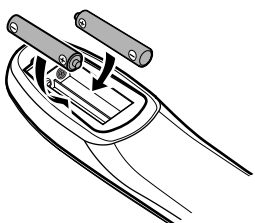
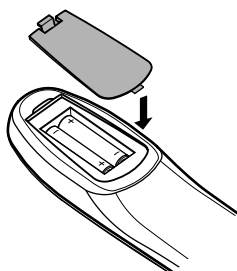
★ ディスプレイの明るさは、3段階に調節できます。（32ページ参照）

各部の名前（つづき）

● リピート再生
・全曲リピート：ALL REPEAT
（フォルダーリピート）
・1曲リピート： 1 REPEAT
（シングルリピート）
・A-Bリピート： REPEAT A-B
● シンクロ録音
・全曲シンクロ録音：●
SRS ALL
・1曲シンクロ録音： ●
SRS 1
● マルチ録音ボタンが押されたとき
・●が点滅する。
ファンクションがDVD/CDで、MP3が記録されているディスクが入っているときに点灯します。
再生している音声フォーマットが点灯します。
放送局をプリセットするときにエンター/プログラムボタンを押すと点灯します。
オートトラックインクリメント機能がオンのときに点灯します。
録音レベル調整モードのときに点灯します。
96k/24bitのディスクのときに点灯します。
DIGITAL
DTS
PCM
96k 24bit
SP LP 2 4 MP3 -∞ TOTAL REMAIN -12 -4 0dB OVER PRESET REC SLEEP
HI-SPEED SRS 1 ALL REPEAT A-B RANDOM 1– GROUP ANGLE MEMO DIGITAL ATM
PICK REC TOC DVD PROGRAM TUNED AUTO ST MONO VIRTUAL 1 2 ANALOG OPT TONE
録音、消去およびタイトル入力などの編集操作がおこなわれ、MDの内容が変更されているときに点灯または点滅します。
ファンクションがOPTで、OPTICAL端子にデジタル機器が接続されているときに点灯します。
ファンクションがDVD/CDで、DVDビデオディスクが入っているときに点灯します。
バーチャルサラウンドが機能しているときに点灯します。
● VIRTUAL 1：シネマモード
● VIRTUAL 2：ミュージックモード
DVD/CDやMDの再生中にディスプレイボタンを押すと点灯し、曲の残り時間や経過時間などが確認できます。
また、MD停止時に押すと録音可能時間を表示します。
複数のアングルが記録されているディスクを再生しているときに点灯します。
● GROUP：
グループモードがオンのときに点灯します。
● 1-GROUP：
1-GROUP再生モードのときに点灯します。
ランダム再生のときに点灯します。

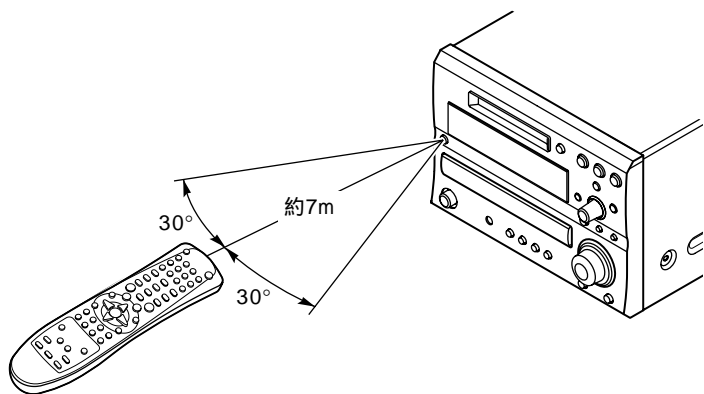
10 リモコンについて

★ 付属のリモコン（RC-919）を使用すると、離れたところから本機をコントロールすることができます。

（1）乾電池の入れかた

① リモコンの裏ぶたを外してください。

② 単4形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れてください。

③ 裏ぶたを元通りにしてください。

乾電池についてのご注意

- リモコンには単4形乾電池をご使用ください。
- リモコンの使用回数にもよりますが、乾電池は約1年毎に新しいものと交換してください。
- 1年経っていなくても、リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。）
- 乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示通りに、⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - ・乾電池は充電しないでください。
  - ・新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・乾電池をショートさせたり、分解や加熱、または火に投入したりしないでください。
- リモコンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

（2）リモコンの使いかた

- リモコンは、図のようにリモコン受光部に向けて使用してください。
- 直線距離では約7m離れたところまで使用できますが、障害物があったり、リモコン受光部に向いていませんと受信距離は短くなります。
- リモコン受光部を基準にして左右30 °までの範囲で操作できます。

ご注意

- リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
- 本機とリモコンの操作ボタンを同時に押さないでください。誤動作の原因になります。

11 電源『ON』/『スタンバイ』について

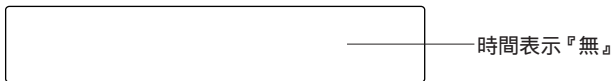
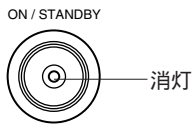
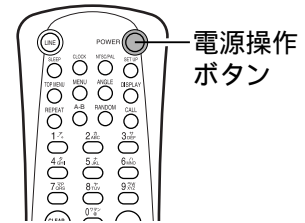
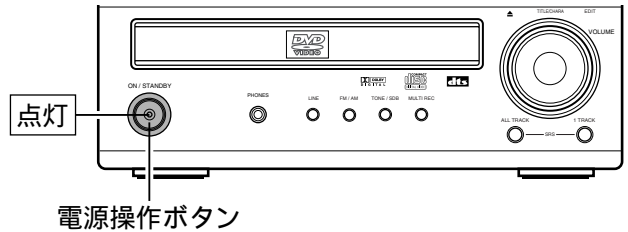
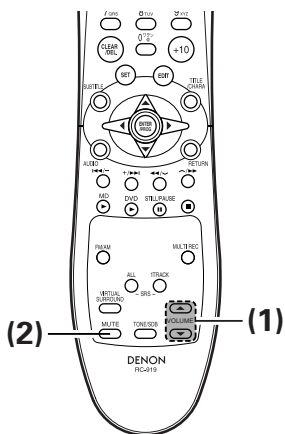
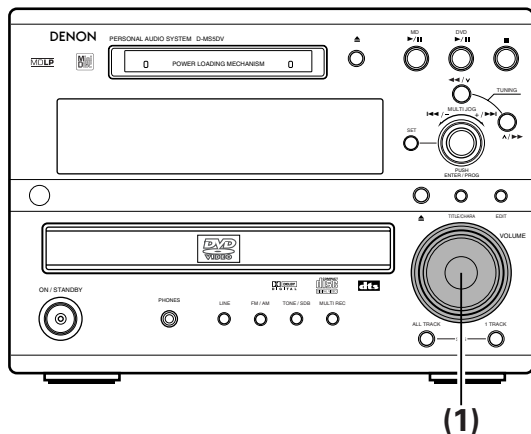
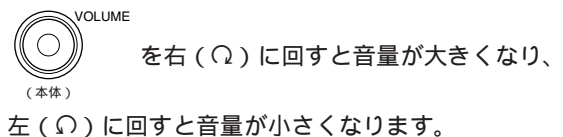
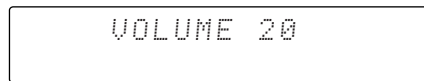
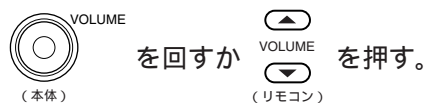
■ **電源を『ON』にするには…**
電源操作ボタンを押します。
インジケーターが緑色になります。

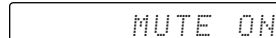
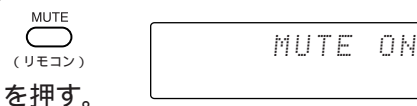
■ **電源を『スタンバイ』にするには…**
電源『ON』の状態から電源操作ボタンを押すと、
スタンバイ状態になります。
●電源をONにすることができるのは、
電源操作ボタンだけです。

12 音量や音質を調整する

ご注意
電子コントロール式の音量調節のため、つまみの操作は音量レベルの表示を確認しながらゆっくりと回転させてください。

(1) 音量を調整する

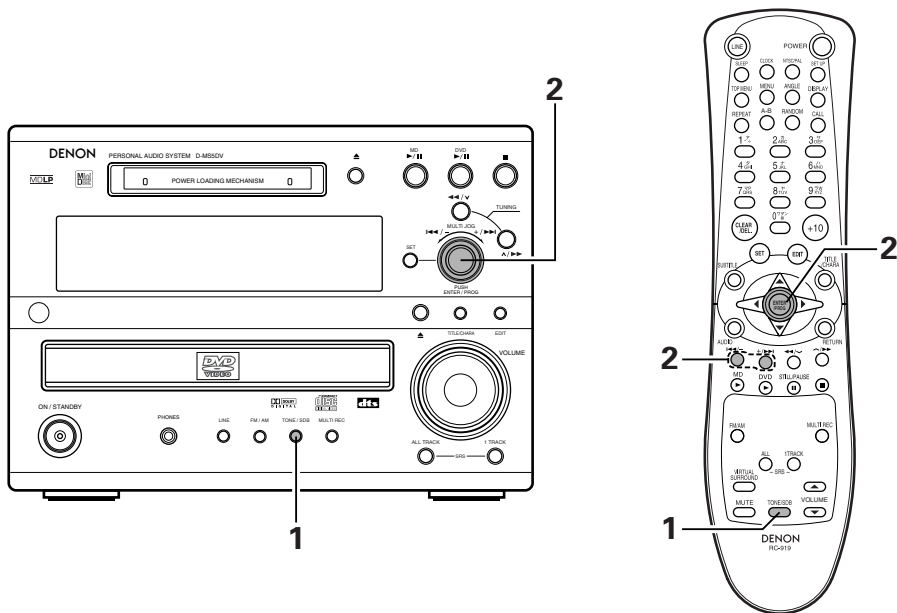
※ [VOLUME（本体）]を右（↻）に回すと音量が大きくなり、左（↺）に回すと音量が小さくなります。

※お買い上げのときは、『VOLUME 12』になっています。

(2) 一時的に消音する

※解除するときはもう一度 MUTE（リモコン）を押してください。
“MUTE OFF”が表示され、ミュートを解除します。

※ミュートの解除は、以下の操作でもおこなえます。
● VOLUME（本体）を回すか VOLUME（リモコン）を押す。
●電源を切る。

音量や音質を調整する（つづき）

(3) 音質を変える

1

または **を押す。**

※押すたびに次のように切り替わります。

（低音を調整します。）

（高音を調整します。）

（ソースダイレクト）

（重低音を調整します。）

解除

2

調整したいモードを選び、

BASS/TREBLEレベルモードを設定するとき

を回すか **を**

押して、レベルを調整した後、

または **を押す。**

2 つづき

SDBモードを設定するとき

を回すか **を**

押して、『ON』または『OFF』に設定した

後、 **または** **を押す。**

強調する

強調しない

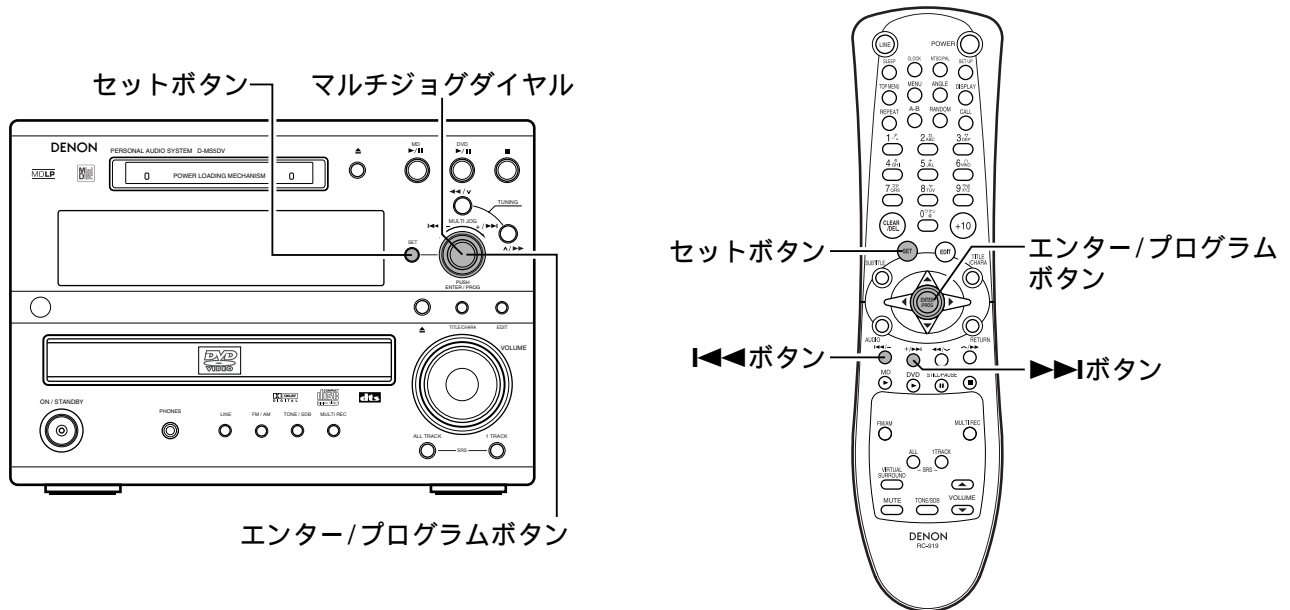
S.DIRECT（ソースダイレクト）を設定するとき

または **を押す。**

※ S.DIRECTではトーンとSDBをOFFにし、フラットな特性になります。

※各モードの設定は または を押さなくても設定されます。表示は操作後約5秒で自動的に通常表示に戻ります。

13 セット機能について

★ いろいろな機能の操作および設定をおこなうことができます。
★ セットボタンを押してからマルチジョグダイヤルを回すかリモコンの I◀◀、▶▶I ボタンを押すと、次の機能の操作および設定ができます。
★ 表示される機能名称は、各ファンクションやファンクション内の動作状態により異なります。

		マルチジョグダイヤル（I◀◀, ▶▶I）で選択
	1	REC LEVEL?
	2	VIRTUAL SUR.?
	3	GROUP ON/OFF?
	4	1-GROUP?
※	5	CLOCK
※	6	TIMER ON/OFF?
※	7	TIMER CHECK?
	8	AUTO PWR OFF?
※	9	BRIGHTNESS?
	10	ANALOG A.T.M?
	11	AUTO PRESET?

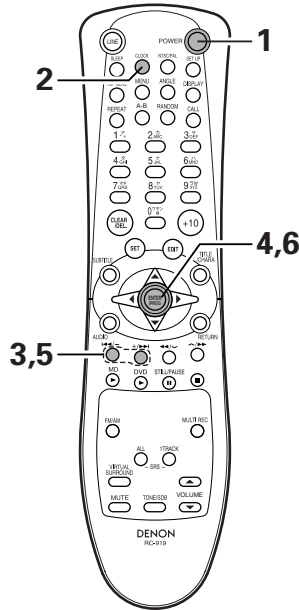
※は、スタンバイ状態からでも設定が可能です。

エンター/プログラムボタンを押す。

	マルチジョグダイヤル（I◀◀, ▶▶I）で選択	設定事項	参照ページ
1	L R ======= -∞ -12 -4 0dB OVER	録音レベルの調節	76, 77
2	VSS 1/2/OFF	バーチャルサラウンド機能の設定	35
3	GROUP ON/OFF	グループ機能のON/OFF設定	73
4	1-GP ON/OFF	1-GROUP機能のON/OFF設定	95
5	DISP/ADJUST	時計の確認/設定	31
6	TIMER ON/OFF	タイマーON/OFF設定	124
7	CHECK/ADJUST	タイマーの確認/設定	122〜124
8	AUTO ON/OFF	オートパワーオフのON/OFF設定	33
9	NORM/LOW/OFF	ディスプレイの明るさ設定	32
10	A.T.M ON/OFF	オートトラックインクリメント機能のON/OFF設定	75
11	PRESET START?	チューニング自動設定	57

14 時計の合わせかた

現在時刻の合わせかた（24時間表示）

1 クロックボタンからの操作

［例］現在時刻を『19時30分（午後7時30分）』に合わせるとき

1 （本体）または POWER（リモコン）を押して、電源を入れる。

2 CLOCK（リモコン）を3秒以上押す。
- 時の桁が点滅します。

3 MULTI JOG（本体）を回すか ⏮/－（リモコン） ＋/⏭（リモコン）を押して、時の桁を『19』に設定する。
- 時の桁の “19” が点滅します。

4 PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER/PROG（リモコン）を押す。
- 時の桁の“19”が点灯し、分の桁が点滅します。

5 MULTI JOG（本体）を回すか ⏮/－（リモコン） ＋/⏭（リモコン）を押して、分の桁を『30』に設定する。
- 分の桁の “30” が点滅します。

6 時計に合わせて、PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER/PROG（リモコン）を押す。
- 分の桁の “30” が点灯し、現在時刻が表示されます。

※ 時計の精度は、月におよそ1～2分程度のズレが生じることがあります。
このようなときは、時刻を合わせ直してください。
※ 電源コードを抜いていたり停電があったときなどは時計の設定は消えてしまいます。そのときはもう一度時計を合わせ直してください。

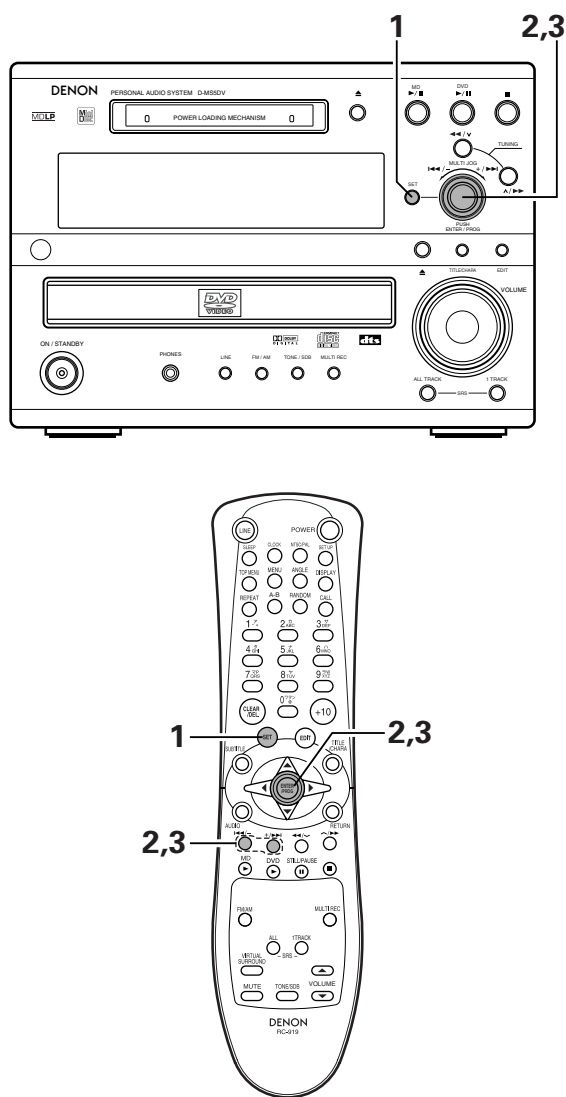
電源が入っているときに現在時刻を確認するには

CLOCK（リモコン）を押す。

- 現在時刻が約5秒間表示されます。

時計の合わせかた（つづき）

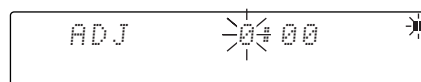
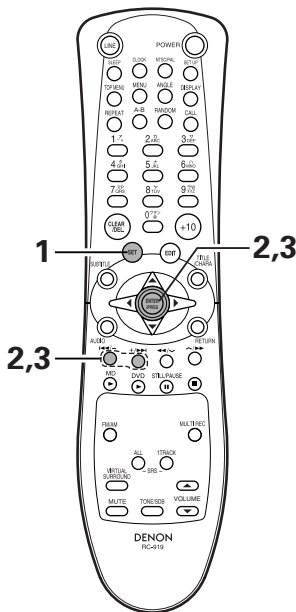
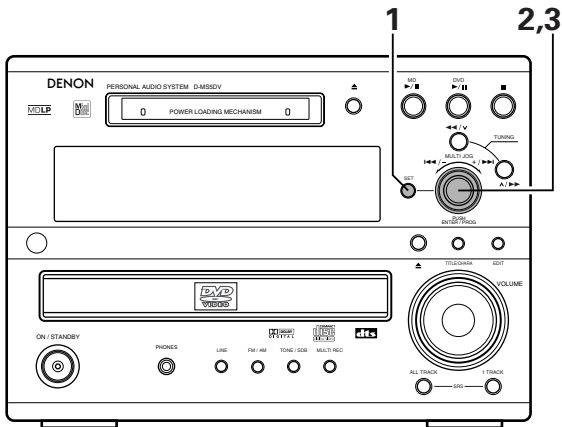
2 セットボタンからの操作

★ 電源が『ON』/『スタンバイ』のどちらでも操作できます。

時計を合わせるとき

現在時刻を確認するとき

操作*3* で "DISP." を選び、

● 現在時刻が約5秒間表示されます。

※ 時計の設定がされていないときは、自動的に設定モードになります。

15 表示部の明るさを変える

1 SET（本体）または SET（リモコン）を押す。

2 MULTI JOG（本体）を回すか |◀◀/–（リモコン） +/▶▶|（リモコン）を押して“BRIGHTNESS?”が表示されたら、PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER/PROG（リモコン）を押す。

BRIGHTNESS?

⇩

NORM/LOW/OFF

3 MULTI JOG（本体）を回すか |◀◀/–（リモコン） +/▶▶|（リモコン）を押して、選択する。

暗くするとき

“LOW”を点滅させ、

PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER/PROG（リモコン）を押す。

- ディスプレイが暗くなります。

消すとき

“OFF”を点滅させ、

PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER/PROG（リモコン）を押す。

- ディスプレイを消灯します。
- 電源操作ボタンのインジケーターは点灯（緑色）のままです。
- 何かボタンが押されると“LOW”より暗い明るさで約10秒間ディスプレイを点灯します。
- 録音中はディスプレイを消すことはできません。録音中は“LOW”より暗い明るさでディスプレイを点灯します。
- 各モード設定中（セット、エディット、MDLP/LP STAMP）は、ディスプレイを消しません。

元の明るさに戻すとき

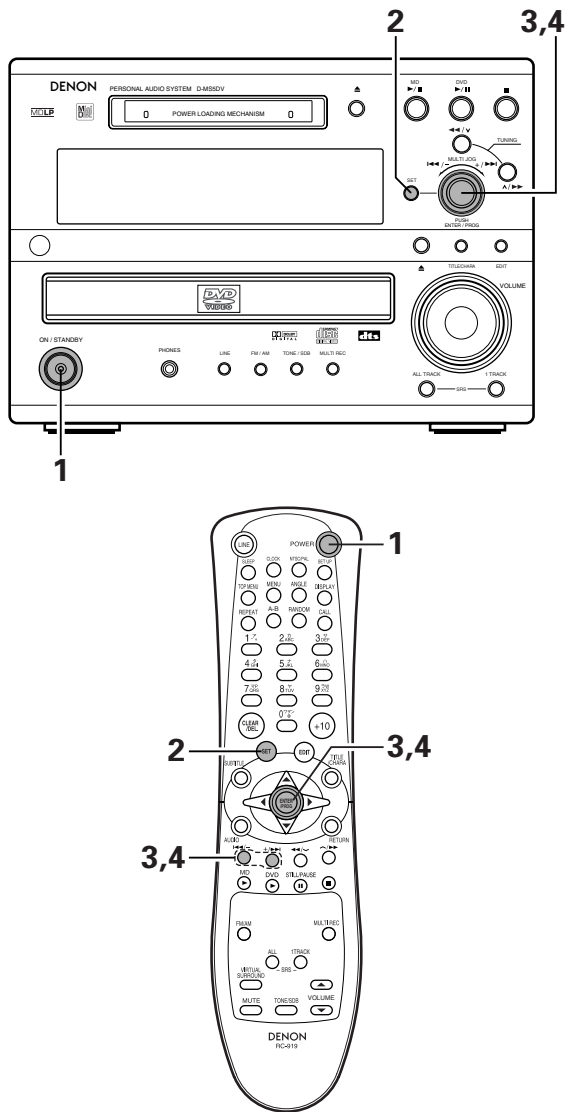
“NORM”を点滅させ、

PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER/PROG（リモコン）を押す。

- 元の明るさに戻ります。

16 オートパワーオフの設定

★ ファンクションがDVD/CDまたはMDのときに無操作状態が約30分続くと、オートパワーオフが『ON』のとき、自動的に電源を『スタンバイ状態』にします。

● お買い上げのときは、『OFF』の設定になっています。

【オートパワーオフを『ON』にするとき】

★ オートパワーオフが『ON』のとき、次のように機能します。

DVD	停止状態で働きます。 （本機のディスプレイに“STOP”が表示されているとき）
CD, MD	停止状態で働きます。
ビデオCD	停止状態で働きます。 メニュー画面のときは機能しません。
MP3 ディスク	停止状態で働きます。 （本機のディスプレイに“MP3 STOP”が表示されているとき）

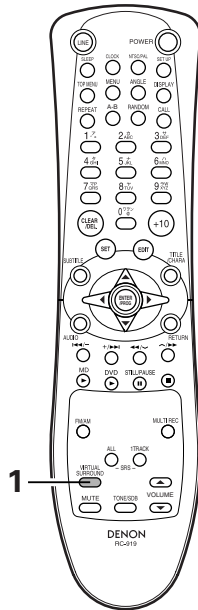
オートパワーオフを解除するには

操作4で“OFF”を点滅させ、

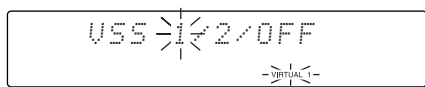
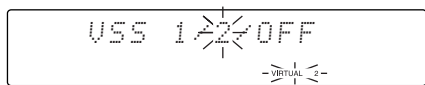
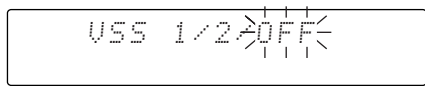
17 バーチャルサラウンド機能の楽しみかた

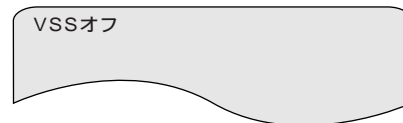
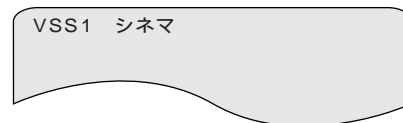
★ ファンクションがDVD/CDのときに機能します。
●お買い上げのときは、『OFF』の設定になっています。

1 バーチャルサラウンドボタンからの操作

1

VIRTUAL SURROUND（リモコン） **をくり返し押す。**

※押すたびにディスプレイの表示が次のように切り替わります。

（シネマモード）
VSS 1/2/OFF
（ミュージックモード）
VSS 1/2/OFF
（解除）
VSS 1/2/OFF

VIRTUAL 1： 映画ソースの再生に適しています。（シネマモード）
VIRTUAL 2： 音楽ソースの再生に適しています。（ミュージックモード）

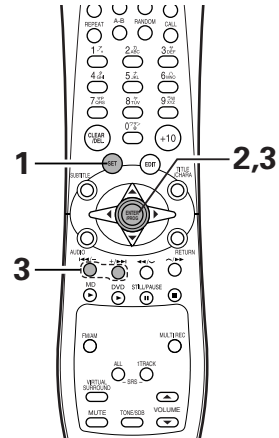
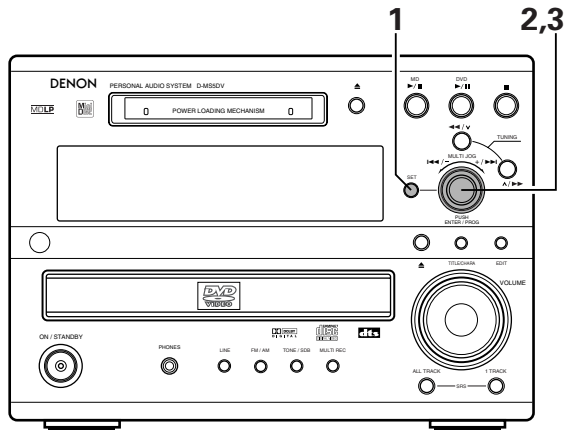
※ファンクションがDVD/CDのときは、押すたびにテレビ画面の表示が次のように切り替わります。

ご注意

- 『VIRTUAL 1』や『VIRTUAL 2』に設定していても、ソースによってはサラウンド効果が出にくいものや出ないものがあります。
- 音声が歪む場合は、バーチャルサラウンドを解除してください。
- ファンクションがDVD/CD以外のときは機能しません。
- DVD、ビデオCD、MP3ディスクを他の機器でアナログ録音中にバーチャルサラウンドモードにすると、バーチャルサラウンドが効いた状態で録音されます。

バーチャルサラウンド機能の楽しみかた（つづき）

2 セットボタンからの操作

1 音楽・映画ソースを再生中に

SET（本体）または SET（リモコン）を押す。

●“VIRTUAL SUR.?”が表示されます。

2 PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER /PROG（リモコン）を押す。

VSS 1/2/OFF

MULTI JOG |◀◀ / − + / ▶▶|（本体）を回すか |◀◀/−（リモコン） +/▶▶|（リモコン）を押して、選択する。

3

シネマモードにするとき

“1”を点滅させ、

PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER /PROG（リモコン）を押す。

ディスプレイ

VIRTUAL 1

VIRTUAL 1

テレビ画面

VSS1　シネマ

3 つづき

ミュージックモードにするとき

“2”を点滅させ、

PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER /PROG（リモコン）を押す。

ディスプレイ

VIRTUAL 2

VIRTUAL 2

テレビ画面

VSS2　ミュージック

バーチャルサラウンドを解除するとき

“OFF”を点滅させ、

PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER /PROG（リモコン）を押す。

ディスプレイ

VIRTUAL OFF

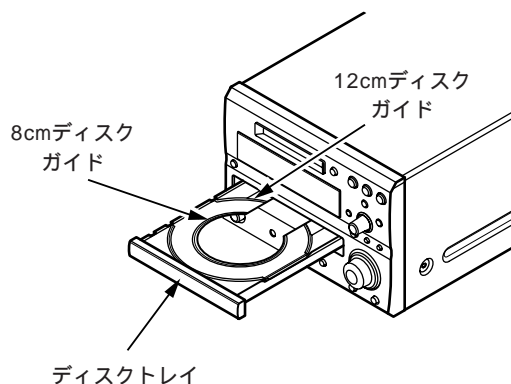
テレビ画面

VSSオフ

18 ディスクの入れかた（DVD/ビデオCD/CD）

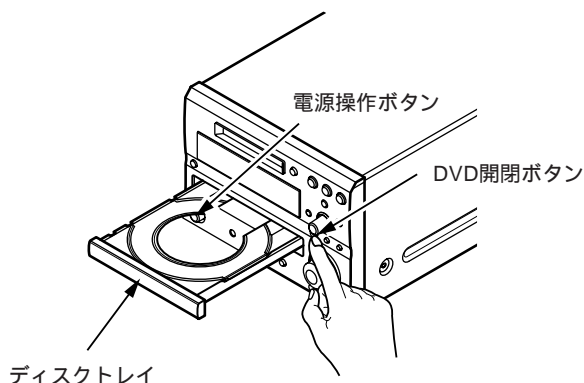
★ ディスクトレイにディスクを載せてください。

ご注意

ディスクを再生中に本機を移動させないでください。ディスクに傷を付けてしまいます。

（1）ディスクトレイの開閉

① 電源を入れてください。
② **DVD開閉ボタン（⏏）**を押してください。

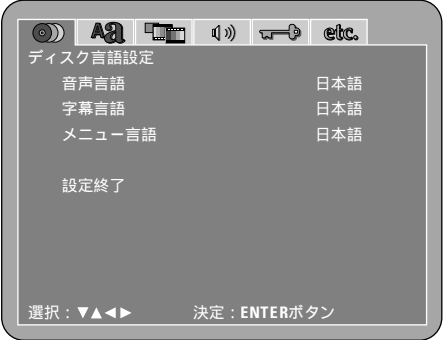
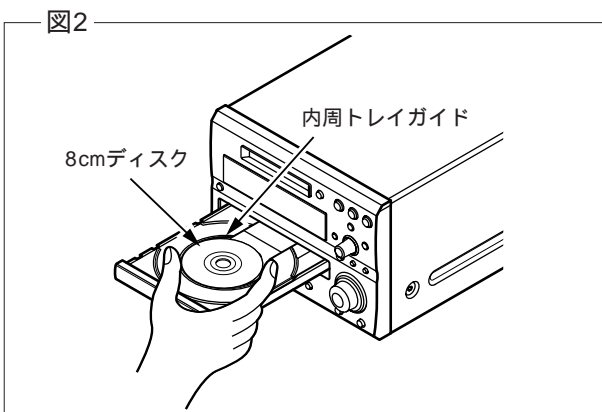
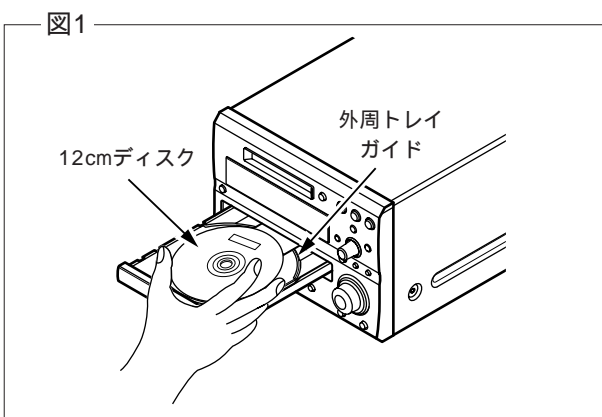
ご注意

- ディスクトレイを開閉するときは、必ず電源を入れてください。
- ボタンを鉛筆などで叩いたりしないでください。

（2）ディスクの入れかた

- ディスク情報面に手が触れないように持ち、ディスクトレイに載せてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを載せてください。
- 12cmディスクは外周トレイガイド（図1）に合わせ、8cmディスクは内周トレイガイド（図2）に合わせて水平に載せてください。
- **DVD開閉ボタン（⏏）**を押すと、ディスクは自動的に装着されます。
- ディスクトレイは、DVD再生/一時停止（DVD ▶/❚❚）**ボタン**を押しても自動的に閉まり、ディスクを装着することができます。

図1

図2

ご注意

- 万一指などを挟んだ場合は、慌てずに**DVD開閉ボタン（⏏）**を押してください。
- 電源が切られている状態でディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因となります。

19 初期設定の変更のしかた

★ 再生をはじめる前に、お客様のご使用状態に合わせて初期設定をおこなってください。

- 初期設定は電源を切っても次に変更するまで保持されます。

1	ON / STANDBY（本体）または POWER（リモコン）**を押して、電源を入れる。**	
2	DVD ►/II（本体）または DVD ►（リモコン）**を押して、入力を『DVD/CD』にする。** ※ DVDが入っているときは、■（本体）または ■（リモコン）を押して、停止状態にしてください。	
3	**停止中に** SET UP（リモコン）**を押す。** ※ 再生中でも一部の項目については初期設定を変更することができます。 ● 初期設定画面が表示されます。 **ディスク言語設定：** ディスクに準備されている各種言語が設定できます。 設定した言語がディスクにないときは、ディスクで決められている言語が選択されます。 **OSD設定：** Aa 初期設定画面の言語やTV画面に表示される " プレイ " などの言語を設定できます。 **映像設定：** ご使用されるテレビの画面モードおよび映像出力モードを設定します。 **音声設定：** 本機の音声出力モードを設定します。 **視聴制限設定：** お子様などに見せたくない成人向けDVDの再生が制限できます。ただし、成人向けDVDでもディスクに視聴制限レベルが記録されていない場合は視聴制限はできません。また、すべてのDVDの再生を禁止することもできます。 **特殊設定：** etc. クローズド・キャプション（字幕）および音声のダイナミックレンジ圧縮の設定ができます。	Aa etc. ディスク言語設定 音声言語　日本語 字幕言語　日本語 メニュー言語　日本語 設定終了 選択：▼▲◄►　決定：ENTERボタン

（次ページに続く）

初期設定の変更のしかた（つづき）

4

(リモコン) (リモコン) **で設定する項目を選ぶ。**

- **「ディスク言語設定」**を選択（39、40ページ参照）
- **「OSD設定」**を選択（41ページ参照）
- **「映像設定」**を選択（42、43ページ参照）
- **「音声設定」**を選択（44ページ参照）
- **「視聴制限設定」**を選択（45、46ページ参照）
- **「特殊設定」**を選択（47ページ参照）

※初期設定を終了するときは

(リモコン) で『設定終了』を選択して PUSH ENTER / PROG（本体） または ENTER /PROG（リモコン） を押すか、 SET UP（リモコン） を押す。

【初期設定項目一覧表】

※ 工場出荷時は太字の項目に設定されています。

ディスク言語設定

- 音声言語
  - 英語
  - フランス語
  - スペイン語
  - ドイツ語
  - **日本語**
  - その他
- 字幕言語
  - 切
  - 英語
  - フランス語
  - スペイン語
  - ドイツ語
  - **日本語**
  - その他
- メニュー言語
  - 英語
  - フランス語
  - スペイン語
  - ドイツ語
  - **日本語**
  - その他

OSD設定

- OSD言語
  - ENGLISH
  - **日本語**
- 壁紙
  - **青色**
  - 灰色
  - 黒色
  - ピクチャー

映像設定

- TVアスペクト
  - **4：3 PS**
  - 4：3 LB
  - ワイド
- TVタイプ
  - **NTSC**
  - PAL
  - マルチ
- ビデオモード
  - ビデオ
  - フィルム
  - **オート**

音声設定

- デジタル出力
  - **NORMAL**
  - PCM変換
  - 切
- LPCM変換モード
  - **変換しない**
  - 変換する

視聴制限設定

- 視聴制限レベル
  - レベル0
  - レベル1
  - レベル2
  - レベル3
  - レベル4
  - レベル5
  - レベル6
  - レベル7
  - **制限しない**
- パスワード
  - 変更
    - 旧パスワード
    - 新パスワード
    - 新パスワード（再入力）

特殊設定

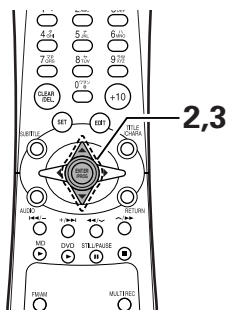
- キャプション
  - **表示しない**
  - 表示する
- ダイナミックレンジ圧縮
  - **切**
  - 入

『ディスク言語設定』を変更するには

1 37、38ページの操作*1* ～*4* をおこなう。

2

（リモコン）（リモコン）
で設定する項目を選び、

PUSH
ENTER / PROG
（本体）
または   （リモコン） **を押す。**

音声言語
スピーカーから出力される音声言語の設定ができます。

字幕言語
ＴＶに表示される字幕言語の設定ができます。

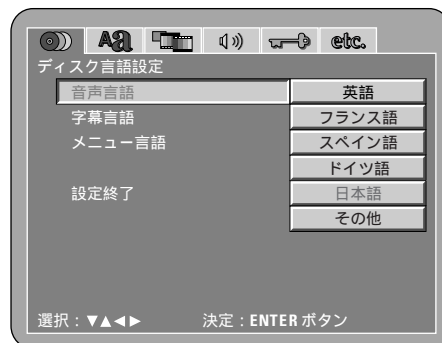
メニュー言語
トップメニュー（ディスクに記録されているメニュー）などの画面言語の設定ができます。

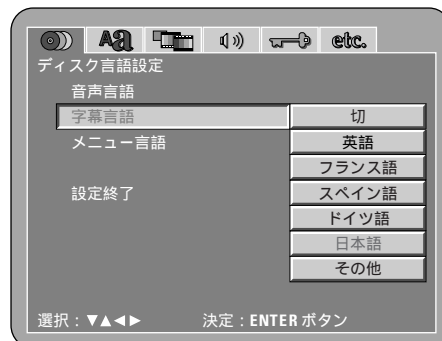
3

（リモコン）（リモコン）
で設定する項目を選び、

PUSH
ENTER / PROG
（本体）
または （リモコン） **を押す。**

■『音声言語』を選択したとき
それぞれ選択した言語の音声が再生されます。

◎**英語**
◎**フランス語**
◎**スペイン語**
◎**ドイツ語**
◎**日本語 ＜工場出荷時＞**
◎**その他**：番号ボタンで入力した言語の音声が再生されます。
（40ページの言語番号一覧表を参照）

■『字幕言語』を選択したとき
それぞれ選択した言語の字幕が再生されます。

◎**切**：字幕を表示させないときに選択します。ディスクによっては字幕表示を消すことができない場合があります。
◎**英語**
◎**フランス語**
◎**スペイン語**
◎**ドイツ語**
◎**日本語 ＜工場出荷時＞**
◎**その他**：番号ボタンで入力した言語の字幕が再生されます。
（40ページの言語番号一覧表を参照）

（次ページに続く）

初期設定の変更のしかた（つづき）

3

つづき

■『メニュー言語』を選択したとき

それぞれ選択した言語のメニュー画面が再生されます。

◎**英語**
◎**フランス語**
◎**スペイン語**
◎**ドイツ語**
◎**日本語 <工場出荷時>**
◎**その他**：番号ボタンで入力した言語のメニュー画面が再生されます。（下記の言語番号一覧表を参照）

※初期設定を終了するときは

（リモコン）

で『設定終了』を選択して

（本体）

または

（リモコン）

を押すか、

（リモコン）

を押す。

【言語番号一覧表】

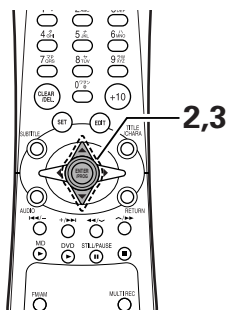
番号	言語名	番号	言語名	番号	言語名	番号	言語名
6565	アファル	7074	フィジー	7665	ラテン	8375	スロバキア
6566	アブハジア	7079	フェロー	7678	リンガラ	8376	スロベニア
6570	アフリカーンス	7082	フランス	7679	ラオ	8377	サモア
6577	アムハラ	7089	フリジア	7684	リトアニア	8378	ショナ
6582	アラビア	7165	アイルランド（スコットランド）	7686	ラトビア（レット）	8379	ソマリ
6583	アッサム			7771	マダガスカル	8381	アルバニア
6588	アイマラ	7168	ゲール	7773	マオリ	8382	セルビア
6590	アゼルバイジャン	7176	ガリチア	7775	マケドニア	8385	スンダ
6665	バシキール	7178	グアラニー	7776	マラヤーラム	8386	スウェーデン
6669	ベロルシア（白ロシア）	7185	グジャラト	7778	モンゴル	8387	スワヒリ
		7265	ハウサ	7779	モルダビア	8465	タミル
6671	ブルガリア	7273	ヒンディー	7782	マラッタ	8469	テルグ
6672	ビハール	7282	クロアチア	7783	マライ（マレー）	8471	タジク
6678	ベンガル（バングラ）	7285	ハンガリー	7784	マルタ	8472	タイ
		7289	アルメニア	7789	ビルマ	8473	ティグリニア
6679	チベット	7365	インターリングア	7865	ナウル	8475	トルクメン
6682	ブルターニュ	7378	インドネシア	7869	ネパール	8476	タガログ
6765	カタロニア	7383	アイスランド	7876	オランダ	8479	トンガ
6779	コルシカ	7384	イタリア	7879	ノルウェー	8482	トルコ
6783	チェコ	7387	ヘブライ	7982	オーリヤ	8484	タタール
6789	ウェールズ	7465	日本語	8065	パンジャブ	8487	トウイ
6865	デンマーク	7473	イディッシュ	8076	ポーランド	8575	ウクライナ
6869	ドイツ	7487	ジャワ	8083	パシュト	8582	ウルドゥー
6890	ブータン	7565	グルジア	8084	ポルトガル	8590	ウズベク
6976	ギリシャ	7575	カザフ	8185	ケチュア	8673	ベトナム
6978	英語	7576	グリーンランド	8277	レトロマンス	8679	ヴォラピュック
6979	エスペラント	7577	カンボジア	8279	ルーマニア	8779	ウォロフ
6983	スペイン	7578	カンナダ	8285	ロシア	8872	コーサ
6984	エストニア	7579	韓国（朝鮮）語	8365	サンスクリット	8979	ヨルバ
6985	バスク	7583	カシミール	8368	シンド	9072	中国語
7065	ペルシャ	7585	クルド	8372	セルボクロアチア	9085	ズールー
7073	フィンランド	7589	キルギス	8373	シンハラ		

『OSD設定』を変更するには

1 37、38ページの操作*1* ～*4* をおこなう。

2

（リモコン）（リモコン） で設定する項目を選び、

PUSH ENTER / PROG（本体） または （リモコン） を押す。

OSD言語

初期設定画面の言語やＴＶ画面に表示される " プレイ " などの言語の設定ができます。

壁紙

停止中やCD再生中、ディスプレイに表示する画面の設定ができます。

3

（リモコン）（リモコン） で設定する項目を選び、

PUSH ENTER / PROG（本体） または （リモコン） を押す。

■『OSD言語』を選択したとき

◎**ENGLISH**
OSDが英語で表示されます。

◎**日本語 <工場出荷時>**
OSDが日本語で表示されます。

■『壁紙』を選択したとき

◎**青色 <工場出荷時>**
壁紙を青色にします。

◎**灰色**
壁紙を灰色にします。

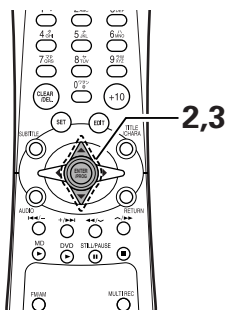
◎**黒色**
壁紙を黒色にします。

◎**ピクチャー**
壁紙をピクチャーにします。

※初期設定を終了するときは

 （リモコン） で『設定終了』を選択して PUSH ENTER / PROG（本体） または （リモコン） を押すか、 SET UP （リモコン） を押す。

初期設定の変更のしかた（つづき）

『映像設定』を変更するには

1 **37、38ページの操作*1* ～*4* をおこなう。**

2

（リモコン）（リモコン） **で設定する項目を選び、**

PUSH
ENTER / PROG
（本体）

または

（リモコン）

を押す。

TVアスペクト
ご使用されるテレビの画面サイズに応じて設定ができます。

TVタイプ
ご使用されるテレビの映像方式（NTSC、PAL、マルチ）に応じて設定ができます。

- **日本国内の映像方式はNTSCです。**

ビデオモード
DVDビデオディスクを再生するとき、その素材に最適な設定をビデオ・フィルム・オートの3つの中から選択できます。

3

（リモコン）（リモコン） **で設定する項目を選び、**

PUSH
ENTER / PROG
（本体）

または

（リモコン）

を押す。

■『TVアスペクト』を選択したとき

◎**4：3 PS <工場出荷時>**
従来サイズのテレビに接続したときに選択します。
ワイド画面で記録されているソフトでは、パン＆スキャン（左右の切れた画面）で再生します。ただしパン＆スキャン指定されていないソフトはレターボックスで再生します。

◎**4：3 LB**
従来サイズのテレビに接続したときに選択します。
ワイド画面で記録されているソフトではレターボックス（上下に黒い帯のある画面）で再生します。

◎**ワイド**
ワイドテレビに接続したときに選択します。
ワイドソフトはフル画面で再生します。

初期設定の変更のしかた（つづき）

3
つづき

■『TVタイプ』を選択したとき

◎**NTSC ＜工場出荷時＞**
通常は『NTSC』を選択してください。
（日本国内で使われているテレビはNTSC方式です。）

◎**PAL**
ご使用のテレビがPAL方式のときに選択します。

◎**マルチ**
ご使用のテレビがNTSC方式とPAL方式を兼用しているときに選択します。

■『ビデオモード』を選択したとき

◎**ビデオ**
ビデオ素材のディスクの再生に適しています。

◎**フィルム**
フィルム素材、またはプログレッシブスキャン方式で記録されたビデオ素材のディスクの再生に適しています。

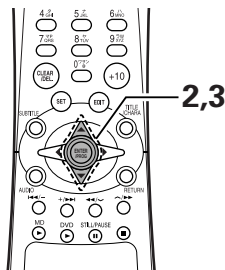
◎**オート ＜工場出荷時＞**
ディスクから素材のタイプ（フィルムまたはビデオ）を判定して、モードを切り替えます。フィルム素材とビデオ素材が混在しているディスクの再生に適しています。

『ビデオモード』を選択したときのご注意
特定のDVDビデオディスクを再生した際に、映像にスジ状のノイズが入ったり、不鮮明になったときは、ビデオモードの設定を変えてみてください。

※初期設定を終了するときは

（リモコン）
で『設定終了』を選択して
（本体）
または
（リモコン）
を押すか、
（リモコン）
を押す。

初期設定の変更のしかた（つづき）

『音声設定』を変更するには

1	**37、38ページの操作*1* ～*4* をおこなう。**	
2	**で設定する項目を選び、** **または** **を押す。** **デジタル出力** デジタル出力の信号形式の設定ができます。 **LPCM変換モード** リニアPCM音声で記録されたDVD再生時のデジタル音声出力の設定ができます。	
3	**で設定する項目を選び、** **または** **を押す。** **■『デジタル出力』を選択したとき** ◎**NORMAL <工場出荷時>** 本機のデジタル音声出力端子とドルビーデジタルまたはDTSデコーダ内蔵AVアンプを接続するときに選択します。ドルビーデジタルまたはDTSで記録されたDVDを再生したとき、それぞれのビットストリーム信号を出力します。また、リニアPCMで記録されたディスクを再生したときはリニアPCMで出力します。 ◎**PCM変換** ドルビーデジタル/DTSで記録されたDVDを再生したときは、48kHz/16bitのPCM（2ch）に変換して出力します。また、リニアPCMで記録されたディスクを再生したときは、リニアPCMで出力します。 ◎**切** デジタル音声出力端子からは、デジタル音声データが出力されません。 **■『LPCM変換モード』を選択したとき** ◎**変換しない <工場出荷時>** 48kHz/16bitで記録されたリニアPCM音声のみデジタル出力します。48kHz/20bit/24bit、96kHzのリニアPCM音声で記録されたDVDの再生時はデジタル出力されません。 ただし、著作権保護のための処理がされていないDVDの場合にはそのままの音声記録方式で出力されます。 ◎**変換する** 48kHz/20bit/24bit、96kHzのリニアPCM音声で記録されたDVDの再生時は、48kHz/16bitに変換しデジタル出力します。（PCM音声のデジタル出力は著作権への配慮から48kHz/16bit以下となります。）	 **※初期設定を終了するときは** で『設定終了』を選択して または を押すか、 SET UP（リモコン）を押す。

初期設定の変更のしかた（つづき）

『視聴制限設定』を変更するには

1 37、38ページの操作*1* ～*4* をおこなう。

2

で設定する項目を選び、

または

を押す。

視聴制限レベル
お子様などに見せたくない成人向けDVDの再生が制限できます。ただし、成人向けDVDでもディスクに視聴制限レベルが記録されていない場合は視聴制限できません。また、すべてのDVDの再生を禁止することもできます。

パスワード
パスワードの変更をするときに使用します。
パスワードの初期設定は“ 0000 ”です。

視聴制限設定
視聴制限レベル　制限しない
パスワード
設定終了
選択：▼▲◄►　決定：ENTER ボタン

3

■『視聴制限レベル』を選択したとき

①

で設定するレベルを選び、

または

を押す。

◎ **レベル0**
すべてのDVDの再生を禁止したいときに選択します。
例えば、視聴制限が記録されていない成人向けDVDの再生を禁止したいときなど。

◎ **レベル1**
子供向けのDVDのみを再生したいときに選択します。
（成人向けと一般向けのDVDの再生を禁止します。）

◎ **レベル2～レベル7**
一般向けと子供向けのDVDのみを再生したいときに選択します。（成人向けDVDの再生を禁止します。）

◎**制限しない <工場出荷時>**
すべてのDVD（成人向け/一般向け/子供向け）を再生したいときに選択します。

（次ページに続く）

初期設定の変更のしかた（つづき）

3 つづき

② 0 ～ 9 でパスワード（4桁の数字）を入力し、PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER/PROG（リモコン）を押す。

- パスワードの初期設定は“ 0000 ”です。
- パスワードを変更する場合は、『パスワード』で新しいパスワードに変更できます。（下記参照）

■『パスワード』を選択したとき

① ▶ で『変更』を選び、PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER/PROG（リモコン）を押す。

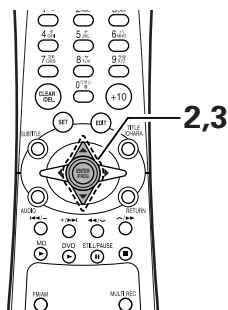
② 0 ～ 9 で前に設定したパスワード（4桁の数字）を入力し、次に新しいパスワードを入力して、再度新しいパスワードを入力後、PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER/PROG（リモコン）を押す。

- 本機のパスワードの初期設定は“ 0000 ”です。
- **パスワードは忘れないようにしてください。**
- 正しいパスワードを入力しない限り設定内容を変更できません。

※初期設定を終了するときは

▼（リモコン）で『設定終了』を選択して PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER/PROG（リモコン）を押すか、SET UP（リモコン）を押す。

初期設定の変更のしかた（つづき）

『特殊設定』を変更するには

『キャプション』を選択したときのご注意

- 字幕を表示させるには、キャプションデコーダが必要です。
- 字幕信号入りのDVDには ［マーク］、［マーク］、CC のマークが表示されています。
  字幕信号が入っていないDVDでは字幕は出ません。
- 字幕の文字には大文字、小文字、イタリック文字（斜体）などがありDVDによって異なります。
  本機では選択できません。

1
37、38ページの操作*1*～*4*をおこなう。

2

（リモコン）（リモコン）
で設定する項目を選び、

 または   **を押す。**
PUSH ENTER / PROG（本体）　（リモコン）

キャプション
DVDに記録されているクローズド・キャプション（字幕）を画面に表示させるか、させないかの設定ができます。（字幕を表示させるにはキャプションデコーダ（市販）が必要です。）

ダイナミックレンジ圧縮
DVDを再生したときに出力される音のダイナミックレンジが設定できます。

ダイナミックレンジとは
機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

3

（リモコン）（リモコン）
で設定する項目を選び、

 または **を押す。**
PUSH ENTER / PROG（本体）　（リモコン）

■『キャプション』を選択したとき

◎**表示しない ＜工場出荷時＞**
キャプション（字幕）を画面に表示しないときに選択します。

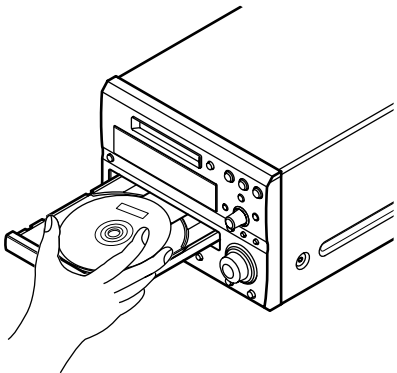
◎**表示する**
キャプション（字幕）入りDVDを再生し、そのキャプション（字幕）を画面に表示するときに選択します。

■『ダイナミックレンジ圧縮』を選択したとき

◎**切 ＜工場出荷時＞**
標準的なダイナミックレンジに設定します。

◎**入**
小さい音量でも迫力のある音にしたいときに選択します。
深夜など小さい音量で楽しまれる場合に適しています。
（ドルビーデジタルで記録されたDVDの再生中に限ります。）

※初期設定を終了するときは

（リモコン） で『設定終了』を選択して PUSH ENTER / PROG（本体） または （リモコン） を押すか、 SET UP（リモコン） を押す。

20 再生のしかた（DVD/ビデオCD/CD）

(1) 再生のしかた

1

ON / STANDBY（本体） **または** POWER（リモコン） **を押して、**

電源を入れる。

2

▲（本体） **を押す。**

● ディスクトレイが開きます。

3

ディスクトレイにディスクを載せます。

4

▲（本体） **を押す。**

● ディスクトレイが閉まり、ディスクが本体に装着されます。

5

DVD ►/II（本体） **または** DVD ►（リモコン） **を押す。**

● インタラクティブなDVDやプレイバックコントロール付きビデオCDの多くのものは、メニュー画面が表示されます。このような場合、操作*6* で見たい項目を選択し再生をはじめてください。

インタラクティブなDVDとは

例えば複数のアングルや、ストーリーなどが収録されたDVDソフトです。

【例】メニュー記録されたDVDのとき

TOP MENU

りんご	バナナ
みかん	イチゴ
もも	パイナップル

【例】プレイバックコントロール付きビデオCDのとき

1. オープニング
2. 第一楽章
3. 第二楽章
4. 第三楽章
5. エンディング

再生のしかた（DVD/ビデオCD/CD）（つづき）

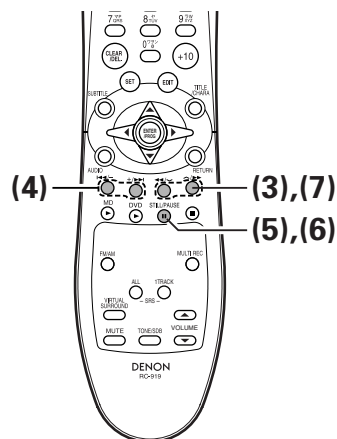
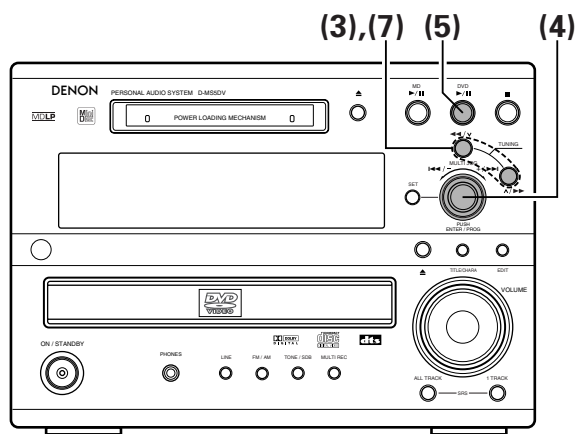
ご注意

- ボタン操作中、テレビ画面に が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止しています。
- ディスクはガイドに合わせて置いてください。
- トレイには2枚以上のディスクをのせないでください。
- テレビ画面にメニューが出ている間は、ディスクは回り続けています。

（2）再生の止めかた

再生のしかた（DVD/ビデオCD/CD）（つづき）

(3) 早送り/早戻しのしかた

再生中に ◀◀/∨（本体） ∧/▶▶（本体） **または** ◀◀/∨（リモコン） ∧/▶▶（リモコン） **を押す。**

［◀◀：戻し方向、▶▶：送り方向］

- 押すたびに、早送り/早戻しが速くなります。
  CDの場合は4段階、DVDビデオ/ビデオCDは7段階可変できます。
- DVD ▶/II（本体） または DVD ▶（リモコン） を押すと通常の再生に戻ります。

ご注意

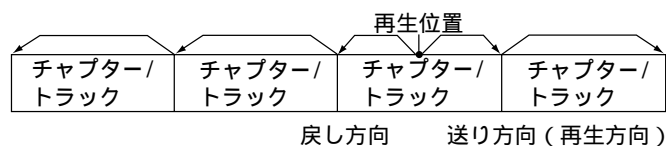
- ビデオCDのメニュー再生中、◀◀/∨（本体） ∧/▶▶（本体） または ◀◀/∨（リモコン） ∧/▶▶（リモコン） を押すとメニュー画面に戻ることがあります。

(4) 頭出しのしかた

再生中に

を回すか |◀◀/–（リモコン） +/▶▶|（リモコン） **を押す。**

［|◀◀：戻し方向（リバース）、▶▶|：送り方向（フォワード）］

- 押した回数だけチャプター/トラックを飛び越します。
- 戻し方向に1回押すと再生中のチャプター/トラックの先頭に戻ります。

ご注意

- ビデオCDのメニュー再生中、

を押すとメニュー画面に戻ることがあります。

(5) 静止（一時停止）のしかた

再生中に DVD ▶/II（本体） **または** STILL/PAUSE（リモコン） **を押す。**

- DVD ▶/II（本体） または DVD ▶（リモコン） を押すと通常の再生に戻ります。

再生のしかた（DVD/ビデオCD/CD）（つづき）

（6）コマ送り再生のしかた（DVD/ビデオCDのみ）

静止中に STILL/PAUSE（リモコン） **を押す。**

- 押すたびに、1コマずつ再生します。
- DVD ►/II（本体）または DVD ►（リモコン）を押すと通常の再生に戻ります。

（7）スロー再生のしかた（DVD/ビデオCDのみ）

静止中に ◄◄/∨（本体） ∧/►►（本体） **または** ◄◄/∼（リモコン） ∼/►►（リモコン） **を押す。**

［◄◄：戻し方向、►►：送り方向］

- 押すたびに、スロー再生の速度が速くなります。
  DVDの場合は4段階、ビデオCDの場合は3段階になります。
- DVD ►/II（本体）または DVD ►（リモコン）を押すと通常の再生に戻ります。

ご注意

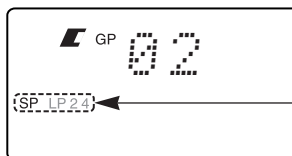
- ビデオCDは逆スロー再生できません。

21 再生のしかた（MD）

（1）MDを再生する前に

■ MDの再生モードについて

MDは、録音したときの録音モードに従って再生されます。
再生がはじまると、ディスプレイにそのMDの再生モードが表示されます。
（停止時は録音モードとなります。70、71ページをご覧ください。）

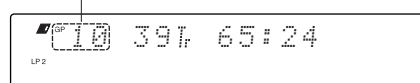
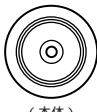
GP 02
SP LP2 4

◎ **SP**： 本機でステレオ録音したMDまたはMDLPに対応していないMDレコーダーで録音したMDのとき
◎ **LP2**：2倍長時間録音（ステレオ）したMDのとき
◎ **LP4**：4倍長時間録音（ステレオ）したMDのとき

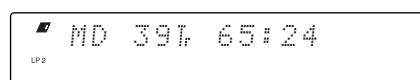
■ グループ管理MDについて（MDグループ機能については、90ページをご覧ください。）

本機には新しい機能としてグループ機能があります。グループ管理されているMDと管理されていないMDで、ディスプレイの表示が異なります。

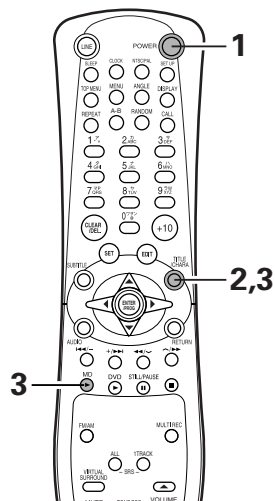
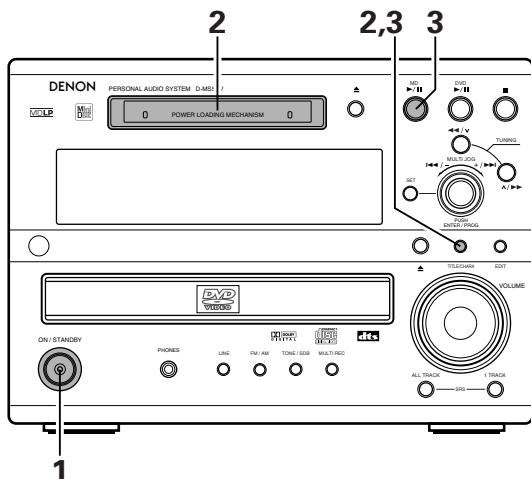
- グループ管理されているMDの場合

グループ管理数が表示されます。

GP 10 39Tr 65:24
LP2

- グループ管理されていないMDの場合

MD 39Tr 65:24
LP2

再生のしかた（MD）（つづき）

（2）再生のしかた

1 ON / STANDBY（本体）または POWER（リモコン）を押して、

電源を入れる。

2 **MD挿入口にMDを入れる。**

- 入力が『MD』のときに次のようになります。

※ ディスク名が入力されていない場合、ディスク名は表示されません。

※ ディスク名を表示させたいときは、停止状態で TITLE/CHARA（本体）または TITLE /CHARA（リモコン）を押してください。

もう一度押すと、時間表示に戻ります。

3 MD ►/❚❚（本体）または MD ►（リモコン）を押して、

再生をはじめる。

- 1曲目から順に再生が始まり、最後の曲が終わると自動的に停止します。

※ 再生状態で TITLE/CHARA（本体）または TITLE /CHARA（リモコン）を押すと、再生している曲のタイトルが表示されます。もう一度押すと、時間表示に戻ります。

再生を止めるには

再生中に ■（本体）または ■（リモコン）を押す。

一時的に再生を止めるには

再生中に MD ►/❚❚（本体）または STILL/PAUSE ❚❚（リモコン）を押す。

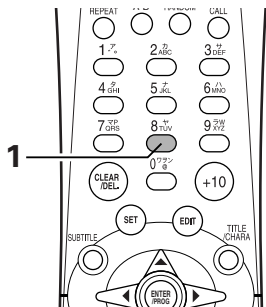
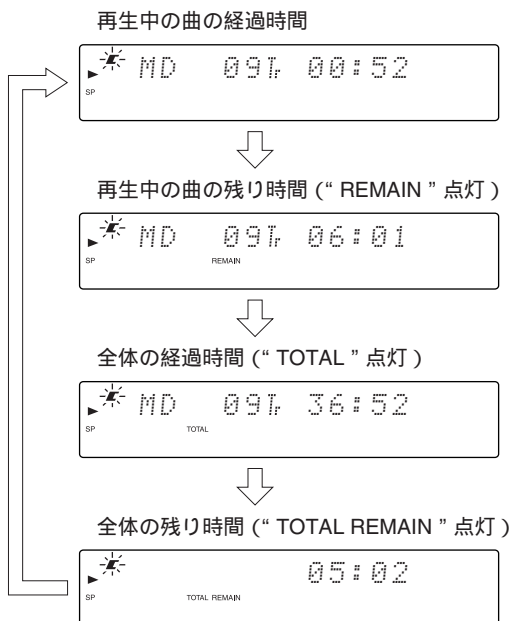
- “ ► ” 表示が消灯して “ ❚❚ ” 表示が点灯し、ボタンを押したところで再生を中断します。
- MD ►/❚❚（本体）または MD ►（リモコン）を押すと、止めた位置から再生します。（“ ❚❚ ” 表示は消灯します。）

MDの取り出しかた

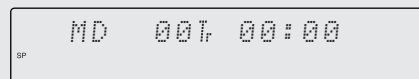
MDを停止させた後、

MD取り出しボタン ⏏（本体）を押す。

(3) 好きな曲を聞くとき（リモコンのみ）　『ダイレクト再生』

[例] MDの8曲目を聞くとき

■ 時間表示について

ご注意

- オートパワーオフの設定が『ON』のとき、停止状態が約30分続くと本機は自動的にスタンバイ状態になります。（33ページ参照）
- MDが装着されていない場合およびMDの情報をMDの傷や汚れなどで正しく読み取れなかった場合は、ディスプレイが下図のようになり再生できません。

MD 00 00:00
SP

再生のしかた（MD）（つづき）

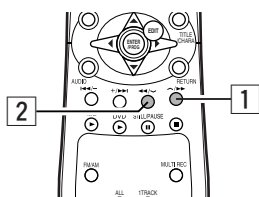
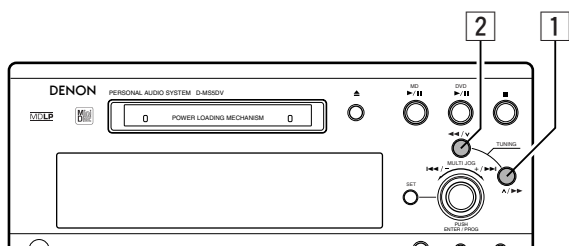
（4）早聞きしながら好きな曲を探すとき『マニュアルサーチ』

1 早送りする

再生中に ∧/▶▶（本体） または ⌒/▶▶（リモコン） を押し続ける。

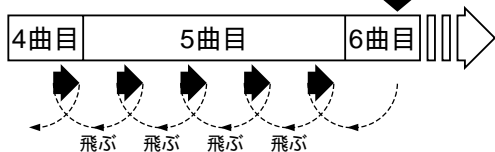
- ボタンから指を離せば、そこから通常の再生をおこないます。

2 早戻しする

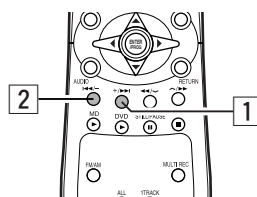
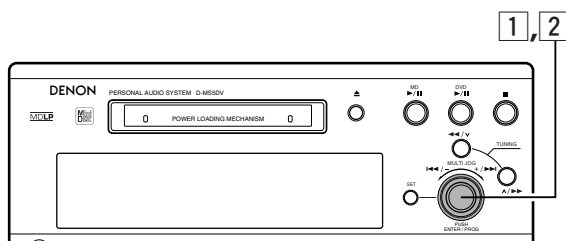
再生中に ◀◀/∨（本体） または ◀◀/⌣（リモコン） を押し続ける。

- ボタンから指を離せば、そこから通常の再生をおこないます。

本体の◀◀/∨ボタンまたは
リモコンの◀◀ボタンを押し続ける。

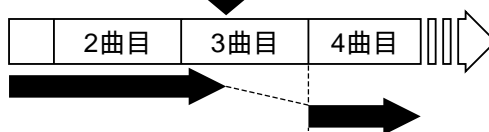
4曲目	5曲目	6曲目

飛ぶ　飛ぶ　飛ぶ　飛ぶ

ご注意

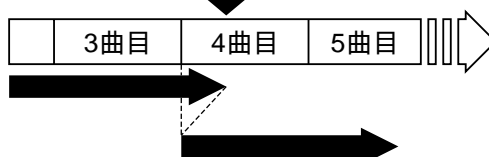
マニュアルサーチから通常の再生に戻るときに、若干音が途切れることがあります。

（5）再生途中で曲の頭出しをするとき『オートマチックサーチ』

1 次の曲の頭出し

MULTI JOG ⏮/−　+/⏭（本体） を右に回すか +/⏭（リモコン） を押す。

- 本体のMULTI JOGダイヤルを右に回すか、リモコンの▶▶❙ボタンをくり返し押すと、次々と後ろの曲の頭出しをすることができます。
- 最後の曲を再生中に押すと、1曲目を再生します。

2 聞いている曲の頭出し

MULTI JOG ⏮/−　+/⏭（本体） を左に回すか ⏮/−（リモコン） を押す。

- 本体のMULTI JOGダイヤルを左に回すか、リモコンの❙◀◀ボタンをくり返し押すと、次々と前の曲の頭出しをすることができます。
- 1曲目を再生中に押して、時間表示“00：00”が表示される前にもう一度押すと、最後の曲を再生します。

22 ラジオ放送を聞くとき

（1）選局のしかた

★ 本機はFMワイドバンド仕様で、通常のFM放送のほか、テレビ1〜3チャンネルの音声（モノラル）の受信ができます。

1

ON / STANDBY

（本体） **または** POWER（リモコン） **を押して、**

電源を入れる。

2

FM / AM（本体） **または** FM/AM（リモコン） **を押して、**

『FM AUTO』、『FM MONO』または『AM』を選ぶ。

- 選択したバンドや受信モードが表示されます。

※ 押すたびにディスプレイの表示が切り替わります。

『FM AUTO』

FM 76.0 MHz 1 （SP PRESET AUTO）

点灯

『FM MONO』

FM 76.0 MHz 1 （SP PRESET MONO）

点灯

『AM』

AM 522 kHz 6 （SP PRESET）

3

◀◀ / ∨ TUNING ∧ / ▶▶（本体） **または** ◀◀/〜（リモコン） 〜/▶▶（リモコン） **を**

押して、放送局を選ぶ。

FM 82.5 MHz （TUNED AUTO ST）

FM放送を受信すると、点灯する。

◎ **自動同調（オートチューニング）：**

ボタンを2秒以上押し続けて離すと、電波の強い放送局を自動的に受信します。

オートチューニングを止めたいときは、もう一度ボタンを押してください。

◎ **手動同調：**

ボタンを小きざみに押して、希望する放送局を受信します。

※ テレビ音声は、次の周波数で受信できます。

1チャンネル：FM 95.75MHz

2チャンネル：FM 101.75MHz

3チャンネル：FM 107.75MHz

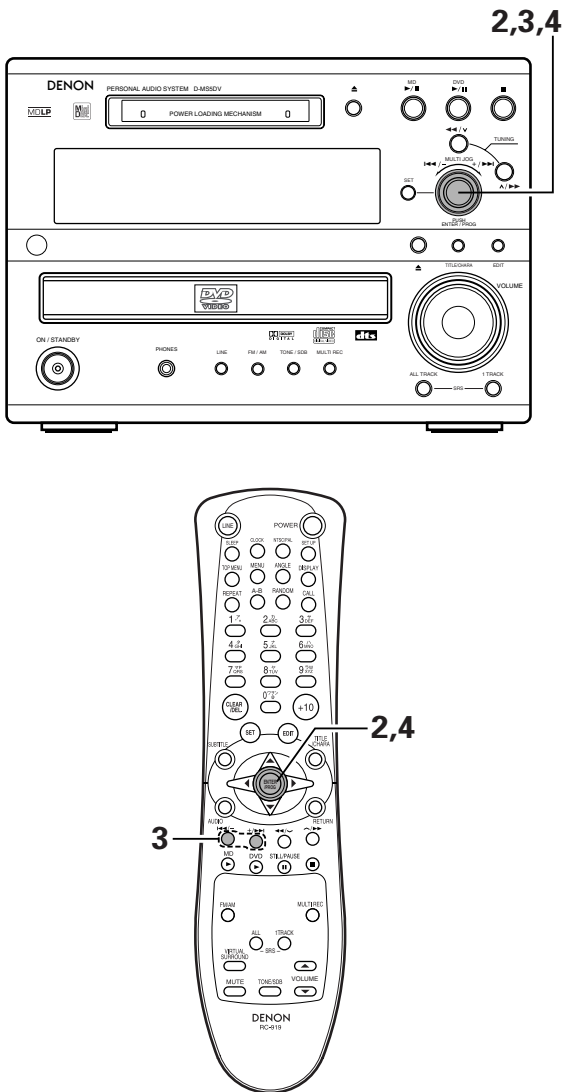
ご注意

- FM/AMアンテナは本体や電源コード、スピーカーコードから離してください。近づけて使用すると雑音が入ることがあります。
- AM放送受信中に近くでテレビなどを使用すると、“ ピー ”という雑音が入る場合があります。このような場合は、本機をテレビなどからできるだけ離して設置してください。

（2）FM/AM放送の登録（プリセット）のしかた

［例］ 選局したFM 82.5MHzをプリセット番号『3』にプリセットするとき

1 **登録したい放送局を受信する。**

2 PUSH ENTER / PROG（本体） **または** ENTER /PROG（リモコン） **を押す。**

● “ MEMO ” 表示と “ PRESET ” 表示が点灯し、プリセット番号が点滅します。

3 MULTI JOG（本体） **を回すか** ⏮/−（リモコン） +/⏭（リモコン） **を押して、プリセット番号を選ぶ。**

※ リモコンで操作するときは、 3 を押してください。

4 PUSH ENTER / PROG（本体） **または** ENTER /PROG（リモコン） **を押す。**

● “ MEMO ” 表示が消灯して、プリセットが完了します。

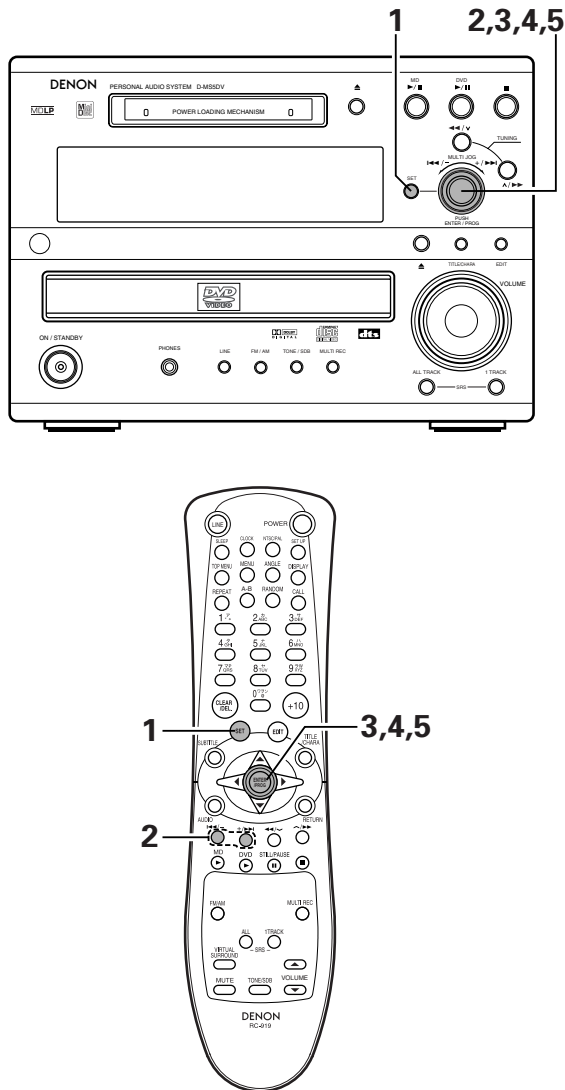
※ 同じように操作して、FM/AMを合わせて30局までプリセットすることができます。

プリセットについて

- すでにプリセットされている番号にプリセットすると、前のメモリーは消去されて、新しい放送局がプリセットされます。
- 電源コードを抜いたり、停電などで一時的に電源が切れても、すぐにはプリセットされたメモリーは消えませんが、長時間放置してメモリーが消えてしまった場合は、もう一度プリセットし直してください。

ラジオ放送を聞くとき（つづき）

(3) オートプリセットのしかた

★ オートプリセットは、FM放送局のみ可能です。
※低い周波数から順番にプリセットします。

1 ファンクションが『TUNER』のときに SET（本体） または SET（リモコン） を押す。

2 MULTI JOG（本体）を回すか ⏮/−（リモコン） +/⏭（リモコン） を押して、“AUTO PRESET? ”を表示させる。

3 PUSH ENTER / PROG（本体） または ENTER /PROG（リモコン） を押す。

● “PRESET START? ”が表示されます。

4 もう一度 PUSH ENTER / PROG（本体） または ENTER /PROG（リモコン） を押す。

● オートプリセットがはじまります。

プリセットされた局数

5 PUSH ENTER / PROG（本体） または ENTER /PROG（リモコン） を押して、

プリセットした局数を確定する。

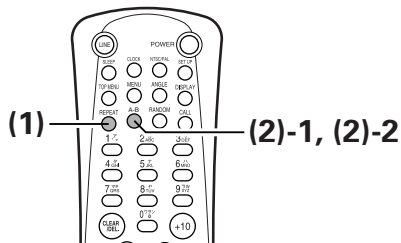
プリセットした放送局を選ぶには

入力が『TUNER』の状態で

を回すか を押して、登録した番号を選ぶ。

※リモコンのダイレクトボタンで選ぶこともできます。

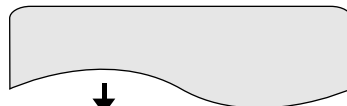
23 いろいろな聞きかた（DVD/ビデオCD/CD）

★ お気に入りの映像や音声をくり返して再生することができます。

ご注意

- リピート再生が働かないDVDもあります。
- 再生中ディスプレイに再生経過時間が表示されないディスクは、リピート再生およびA-Bリピート再生ができないことがあります。
- A-Bリピート再生中は、A-B間の前後の字幕が表示されないことがあります。

（1）くり返し再生する（リピート再生）

再生中に REPEAT（リモコン） を押す。

- 押すたびにテレビ画面の表示が切り替わり、それぞれのくり返し再生をはじめます。

※通常の再生に戻すときは

テレビ画面に“ リピートオフ ”が表示されるまで REPEAT（リモコン） を押すと、通常の再生に戻ります。

（2）指定した2点間をくり返し再生する（A-Bリピート再生）

（3）順不同で聞くとき

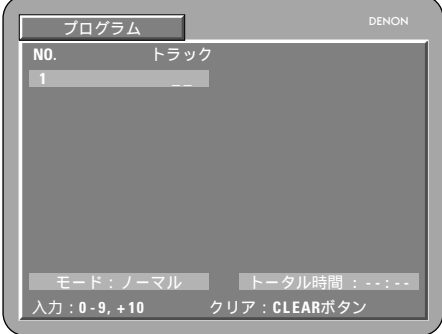
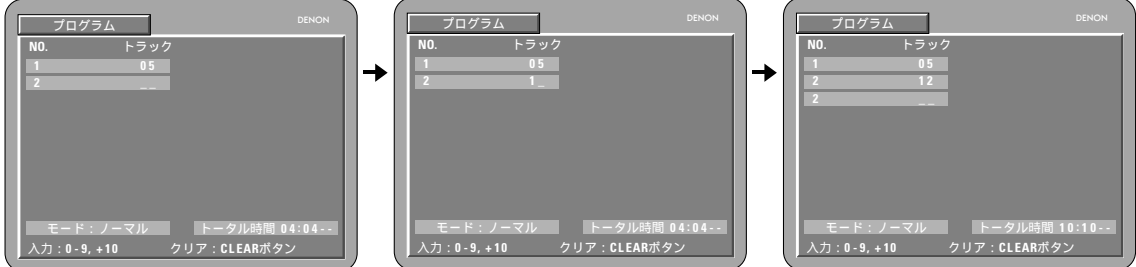
★ ビデオCDや音楽CDはトラック単位で順不同（ランダム）に再生することができます。
★ DVDでは働きません。

1	**停止中に** RANDOM ◯（リモコン） **を押す。** ● ランダム再生画面が表示されます。 ※ **ディスクによってはランダム再生できない場合があります。**	ランダムオン
2	DVD ▶（リモコン） **を押す。** ● 順不同に再生がはじまります。	

※通常の再生に戻すときは

■（リモコン） を押してランダム再生を止め、 RANDOM ◯（リモコン） を1回押す。

ご注意

● プログラムした状態ではランダムモードを設定することはできません。
● ランダム再生中に全体の残り時間は確認できません。

（4）好きな曲だけを選んで聞くとき

1 ダイレクトボタンからの操作

★ ビデオCDや音楽CDはトラック番号を予約して
　好きな順に再生することができます。
★ DVD、MP3ディスクでは働きません。

1 停止中に ENTER/PROG（リモコン） を1回押す。

● プログラム選択画面が表示されます。

2 1（リモコン） ～ +10（リモコン） で予約したい番号を選ぶ。

● 20曲までプログラムできます。

※ プログラムの総再生時間が“ 99：59 ”を超えると、“ --：-- ”
　が表示されますが記憶はされています。

【例】トラック5と12をプログラムする場合

番号ボタンの『5』を押します。

→ 番号ボタンの『+10』を押します。

→ 番号ボタンの『2』を押します。

3 DVD ▶（リモコン） を押す。

● 予約した順に再生がはじまります。

※ 予約を1つずつ取り消すには

■（リモコン） を押してプログラム再生を止めます。

その後、 CLEAR/DEL（リモコン） を押すたびに最後に予約したものから順に取り消されます。

※ 予約をすべて取り消すときは

電源を切るか、本体からディスクを取り出すとすべて取り消されます。

また、 ■（リモコン） を押してプログラム再生を止め、 ENTER/PROG（リモコン） を押すとすべて取り消されます。

※ プログラムされた内容を確認するには

CALL（リモコン） を押すとプログラムされた内容がステップごとに表示されます。

※ 曲を追加するには

停止中に*2* の操作をくり返します。
前に選んでいる曲の後に追加されます。（曲の順番を入れ替えることはできません。）

いろいろな聞きかた（DVD/ビデオCD/CD）（つづき）

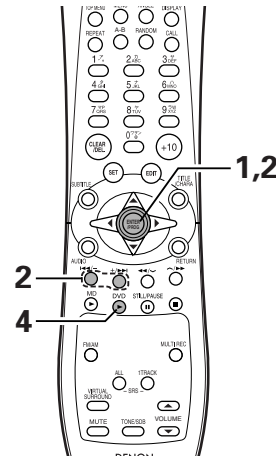
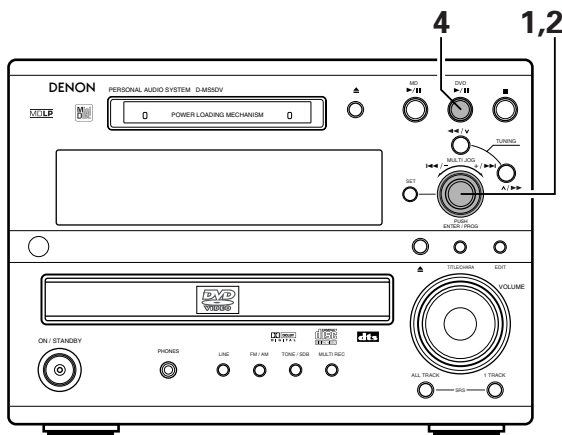
2 オートマチックサーチボタンからの操作

1

停止中に PUSH ENTER / PROG（本体） **または** ENTER /PROG（リモコン） **を押す。**

PROGRAM

点灯

2

MULTI JOG（本体） **を回すか** ⏮/–（リモコン） +/⏭（リモコン） **を押して聞きたい曲番を指定し、**

PUSH ENTER / PROG（本体） **または** ENTER /PROG（リモコン） **を押す。**

【例】 CDのトラック9をプログラムする場合

CD 09T P-01

プログラム番号　　再生時間

CD P01 05:02

曲番を間違えたときは

登録中に CLEAR /DEL.（リモコン） を押すと、最後に選んだ曲が取り消されます。
続けて押すと、順に取り消されます。

3

2 **の操作をくり返し、聞きたい曲番を順に指定する。**

- プログラムの総再生時間が " 99：59 " を超えると " --：-- " が表示されますが、記憶はされています。

4

DVD ▶/⏸（本体） **または** DVD ▶（リモコン） **を押して、**

再生を開始する。

予約を1つずつ取り消すには

■（リモコン） を押してプログラム再生を止めます。

その後、 CLEAR /DEL.（リモコン） を押すたびに最後に予約したものから順に取り消されます。

予約をすべて取り消すときは

電源を切るか、本体からディスクを取り出すとすべて取り消されます。

また、 ■（リモコン） を押してプログラム再生を止め、

ENTER /PROG（リモコン） を押すとすべて取り消されます。

プログラムされた内容を確認するには

CALL（リモコン） を押すとプログラムされた内容がステップごとに表示されます。

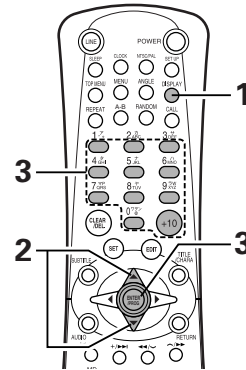
曲を追加するには

停止中に***2*** の操作をくり返します。
前に選んでいる曲の後に追加されます。
（曲の順番を入れ替えることはできません。）

24 ON-SCREEN画面を使って操作する

★ ディスクに関する情報（タイトル/チャプター/時間）を表示したり、再生位置を指定することができます。
★ ファンクションがDVD/CDのときに機能します。（MDでは働きません。）

1

再生中に DISPLAY（リモコン） を押す。

● ON-SCREEN画面が表示されます。
● 押すたびにテレビ画面の表示が切り替わります。
● 表示される項目はディスクにより異なります。

【例】DVDビデオの場合（通常の再生画面）

タイトル 01/10　チャプター 01/10
タイトルタイム 0 : 00 : 01

タイトルリメイン 1 : 10 : 59
チャプタータイム 0 : 00 : 01
チャプターリメイン 0 : 07 : 06

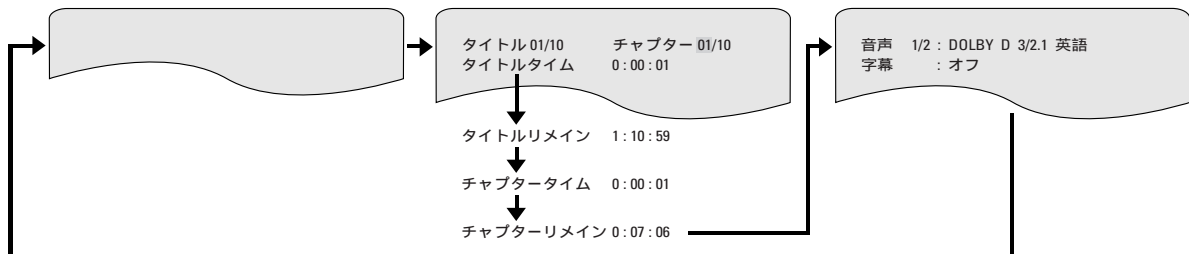
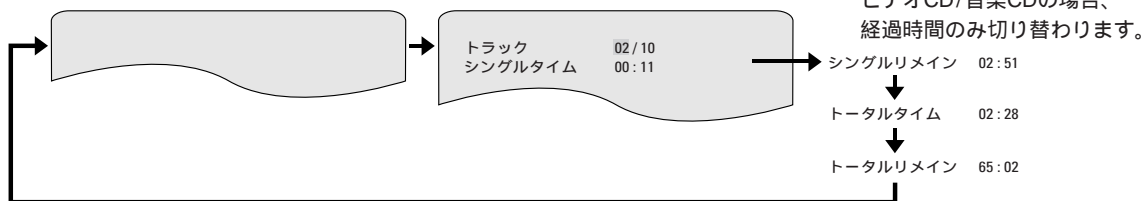
音声 1/2 : DOLBY D 3/2.1 英語
字幕 : オフ

【例】ビデオCD/音楽CDの場合（通常の再生画面）

※ ビデオCD/音楽CDの場合、経過時間のみ切り替わります。

トラック 02 / 10
シングルタイム 00 : 11

シングルリメイン 02 : 51
トータルタイム 02 : 28
トータルリメイン 65 : 02

2

▲（リモコン） ▼（リモコン） で変更する項目を選ぶ。

● 選択された項目は黄色の枠で表示されます。

◎ DVDビデオの場合
タイトル、チャプターの経過時間が選択できます。
◎ ビデオCD/音楽CDの場合
トラックの経過時間などが選択できます。

3

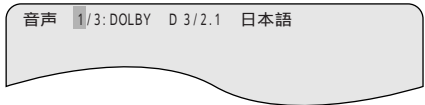
0（リモコン） ～ 9（リモコン） で再生位置を指定し、ENTER/PROG（リモコン） を押す。

①経過時間の指定
● DVDの場合
【例】1時間32分47秒の場合 → 1 3 2 4 7 （リモコン） と押して、ENTER/PROG（リモコン） を押す。

1分26秒の場合 → 0 0 1 2 6 （リモコン） と押して、ENTER/PROG（リモコン） を押す。

● ビデオCD/音楽CDの場合
【例】1分26秒の場合 → 0 1 2 6 （リモコン） と押して、ENTER/PROG（リモコン） を押す。

ON-SCREEN画面を使って操作する（つづき）

3 つづき	②タイトル、トラック、チャプターの指定 ●DVDの場合 1ア（リモコン）～ +10（リモコン） で入力し、 ENTER/PROG（リモコン） を押す。 （ディスクによっては指定できない場合があります。） ●ビデオCD/音楽CDの場合 1ア（リモコン）～ +10（リモコン） で入力すると、そのトラックから再生をはじめます。（ダイレクト選曲） 【例】12曲目を聞きたいとき → +10（リモコン） 2カABC（リモコン） と押す。 【例】20曲目を聞きたいとき → +10（リモコン） +10（リモコン） 0ワヲン（リモコン） と押す。

25 マルチ機能の使いかた

音声言語を切り替える（マルチ音声機能）

★ 複数の音声言語が記録されているDVDは、再生中に音声言語を切り替えることができます。

1	**再生中に** AUDIO（リモコン） **を押す。** ●現在再生中の音声番号が表示されます。	音声 1/3: DOLBY D 3/2.1 日本語
2	▲（リモコン） ▼（リモコン） **でお好みの音声言語にする。** ● AUDIO（リモコン） を押すと表示が消えます。	音声 2/3: DOLBY D 3/2.1 英語

ご注意

●ディスクによっては再生中に音声言語を切り替えられない場合があります。この場合にはDVDメニューで選択してください。（65ページ参照）

● ▲（リモコン） ▼（リモコン） を数回押しても希望の言語にならないときは、その言語がディスクに記録されていません。

●電源投入時およびディスク交換時は、初期設定（38ページ参照）で設定されている言語になります。

字幕言語を切り替える（マルチ字幕機能）

★ 複数の字幕言語が記録されているDVDは、再生中に字幕言語を切り替えることができます。

1 **再生中に** SUBTITLE（リモコン） **を押す。**

字幕　01/03:日本語

2 （リモコン）（リモコン） **でお好みの字幕言語にする。**

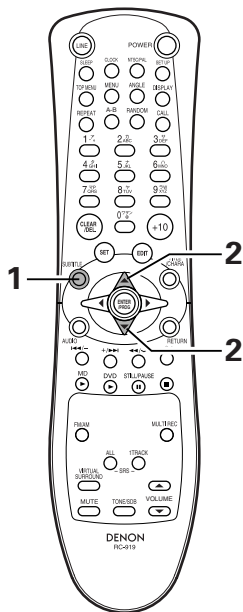
● SUBTITLE（リモコン） を押すと表示が消えます。

字幕　02/03:英語

ご注意

● （リモコン）（リモコン） を数回押しても希望の字幕言語にならないときは、その言語がディスクに記録されていません。

● 電源投入時およびディスク交換時は、初期設定（38ページ参照）で設定されている字幕言語になります。なお、その言語がディスクにないときはディスクで決められている言語になります。

● 字幕言語を変更してからその言語が表示されるまでに多少時間がかかる場合があります。

アングル（角度）を切り替える（マルチアングル機能）

★ 複数のアングルが記録されているDVDは、再生中にアングルを切り替えることができます。

1 **再生中に** ANGLE（リモコン） **を押す。**

● 現在再生中のアングル番号が表示されます。

3/5

2 （リモコン）（リモコン） **でお好みのアングルにする。**

● ANGLE（リモコン） を押すと表示が消えます。

4/5

ご注意

● マルチアングル機能は複数のアングルが記録されているディスクで働きます。

● 複数のアングルが記録されている場面でアングルを切り替えることができます。

26 メニューの使いかた

トップメニューを使う

★ 複数のタイトルが入っているDVDは、トップメニューからお好みのタイトルを選択し再生することができます。

1

再生中に TOP MENU（リモコン） を押す。

- トップメニューが表示されます。

【例】

2

または 1（リモコン） ～ +10（リモコン） でお好みのタイトルを選ぶ。

- 1（リモコン） ～ +10（リモコン） で選択したとき操作***3*** は不要です。

【例】『みかん』を選択した場合

TOP MENU	
りんご	バナナ
みかん	イチゴ
もも	パイナップル

3

ENTER/PROG（リモコン） を押す。

- 再生がはじまります。
- DVD ▶（リモコン） を押しても、再生がはじまります。

DVDメニューを使う

★ DVDによっては、DVDメニューと呼ばれる特別なメニューが用意されているものがあります。例えば、複雑な内容で編集されたDVDではガイドメニューが用意されていたり、多言語で収録されたDVDでは音声や字幕の言語メニューが用意されていたりします。これらのメニューを『**DVDメニュー**』と呼びます。本書では、DVDメニューの一般的な操作方法を紹介します。

1

再生中に MENU（リモコン） を押す。

- DVDメニューが表示されます。

【例】

DVD MENU
1. 字幕
2. 音声
3. アングル

2

（リモコン）（リモコン）（リモコン）（リモコン） または 1（リモコン） ～ +10（リモコン） で項目を選ぶ。

- 1（リモコン） ～ +10（リモコン） で選択したとき操作***3*** は不要です。

【例】『音声』を選択した場合

DVD MENU
1. 字幕
2. 音声
3. アングル

3

ENTER/PROG（リモコン） を押す。

- 選択した項目が決定されます。
- 次々とメニューを表示するときは、操作***2*** 、***3*** をくり返します。

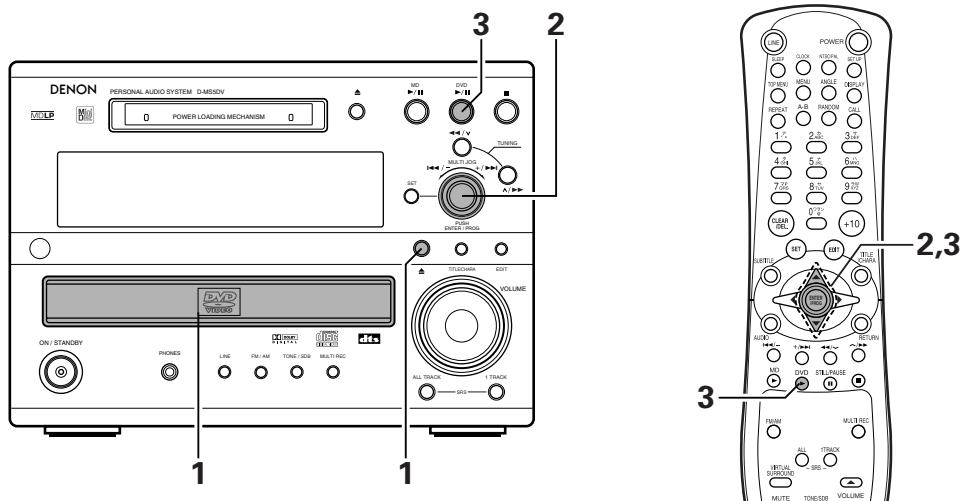
27 MP3ディスクを再生する

MP3のディスク/CD-R/CD-RWを聴くには

★ インターネットのホームページ上には、MP3形式の音楽ファイルをダウンロードできる様々な音楽配信サイトがあります。そのサイトの指示に従って音楽をダウンロードし、CD-R/RWに書き込めば、本機で再生することができます。
市販の音楽CDに収録された音楽を、パソコン上でMP3エンコーダ（変換ソフト）によりMP3ファイルに変換すれば、12cm CD1枚が約10分の1のデータ量になります。これをCD-R/RWに書き込めば約10枚分の音楽CDがたった1枚のCD-R/RWにMP3ファイルとして書き込むことができます。約100曲以上*の音楽が1枚のCD-R/RWで楽しめます。

＊ 約5分の曲を標準的なビットレート128kbpsでMP3ファイルに変換し、容量650MBのCD-R/RWに書き込んだ場合のおよその値です。

＊ あなたが録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。（135ページ参照）

1

MP3形式の音楽ファイルを書き込んだCD-R/RWを本体にセットします。（36ページの『ディスクの入れかた』を参照してください。）
- 本体にディスクが装着されるとディスク情報画面が表示されます。
- 複数のフォルダがある場合は、操作*2* に進みます。
- ディスクに記録されているフォルダがない場合（MP3ファイルのみ）は、操作*3* に進みます。

2

（リモコン）（リモコン）
で再生したいフォルダを選び、

PUSH ENTER / PROG（本体）
または
（リモコン）
を押す。

※ **再生したいフォルダを変えたいときは**

（リモコン）
で画面左上の“ ROOT ”表示を選択し、
（リモコン）
を押すとディスク情報画面が表示されますので、もう一度フォルダを選択し直してください。

MP3ディスクを再生する（つづき）

3

（リモコン）
（リモコン）
で再生したいMP3ファイルを選び、

DVD ▶（リモコン） DVD ▶/❚❚ （本体） **または** ENTER/PROG（リモコン） **を押す。**

● 再生をはじめます。

※ DISPLAY（リモコン） を押すと、1曲経過時間（シングルタイム）と1曲残り時間（シングルリメイン）を切り替え表示することができます。

※ **MP3ディスクでのプログラム再生はできません。**

ディスク情報

ROOT	.. 0
FOLDER1	MP3_01 1
FOLDER2	MP3_02 2
FOLDER3	MP3_03 3
FOLDER4	MP3_04 4
FOLDER5	MP3_05 5
再生モード	フォルダー
シングルタイム	: - - : - -
選択：▼▲◀▶	決定：ENTERボタン

※再生したいMP3ファイルを変えたいときは

■（リモコン） を押してから、 （リモコン） （リモコン） でもう一度選び直す。

※ランダム再生するには

停止中に RANDOM（リモコン） を押してから、 DVD ▶（リモコン） または ENTER/PROG（リモコン） を押す。

※リピート再生するには

REPEAT（リモコン） を押す。

押すたびにリピートモードが変わります。

→シングルリピート→フォルダーリピート→フォルダー（解除）

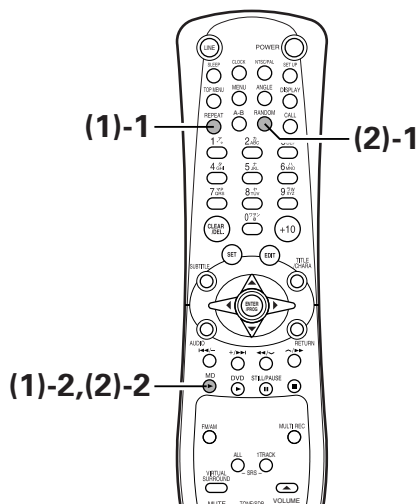
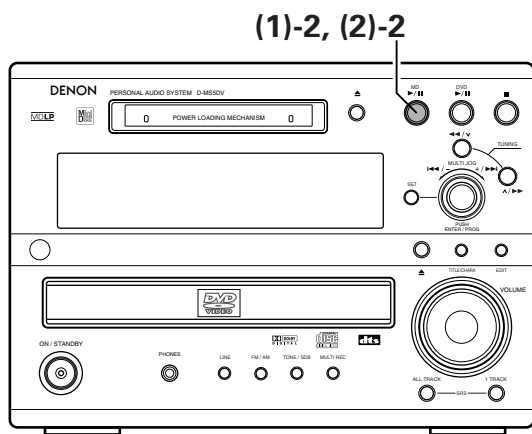
※初期のディスク情報画面に戻すときは

■（リモコン） を押して再生を止め、 （リモコン） で画面左上の“ ROOT ”表示を選び、 ENTER/PROG（リモコン） を押す。

（操作*1* のディスク情報画面に戻ります。）

ご注意

● 本機で対応している規格は『MPEG-1 Audio Layer-3』（サンプリング周波数fsは32、44.1、48kHz）です。それ以外の『MPEG-2 Audio Layer-3』、『MPEG-2.5 Audio Layer-3』およびMP1、MP2などには対応していません。
● MP3ディスクでのプログラム再生はできません。
● MP3を再生したときのデジタル出力は、初期設定の音声設定が『ノーマル』『PCM変換』に関わらずMP3をPCMに変換して出力します。また、記録されている音楽ソースのサンプリング周波数で出力します。
● MP3ファイルの再生順序は、CD-R/RW書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があるため任意の再生順序とは異なる場合があります。
● MP3ファイルをCD-R/RWに書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは『ISO9660レベル1』を選択してください。他のフォーマットで記録された場合、正常に再生できないことがあります。ライティングソフトによっては『ISO9660』フォーマットで記録できないものがあります。『ISO9660』フォーマットのライティングソフトをご使用ください。
● 音楽CD（CD DA形式）およびMP3以外のファイルが書き込まれたCD-R/RWは再生しないでください。ファイルの種類によっては誤動作および故障の原因になります。
● ディスク特性、汚れ、傷などによってCD-R/RWが再生できない場合があります。
● 一般にMP3ファイルはビットレートが高いほど音質が良くなります。本機では128kbps以上のビットレートで記録されたMP3のご使用をおすすめします。
● 本機はフォルダネームとファイルネームをタイトルのように表示することが可能です。半角の英数大文字と＿（アンダースコア）を8文字まで表示できます。また、漢字・ひらがな・カタカナ・その他の記号で記録されたフォルダネームとファイルネームは表示されません。
● MP3ファイルには必ず拡張子『.MP3』を付けてください。『.MP3』以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合はファイルを再生できません。（マッキントッシュのパソコンの場合、半角英数大文字8文字以内のファイルネームの最後に拡張子『.MP3』を付けてCD-R/RWに記録することにより、MP3ファイルの再生が可能です。）
● CD/CD-R/RWのレーベル面や記録面にシールやテープなどを貼らないでください。のりなどがディスク表面に付着すると、本機の内部にディスクが残り、取り出せなくなる恐れがあります。
● パケットライトソフトには対応していません。
● ID3-Tagには対応していません。
● プレイリストには対応していません。

28 MDのいろいろな聞きかた

(1) くり返して聞くとき『リピート再生』

1 REPEAT（リモコン）**を押して、再生モードを選ぶ。**

※押すたびにディスプレイの表示が次のように切り替わります。

（1曲リピートモード）

1 REPEAT

⇩

（全曲リピートモード）

ALL REPEAT

⇩

解除

1 REPEAT： 1曲だけくり返し再生します。
ALL REPEAT：全曲をくり返し再生します。

2 MD ►/II（本体）**または** MD（リモコン）**を押して、**

再生を開始する。

※再生中も設定できます。
※リピート再生を止めるときは“REPEAT”表示が消灯するまで REPEAT（リモコン）をくり返し押してください。

(2) 順不同で聞くとき『ランダム再生』

1 RANDOM（リモコン）**を押す。**

点灯
RANDOM

2 MD ►/II（本体）**または** MD（リモコン）**を押して、**

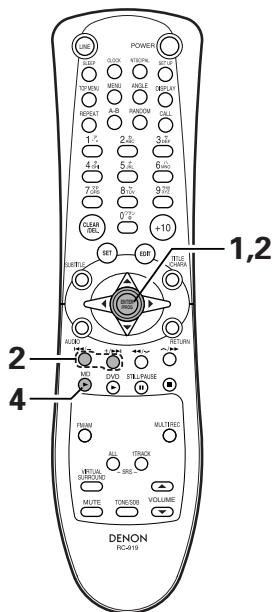
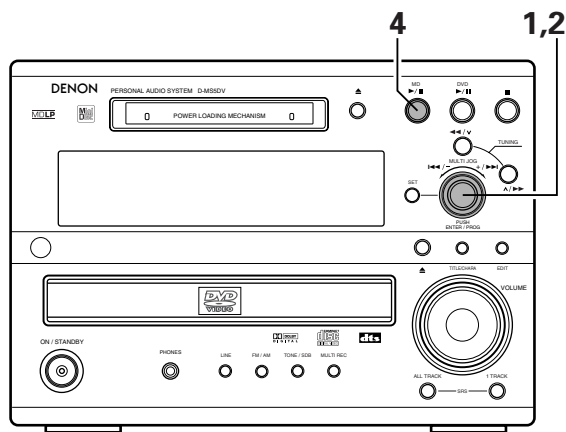
再生を開始する。

※再生中も設定できます。
※ランダム再生を止めるときは、ランダム再生中にもう一度 RANDOM（リモコン）を押してください。
“RANDOM”表示が消灯します。

ご注意

- プログラムした状態ではランダムモードを設定することはできません。
- ランダム再生中に1曲リピート再生はできません。
- ランダム再生中に全体の残り時間は確認できません。
- A-Bリピートは機能しません。

(3) 好きな曲だけを選んで聞くとき 『プログラム再生』

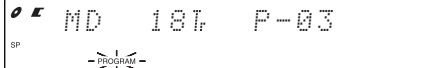
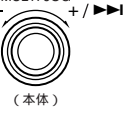
★ 最大25曲までプログラムすることができます。
★ グループ管理されているMDの操作は異なります。96、97ページをご覧ください。

（次ページに続く）

MDのいろいろな聞きかた（つづき）

登録した順番を確かめるには

CALL（リモコン） **を押す。**

● 押すたびに登録した曲番が順に表示されます。

曲を追加するには

停止中に、2 の操作をくり返します。

● 前に選んでいる曲の後に追加されます。
（曲の順番を入れ替えることはできません。）

登録を取り消すには

停止中に PUSH ENTER / PROG（本体） **または** ENTER/PROG（リモコン） **を押す。**

（MDを取り出したときも、登録は取り消されます。）

プログラム内容を訂正するには

［例］ 3番目にプログラムした18曲目を5曲目に訂正するとき

29 録音をする前に

試し録音について

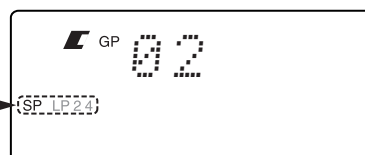
● 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして正常に録音されることを確かめてください。
● 本機を使用中に万一この製品の不具合により録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償についてはご容赦ください。

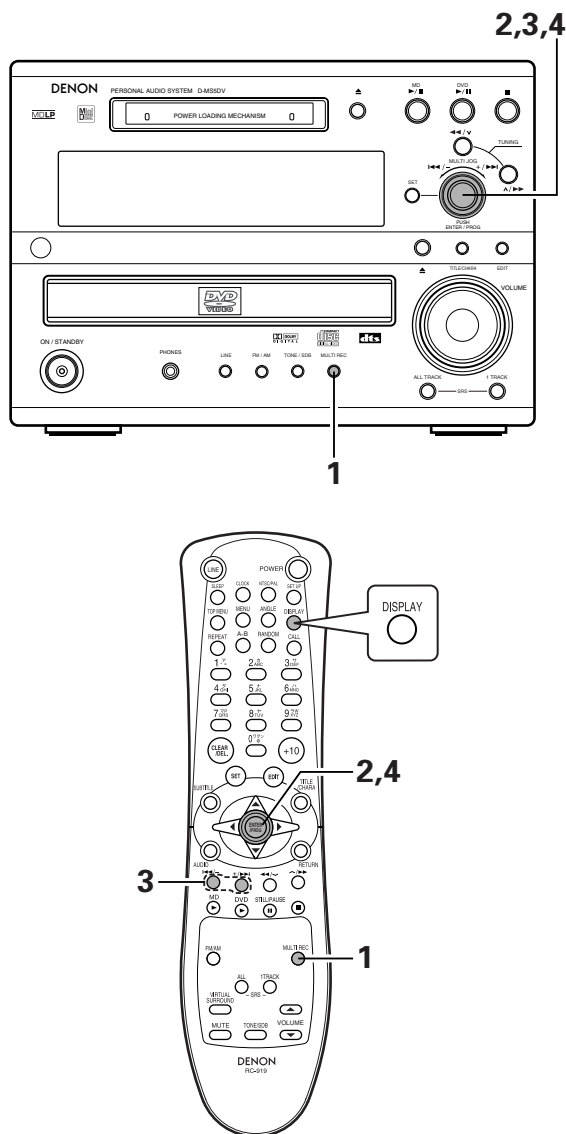
★ 本機ではDVDやCD、ラジオ放送または接続した他の機器の音声を録音するとき、それぞれのソース（音源）ごとに次のような録音ができます。

（1）長時間録音

■ステレオ長時間録音（MDLP）

従来モノラル録音でしかできなかったMDの長時間録音が本機ではステレオ音声のままで2倍または4倍の長時間で録音できます。
再生するソース（音源）に関係なく設定でき、各再生ソースの再生モードと組み合わせて使用できます。
また、1枚のMDに違う録音モード（SP：標準、LP2：2倍長時間、LP4：4倍長時間）の曲を混在させて録音することもできます。

SP： 標準のステレオ録音（MD80で最大80分の録音）
LP2：2倍長時間録音（ステレオ）
（MD80で最大160分の録音）
LP4：4倍長時間録音（ステレオ）
（MD80で最大320分の録音）

■録音モードの設定

お買い上げのときは、『SP』になっています。

【録音可能時間の確認方法】

ご注意

- 録音モード（SP、LP2、LP4）の設定によって、MDの録音残量表示も変わります。
- 本機では、モノラル長時間録音はできません。
- 録音モードが長時間（SP→LP2→LP4）になるに従って、音質に差が出ます。最良の音質で録音したいときは、録音モードを『SP』にしてください。
- 本機でステレオ2倍長時間録音または4倍長時間録音された曲は、『MDLP』に対応したステレオ長時間再生機能を備えた機器以外では再生できません。曲タイトルのはじめに“LP:”と表示され、無音状態になります。『MDLP』に対応した機器で再生すると、“LP:”は表示されません。
- MDの編集をするとき、録音モード（SP、LP2、LP4）の異なる曲をつなげることはできません。

録音をする前に（つづき）

■曲タイトルの頭に『LP：』を付けない設定

お買い上げのときは、『LP：』を自動で付ける設定（『ON』）になっています。
ステレオ長時間録音された曲のタイトルの頭に『LP：』を付けない設定にすることができます。

1 録音モードの設定（71ページ）の操作*2* で、MULTI JOG（本体）を回すか ⏮/−（リモコン）+/⏭（リモコン）を押して、“LP STAMP ”を点滅させる。

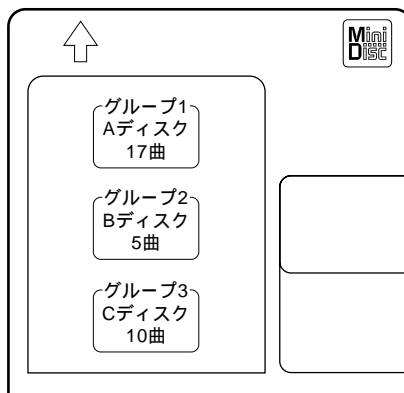
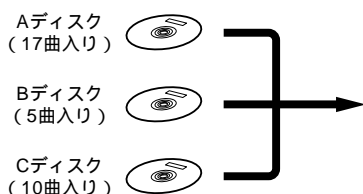
2 PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER/PROG（リモコン）を押し、MULTI JOG（本体）を回すか ⏮/−（リモコン）+/⏭（リモコン）を押して、“OFF ”を選ぶ。

3 PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER/PROG（リモコン）を押して、確定する。

(2) グループ録音

★ 本機ではいずれのソース（音源）から録音したときも、録音開始から終わりまでを1つのグループとして録音することができます。ディスプレイの " GROUP " 表示が点灯しているときは、グループ録音されます。（お買い上げ時の設定）
※グループ機能については、90ページをご覧ください。

■グループ録音のイメージ図

グループモードの設定がONのときA、B、Cディスクを順番に録音すると、次のようにグループ管理されます。

■グループモードの設定をOFFにするには

【グループとして録音したくないとき】

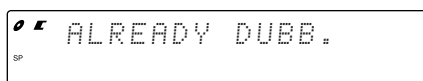
【ディスプレイ表示】

録音をする前に（つづき）

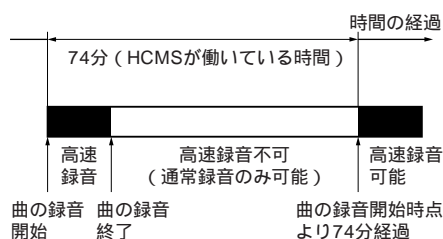
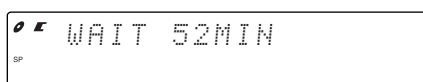
（3）高速録音（2倍速録音）

★ 本機では、CDをMDに等速/2倍速で録音することができます。
CDを従来の約1/2の時間で録音することができます。

■HCMSについて

ある曲を高速録音すると、録音をはじめた時点から74分間は、同一の曲を高速録音することができません。ハイスピードコピーマネージメントシステム（HCMS）では、CDの曲ごとに固有なデータ（ISRC：International Standard Recording Code）をもとに、録音しようとしている曲が74分以内に録音されているかどうかを判定します。
高速録音しようとしている曲が74分以内に録音されていると以下のように表示され、高速録音できません。

ALREADY DUBB.

すでに高速録音された曲を再び高速録音した場合、“ALREADY DUBB.”が表示され、再録音（高速）が可能になるまでの時間が表示されます。

WAIT 52MIN

■高速録音を曲の途中で止めたり、曲の録音中にMDの残り時間がなくなると…

その曲はMDに記録されます。この場合、記録された曲を消去して高速録音をしてください。

■高速録音中に本機の電源を切ったり、スリープタイマーで電源が切れると…

その曲はMDに記録されます。この場合、記録された曲を消去して高速録音をしてください。

■本機で作ったプログラムを高速録音するときは…

HCMSは曲の録音の可否を1曲ごとに判定するため、同一の曲がプログラムされていると、高速録音できません。
例えば、CDの1→2→3→2曲目の順番でプログラムされている場合、高速録音しようとすると“CD SAME TRACK”を表示させ、高速録音を禁止します。

■一度に100曲まで録音できます。

- 高速録音を始めて、74分以内に100曲の録音が終了した場合、最初に高速録音を始めた時点から74分が経過するまで、101曲目の録音はできません。
- 録音途中で100曲目の録音が終了したとき、“CANNOT SRS”を表示した後、録音が終了します。

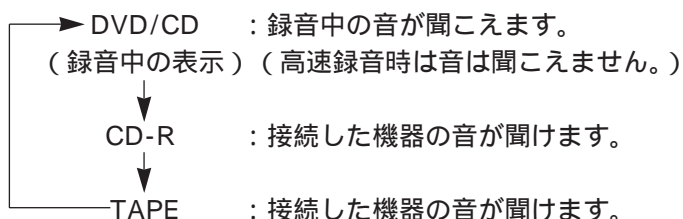
（4）裏再生機能について

★ DVDビデオプレーヤーのディスクを録音中に他のファンクションを聞くことができます。

★ 録音中に LINE（本体） または LINE（リモコン） を押すと、次のようにファンクションが切り替わります。

- DVD/CD（録音中の表示）：録音中の音が聞こえます。（高速録音時は音は聞こえません。）
- ↓ CD-R：接続した機器の音が聞けます。
- ↓ TAPE：接続した機器の音が聞けます。

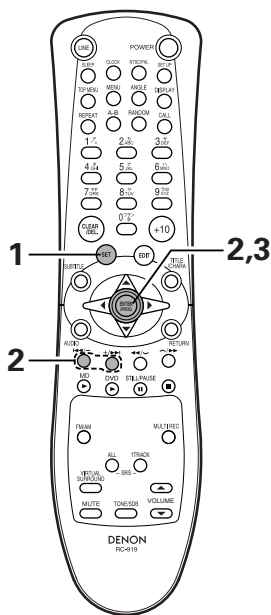
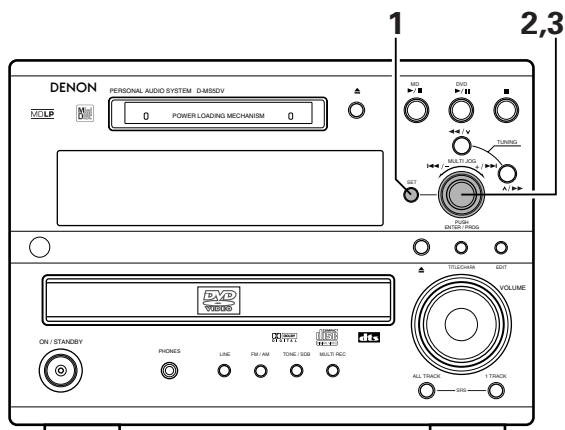
（TAPEからDVD/CDへ戻ります。）

ご注意

- ピックレックのときは機能しません。
- OPTに接続した機器の音は聞けません。

（5）曲番について

■オートトラックインクリメント機能（ATM機能）

アナログ録音のときに約3秒の無音部分を曲間とみなして、自動的に次の曲番を付ける機能です。
お買い上げのときは『ON』に設定されており、ディスプレイの“ ATM ”表示が点灯しています。

■ATM機能の設定をOFFにするには

【ディスプレイ表示】

ATM機能
ON ：点灯
OFF：消灯

【曲番を付けたくないとき】

1 SET（本体）または SET（リモコン）を押す。

2 MULTI JOG ⏮/－ ＋/⏭（本体）を回すか ⏮/－（リモコン） ＋/⏭（リモコン）を押して“ANALOG A.T.M?”が表示されたら、PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER /PROG（リモコン）を押す。

A.T.M. ON/OFF

※ MULTI JOG ⏮/－ ＋/⏭（本体）を回すか ⏮/－（リモコン） ＋/⏭（リモコン）を押すと“ ON ”、“ OFF ”を選択できます。

3 “OFF”を点滅させ、PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER /PROG（リモコン）を押す。

- “A.T.M. OFF”が約3秒間表示されます。

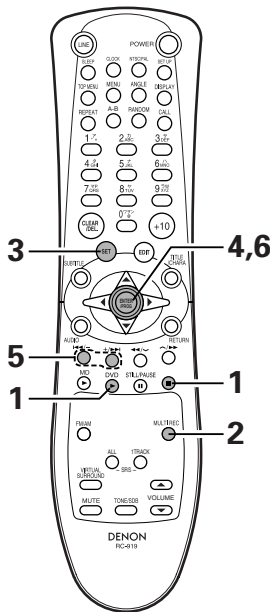
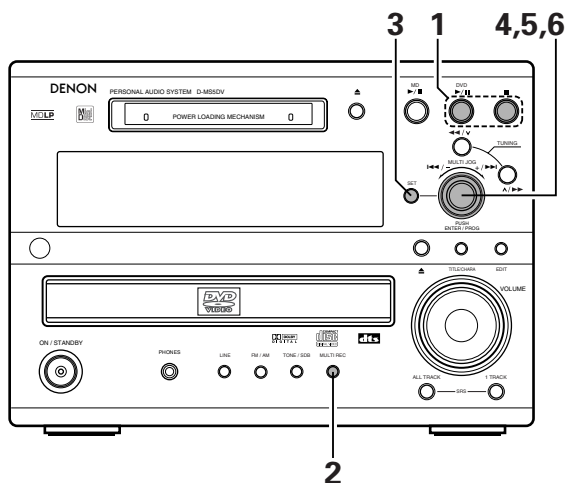
※デジタル録音のときは、ATM機能がOFFであっても“ ATM ”は点灯します。

- ATM機能がOFFでデジタル録音のとき

CD 01Tr 00:01
SP GROUP DIGITAL ATM

30 録音レベルを調節する

★ MULTI RECボタンを使って録音する場合、ソース（音源）がCDまたはOPTからのときに録音レベルを調節することができます。
★ 録音レベルは、ソース（音源）の違いによる録音レベルのバラツキを整えるときや録音レベルが大きすぎたり小さすぎるときに調節します。

（1）1曲目を調節するとき

1	**レベルを調節するCDを入れ、** DVD ►/II（本体）**または** DVD ►（リモコン）**を押してから、** ■（本体）**または** ■（リモコン）**を押す。** ● 入力を『DVD/CD』にし、停止状態にします。
2	MULTI REC（本体）**または** MULTI REC（リモコン）**を押して、** **録音一時停止状態にする。**
3	SET（本体）**または** SET（リモコン）**を押す。** ● “REC LEVEL? ” が表示されます。
4	PUSH ENTER / PROG（本体）**または** ENTER /PROG（リモコン）**を押す。** ● 自動的にCDの再生がはじまります。 -∞ -12 -4 dB OVER
5	|◄◄ / − MULTI JOG + / ►►|（本体）**を回すか** |◄◄/−（リモコン） +/►►|（リモコン）**を押して、調節をおこなう。** ● 調節範囲は、−∞〜＋12dBです。 ● 最も大きなレベルでレベルメーターが“ OVER ” の位置まで点灯しないように調節します。
6	PUSH ENTER / PROG（本体）**または** ENTER /PROG（リモコン）**を押す。** ● 録音一時停止状態に戻ります。

ご注意

CDがプログラムされた状態では機能しません。

録音レベルを調節する（つづき）

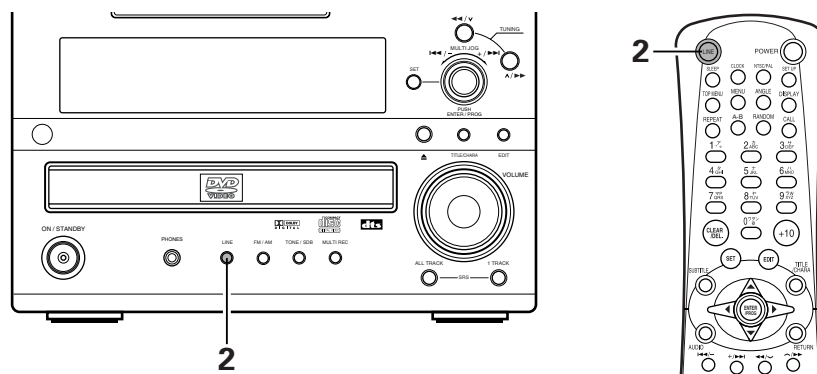
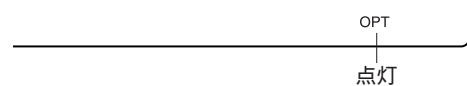
（2）途中の曲を調節するとき

76ページの『1曲目を調節するとき』の操作*2* の録音一時停止状態で、

て希望する曲を選び、操作*3* ～*6* を操作する。

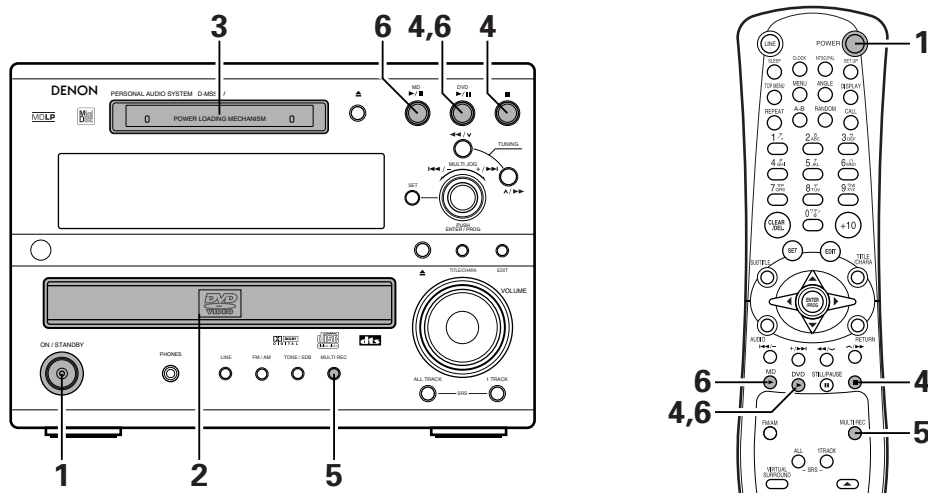
ご注意

- 外部機器やチューナーのアナログ録音の録音レベル調節はできません。
- DVD、ビデオCD、MP3ディスクのアナログ録音の録音レベル調節はできません。
- 録音レベルは、−∞～＋12dB（1dB単位）の範囲で調節できます。お買い上げ時は『00dB』に設定されています。）
- 設定した録音レベルは、以下の操作で00dBに戻ります。
  ① 操作*6* の状態で ■（本体） または ■（リモコン） が押されたとき
  ② 録音が終了したとき

（3）OPTの録音レベルを調節するとき

1	**デジタル機器を接続し、再生する。**
2	LINE（本体） または LINE（リモコン） **を押して、** **『OPT』を選ぶ。** ● OPTICAL IN端子に正しく接続されていると、ディスプレイの " OPT " が点灯します。 OPT 点灯 ※" OPT " が消灯しているときに MULTI REC（本体） または MULTI REC（リモコン） が押されたときは、 " DIN UNLOCK " が表示され、録音一時停止状態になりません。
3	**76ページの『1曲目を調節するとき』の操作2 ～*6* を操作する。**

ご注意

- 以下の操作をおこなったとき、一瞬音が途切れますが、故障ではありません。
  ① MULTI REC（本体） または MULTI REC（リモコン） が押され、一時停止状態になったとき
  ② 一時停止状態で ■（本体） または ■（リモコン） が押されたとき
- SCMSによりデジタルコピー禁止のソースの場合、" COPY PROHIBIT " が表示され、録音一時停止状態になりません。

31 CD/ビデオCDからMDへ録音する

★ 録音済みのMDを使用するときは、残り時間にご注意ください。（71ページ参照）
★ 録音済みのMDの内容をすべて消去して、MDの頭から録音したいときは、全曲消去操作をおこなってから録音してください。（114ページ参照）
★ 録音をおこなうときは、誤録音/誤消去防止ツメをずらして孔を閉じてください。（11ページ参照）
★ 録音中に他のファンクションが聞けます。（**裏再生機能**：74ページ参照）

1 ON / STANDBY（本体）または POWER（リモコン）を押して、電源を入れる。

2 再生するCDまたはビデオCDを入れる。

3 録音用MDを入れる。

4 DVD ►/❚❚（本体）または DVD ►（リモコン）を押してから、■（本体）または ■（リモコン）を押す。

- 入力を『DVD/CD』にし、停止状態にします。

5 MULTI REC（本体）または MULTI REC（リモコン）を押す。

- 通常録音一時停止状態になります。
- CDを録音するときは、必要に応じて録音レベルを調節してください。（76ページ参照）

6 録音を開始する。

DVD ►/❚❚（本体）, DVD ►（リモコン）または MD ►/❚❚（本体）, MD ►（リモコン）を押す。

一時的に録音を止めるには

録音中に DVD ►/❚❚（本体）, MD ►/❚❚（本体）または STILL/PAUSE（リモコン）を押す。

録音一時停止状態から録音を続けるには

DVD ►/❚❚（本体）, DVD ►（リモコン）または MD ►/❚❚（本体）, MD ►（リモコン）を押す。

録音を止めるには

■（本体）または ■（リモコン）を押す。

ご注意

- MDが停止すると、TOC情報を書き込みます。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅します。このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。録音した情報が記録されません。
- ビデオCDからの録音は、アナログ録音となります。アナログ録音中にバーチャルサラウンドモードにすると、バーチャルサラウンドが効いた状態で録音されます。

32 DVDからMDへ録音する

★ 録音済みのMDを使用するときは、残り時間にご注意ください。（71ページ参照）
★ 録音済みのMDの内容をすべて消去して、MDの頭から録音したいときは、全曲消去操作をおこなってから録音してください。（114ページ参照）
★ 録音をおこなうときは、誤録音/誤消去防止ツメをずらして孔を閉じてください。（11ページ参照）
★ 録音中に他のファンクションが聞けます。（**裏再生機能**：74ページ参照）

一時的に録音を止めるには

録音中に DVD ►/❚❚（本体）, MD ►/❚❚（本体） または STILL/PAUSE（リモコン） を押す。

録音一時停止状態から録音を続けるには

DVD ►/❚❚（本体）, DVD（リモコン） または MD ►/❚❚（本体）, MD（リモコン） を押す。

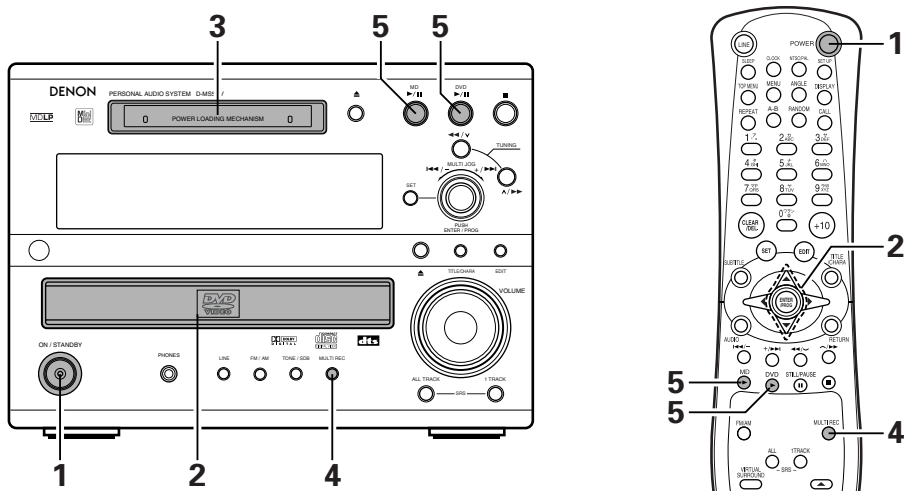
録音を止めるには

■（本体） または ■（リモコン） を押す。

ご注意

- MDが停止すると、TOC情報を書き込みます。書き込みをはじめると“ TOC ”表示が点滅します。このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。録音した情報が記録されません。
- DVDからの録音は、アナログ録音となります。アナログ録音中にバーチャルサラウンドモードにすると、バーチャルサラウンドが効いた状態で録音されます。

33 MP3ディスクからMDへ録音する

★ 録音済みのMDを使用するときは、残り時間にご注意ください。（71ページ参照）
★ 録音済みのMDの内容をすべて消去して、MDの頭から録音したいときは、全曲消去操作をおこなってから録音してください。（114ページ参照）
★ 録音をおこなうときは、誤録音/誤消去防止ツメをずらして孔を閉じてください。（11ページ参照）
★ 録音中に他のファンクションが聞けます。（**裏再生機能**：74ページ参照）

一時的に録音を止めるには

録音一時停止状態から録音を続けるには

録音を止めるには

ご注意

- 操作*2* でフォルダーが選択されている場合は、録音できません。
- フォルダーをまたがった録音はできません。
- MDが停止すると、TOC情報を書き込みます。書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅します。このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。録音した情報が記録されません。
- MP3ディスクからの録音は、アナログ録音となります。アナログ録音中にバーチャルサラウンドモードにすると、バーチャルサラウンドが効いた状態で録音されます。

34 CDのすべての曲を録音する（オールトラックシンクロ録音）

★ 高速録音ができます。
★ 録音中に他のファンクションが聞けます。（**裏再生機能**：74ページ参照）
★ DVD、ビデオCD、MP3ディスクは機能しません。

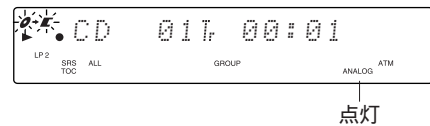
ご注意

- 高速録音をおこなう際、ディスクによってはノイズが録音される場合があります。このような場合は、等速で録音をおこなってください。
- ランダムモード、リピートモードのとき、シンクロ録音はできません。

1	ON / STANDBY （本体） **または** POWER（リモコン） **を押して、** **電源を入れる。**
2	**再生するCDを入れる。**
3	**録音用MDを入れる。**
4	ALL TRACK ―SRS（本体） **または** ALL –SRS–（リモコン） **を押す。** **押すたびに、** X2 SPEED ALL? ↕ NORMAL ALL? **と切り替わるので、希望する録音スピードを選ぶ。**
5	PUSH ENTER / PROG（本体） **または** ENTER /PROG（リモコン） **を押す。** ● ディスクチェックモードに入り、ディスクの状態を確認します。 DISC CHECKING ● 問題がなければ、自動的に録音を開始します。 ● 2倍速（X2 SPEED）録音のときは、CDの音を聞くことができません。

■ディスクチェックモード

録音するCDがSCMSによりデジタルコピー禁止のソースか確認します。

※ 禁止ソースの場合、アナログ録音となります。（自動的に切り替わります。）

※ アナログ録音時は等速録音になります。

録音を止めるには

■（本体） **または** ■（リモコン） **を押す。**

- MDが停止すると、TOC情報を書き込みます。
  書き込みをはじめると " TOC " 表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。録音した情報が記録されません。

■REC ERROR表示

ディスクチェックモードから録音終了までの間にCDの汚れや傷などで録音が途中で停止したときに表示します。

※ ボリウム、ボタン操作がない限り表示を解除しません。

35 CDの任意の1曲を録音する（1トラックシンクロ録音）

★ 高速録音ができます。
★ 録音中に他のファンクションが聞けます。（**裏再生機能**：74ページ参照）
★ DVD、ビデオCD、MP3ディスクは機能しません。

ご注意

- 高速録音をおこなう際、ディスクによってはノイズが録音される場合があります。このような場合は、等速で録音をおこなってください。
- ランダムモード、リピートモードのとき、シンクロ録音はできません。

1 ON / STANDBY（本体）または POWER（リモコン）を押して、**電源を入れる。**

2 **再生するCDを入れる。**

3 **録音用MDを入れる。**

4 DVD ►/II（本体）または DVD ►（リモコン）を押してから、
■（本体）または ■（リモコン）を押す。
- 入力を『DVD/CD』にし、停止状態にします。

5 MULTI JOG |◄◄ / − +/ ►►|（本体）を回すか |◄◄/−（リモコン）+/►►|（リモコン）を**押して、曲番を選ぶ。**

6 1 TRACK SRS（本体）または 1TRACK SRS（リモコン）を押す。
押すたびに、

X2 SPEED?
↕
NORMAL SPEED?

と切り替わるので、希望する録音スピードを選ぶ。

7 PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER /PROG（リモコン）**を押す。**
- ディスクチェックモードに入り、ディスクの状態を確認します。

- 問題がなければ、自動的に録音を開始します。
- 2倍速（X2 SPEED）録音のときは、CDの音を聞くことができません。

録音を止めるには

■（本体）または ■（リモコン）**を押す。**

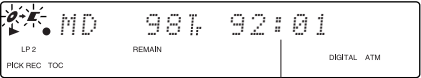
- MDが停止すると、TOC情報を書き込みます。
書き込みをはじめると " TOC " 表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。録音した情報が記録されません。

■ディスクチェックモード（81ページ参照）

■REC ERROR表示（81ページ参照）

36 曲の途中でその曲の始めから録音する

★ 本機をピックレックモードにすることにより、CDやチューナーなどで曲を聞きながら、曲の途中で録音操作をおこなえます。（**ピックレック機能**）
★ ピックレック機能で録音できるのは、ピックレックモードにしてピックレックをはじめたときからの内容です。曲の途中でピックレックモードにしたときは、その曲の頭から録音することができません。

（1）CDからのピックレックのはじめかた

※チューナーからのピックレックは89ページをご覧ください。
※他の機器からのピックレックは、120ページをご覧ください。
※DVD、ビデオCD、MP3ディスクでは機能しません。

1
ON / STANDBY（本体）または POWER（リモコン）を押して、
電源を入れる。

2 **再生するCDを入れる。**

3 **録音用MDを入れる。**

4
DVD ►/❚❚（本体）または DVD ►（リモコン）を押してから、
■（本体）または ■（リモコン）を押す。
● 入力を『DVD/CD』にし、停止状態にします。

5
MULTI REC（本体）または MULTI REC（リモコン）を2回押して、
“ PICK REC ” を表示させる。
● ピックレック一時停止状態になります。
● 必要に応じて録音レベルを調節してください。（76ページ参照）

CD 01 00:00
LP 2
PICK REC
DIGITAL ATM
点灯

6
DVD ►/❚❚（本体）、DVD ►（リモコン）または MD ►/❚❚（本体）、MD ►（リモコン）を
押す。
● “ PICK REC ” を表示後ピックレック可能時間が表示され、ピックレックモードになります。

MD 98 92:01
LP 2 REMAIN
PICK REC TOC DIGITAL ATM
録音可能時間

7
ピックレック中の曲番を選択するとき
その曲番の再生が終わるまでに
PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER/PROG（リモコン）を押す。
● “ PICK REC ” 表示が点滅して、その曲番が選択されます。
● 曲番が変わると “ PICK REC ” 表示が点灯に変わります。

MD 98 91:05
LP 2 REMAIN
PICK REC TOC DIGITAL ATM

ピックレック中の曲番を選択しないとき
何も操作しない。
※ “ PICK REC ” 表示が点灯している曲番は、選択されません。

（次ページに続く）

曲の途中でその曲のはじめから録音する（つづき）

※入力ファンクションが『DVD/CD』のときは、

不要な曲番を MULTI JOG +/▶▶I（本体） または +/▶▶I（リモコン） で次の曲番へ送ることができます。

● “ PICK REC ” 表示が点灯中（曲番を選択していないとき）は、MULTI JOG +/▶▶I（本体） を右に回すか +/▶▶I（リモコン） を押してください。

● “ PICK REC ” 表示が点滅中（曲番を選択しているとき）は、PUSH ENTER / PROG（本体） または ENTER/PROG（リモコン） を押して、

“ PICK REC ” 表示を点灯に変えてから

を右に回すか +/▶▶I（リモコン） を押してください。

※ピックレックをおこなっている場合、曲の途中でも曲番が変わることがあります。
録音したい曲番は、

すべて

または

を押してください。

※83ページの操作**7**で

または

を押した後で録音が不要になったときは、その曲番の選択中にもう一度

または

を押してください。
“ PICK REC ” 表示が点灯に変わり、選択を取り消します。

ピックレック可能時間について

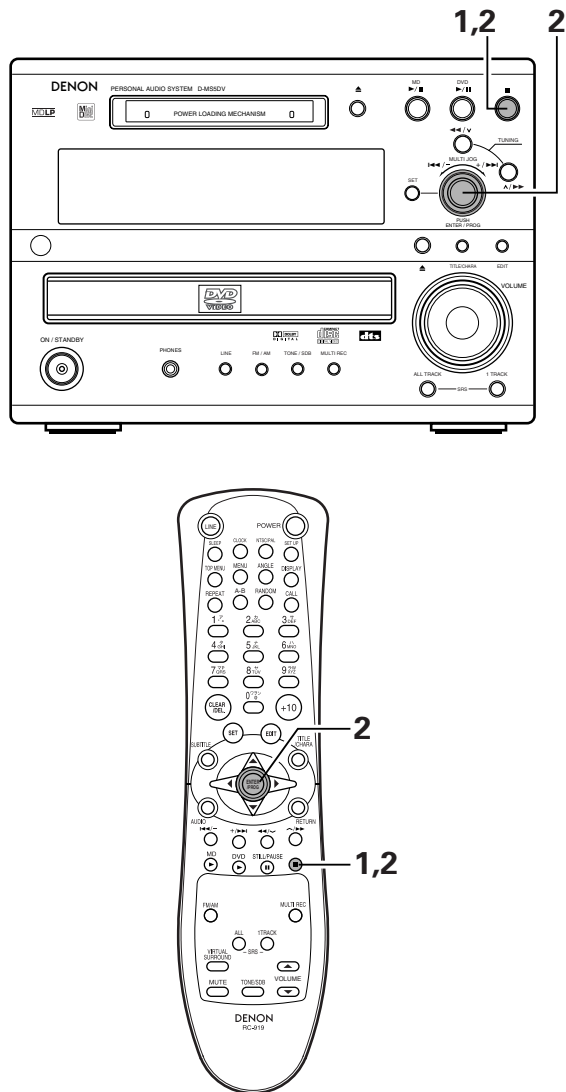
● ピックレックをはじめてからのピックレック可能時間は、録音用MDの録音可能時間になります。できるだけ長時間録音できるMDを使用するとともに、ピックレック中はディスプレイの可能時間表示を確認して、残り時間に注意してください。
● ピックレック可能時間がなくなったときには、自動的に停止します。この場合は、85ページの『ピックレックの止めかた』によりMDへの書き込みを完了させてください。
● ピックレック可能時間が残っていても、ピックレックをはじめてからの曲番が36以上になると、“ PICK REC ” 表示が2回点滅をくり返します。“ PICK REC ” 表示が2回点滅した後は、録音する/しないの選択ができませんので、一度ピックレックを止めて、MDへの書き込みを完了させて再度ピックレックをはじめてください。

ご注意

ピックレックのときは、裏再生機能はできません。

曲の途中でその曲のはじめから録音する（つづき）

(2) ピックレックの止めかた

1

- 録音が停止して "P-REC　OK?" が表示されます。
  （ピックレック可能時間がなくなったときには、自動的に停止して "P-REC　OK?" が表示されます。）

2

録音する曲の選択がうまくいかなかったとき

- "P-REC　CANCEL" が表示され、ピックレックをはじめてから再生された曲番すべてがMDに記録されます。

録音する曲の選択がうまくいったとき

PUSH ENTER / PROG（本体）　**または**　ENTER /PROG（リモコン）　**を押す。**

- "P-REC　EDIT" が表示されます。
- ピックレック中に

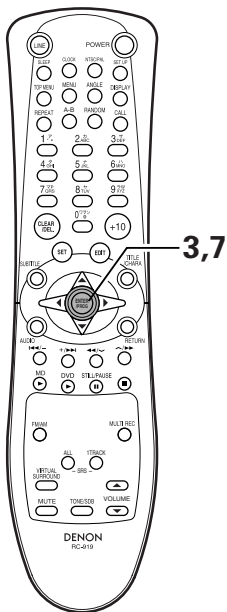
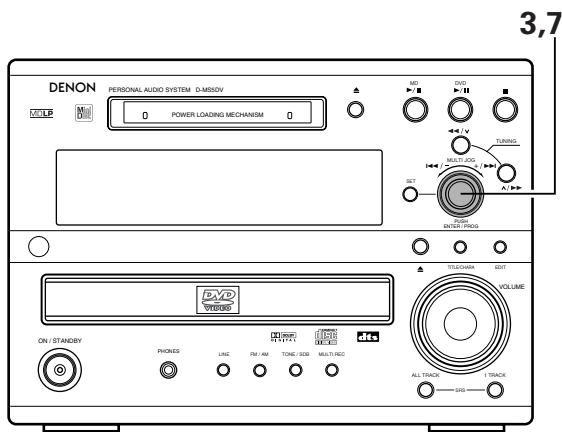
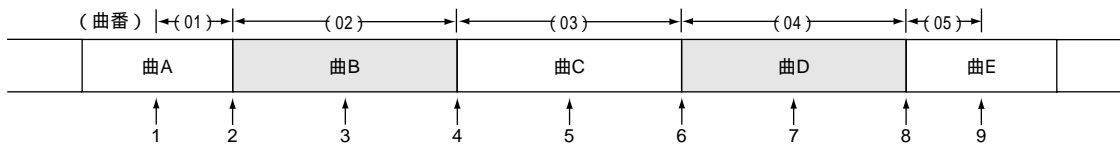
  を押して、『選択する』を選択した曲番のみをMD内に記録します。
- "P-REC　EDIT" が表示されているときは、他の操作をおこなわないでください。
  記録された内容が損なわれたり、正しく記録されない場合があります。

※ピックレック中に

スタンバイにした場合は、ピックレックをはじめてから再生された曲すべてがMDに記録されます。

※ピックレックをはじめてから数秒で止めた場合でも "P-REC　OK?" が表示されますが、1曲も録音されていないことがあります。

(3) ピックレックの使用例

★ 音楽CDをピックレックする例を説明します。（ブランクディスクを使用）

1 **83ページの操作*5* 、*6* をおこなって、ピックレックをはじめる。〈曲番：01〉**
- "PICK REC" 表示が点灯します。

2 **曲番が変わる。〈曲番：02〉**
- "PICK REC" 表示は点灯のままです。

3 曲Bを録音するとき

PUSH ENTER / PROG（本体） **または** ENTER /PROG（リモコン） **を押す。**
- "PICK REC" 表示が点滅になります。

4 **曲番が変わる。〈曲番：03〉**
- "PICK REC" 表示が点灯に変わります。

5 曲Cを録音しないとき

何も操作しない。
- "PICK REC" 表示は点灯のままです。

6 **曲番が変わる。〈曲番：04〉**
- "PICK REC" 表示は点灯のままです。

7 曲Dを録音するとき

PUSH ENTER / PROG（本体） **または** ENTER /PROG（リモコン） **を押す。**
- "PICK REC" 表示が点滅になります。

8 **曲番が変わる。〈曲番：05〉**
- "PICK REC" 表示が点灯に変わります。

9 **音楽CDが終了したら、85ページの操作*1* 、*2* の『録音する曲の選択がうまくいったとき』をおこなって、ピックレックを止める。**
- MDには曲Bと曲Dだけが録音されます。
- 曲番は曲Bが01、曲Dが02に編集されます。

ご注意

アナログ入力の場合、操作*2* 、*4* 、*6* 、*8* で約3秒以上無音部がないと自動的に曲番が変わりません。
この場合は、ピックレック終了後、85ページの『ピックレックの止めかた』の操作*2* の『録音する曲の選択がうまくいかなかったとき』をおこなってから、106、107ページの『曲を分割する』および112、113ページの『曲を消去する』を参照して、分割と消去をおこなってください。

37 プログラム録音

★ ビデオCDや音楽CDの好きな曲を好きな順に登録して、MDに録音することができます。
★ 録音終了後もプログラムは残りますので、同じ順番で再び再生したいときに便利です。
★ DVD、MP3ディスクでは働きません。
★ 録音中に他のファンクションが聞けます。（**裏再生機能**：74ページ参照）

1 ON / STANDBY （本体） または POWER （リモコン） を押して、
電源を入れる。

2 録音用MDを入れる。

3 再生するCDまたはビデオCDを入れて、
プログラムする。（60、61ページ参照）

CD P04 13:13
SP PROGRAM GROUP ATM

4 通常録音をおこなうとき

78ページの操作*5* 、*6* をおこなってください。

シンクロ録音をおこなうとき

◎オールトラックシンクロ録音
81ページの操作*4* 、*5* をおこなってください。

ご注意

- プログラムされた状態で、1トラックシンクロ録音はできません。
- ビデオCDのシンクロ録音はできません。

38 録音状態を確かめる

DVD/CD/ビデオCD/MP3ディスクを録音しているとき

録音中、 DISPLAY ○（リモコン） を押すたびに、

タイトル、チャプター、トラックの経過時間、残量時間が確認できます。（62、67ページ参照）

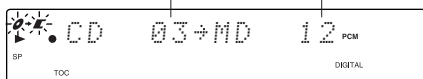
CDを録音しているとき

録音中、 CALL ○（リモコン） を押すたびに、

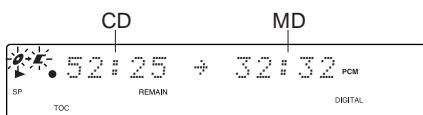
ディスプレイの表示が切り替わります。

① CDとMDの曲番

再生している曲番　　録音している曲番

⇩

② CD全体の残り時間とMDの録音可能時間

CD　　MD

⇩

解除

※ DVD/ビデオCD/MP3ディスクを録音しているときは、

① MDの曲番

② MDの録音可能時間

のみの表示となります。

『FM/AM』『CD-R』『TAPE』『OPT』を録音しているとき

録音中、 CALL ○（リモコン） を押すたびに、

ディスプレイの表示が切り替わります。

【例】『OPT』をデジタル録音しているとき

⇩

解除

39 ラジオ放送をMDへ録音する

一時的に録音を止めるには

録音一時停止状態から録音を続けるには

録音を止めるには

MDへの録音可能時間を確かめるには

88ページをご覧ください。

ピックレックをおこなうには

操作*3* で MULTI REC（本体） **または** MULTI REC（リモコン） **を2回押して**

“ PICK REC ” を表示させ、

※録音している番組が終了したら、85ページの操作*1*、*2*をおこなってピックレックを終了させてください。

ご注意

- ピックレックでの曲の選択がうまくいかなかったときは、ピックレック終了後、85ページの『ピックレックの止めかた』の操作*2* の『録音する曲の選択がうまくいかなかったとき』をおこなってから、106、107ページの『曲を分割する』および112、113ページの『曲を消去する』を参照して、分割と消去をおこなってください。
- ATM ONで録音すると、録音する番組によっては短い時間の間に曲数が増え続ける場合があります。（トーク番組など）
  チューナーを録音するときは、ATM OFFで録音することをおすすめします。

40 MDグループ機能について

★ MDグループ機能とは、新しい機能としてMDに収録されている曲をグループ管理する機能です。
★ 本機では、MDLP（MD LONG PLAY）フォーマット対応により、通常録音時間の2倍長または4倍長のステレオ録音ができます（MDLP録音)。しかし、従来よりも多くの曲が録音できるようになりましたが、再生するときに曲を見つけるのが大変です。このために録音された曲をグループに分割して管理し、簡単に再生、検索ができるようにしました。
★ 本機のグループ機能は下記のような操作ができます。

1．グループを作る
- MDに収録されている連続した複数の曲をグループとして登録し、グループを作ります。
- 本機でMD1枚に登録できるグループ数は最大10グループです。
- 収録後のグループ登録の変更などができます。

2．聞きたいグループを再生する
- 1グループ再生：1グループを再生する場合の機能です。
- グループプログラム再生：登録したグループをプログラム再生する場合の機能です。

3．グループの中の曲を変更およびグループを解除する
- グループに登録されている曲を消去、分割、結合および移動できます。
- グループを解除できます。

4．グループのタイトルをつける、変更する
- 登録したグループにグループ名をつけることができます。
- 登録したグループのグループ名を変更できます。
- 本機で入力できるグループ名の文字数の合計は約100文字です。

ご注意

■ グループ機能を搭載していない機器での編集
グループ登録したディスクをグループ機能を搭載していない機器で1曲消去、曲の移動などの編集をしないでください。グループとして登録した曲番が編集前と異なり、グループ機能が正しく動作しなくなります。

■ グループ機能を搭載していない機器でのグループ情報の表示
グループ情報は、実際はディスク名情報の格納部に書かれています。そのため、グループ機能を搭載していない機器でディスク名を表示させると以下のような表示になりますが、故障ではありません。
0；ディスク名//1-5；グループ名1//6-9；グループ名2//…

■ 本機のグループ機能の制限
本機で扱えるグループは最大10グループです。
グループ名の文字数合計は約100文字です。
この制限を超えたMDを使用した場合、また、曲番登録のないグループはグループとして認識しません。
本機で編集作業をおこなうと、本機の制限を超える情報は消去されます。

■ グループタイトル
1つのグループに多くの文字入力をすると、登録できるグループ数が減ってしまいます。10グループすべてを登録してタイトルを付けるには、『1グループ10文字前後の文字入力』をおすすめします。

41 グループを作る

★ グループとして管理されていない連続している曲を選んでグループにします。
　1曲でもグループにすることができます。
★ 作ったグループ以降のグループ番号は、自動的に消えます。

[例] 1曲から10曲までの連続した曲の1曲目から5曲目を1つのグループにするとき

● グループされていない連続した曲　　　　　　　　グループ1

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ──► [1 2 3 4 5] 6 7 8 9 10

（次ページに続く）

グループを作る（つづき）

7 （本体）または（リモコン）を押す。

● 最初の曲番が確定されます。

`TRACK 01-01`

8 （本体）を回すか（リモコン）（リモコン）を押して、グループ登録したい最後の曲番を表示させる。

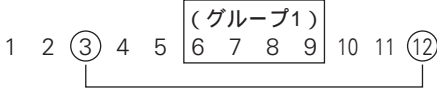
`TRACK 01-05`

9 （本体）または（リモコン）を押す。

`COMPLETE` ⇩ `GP NAME IN?`

10 （本体）または（リモコン）を押す。

● グループタイトル入力モードになります。

※ タイトルの入力のしかたは、『ディスク名をつける』（100、101ページ）の操作を参照してください。

11 （本体）または（リモコン）を押す。

12 （本体）を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。

● TOC情報を書き込み、MDを排出します。
書き込みをはじめると“ TOC ”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。編集した情報が記録されません。

● TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。
・録音を停止したとき
・録音一時停止を停止したとき
・電源を切ったとき（スタンバイ状態）

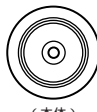
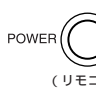
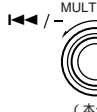
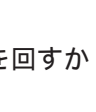
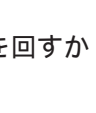
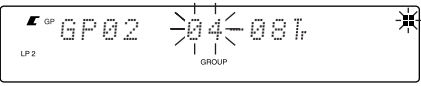
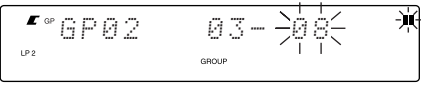
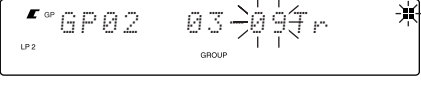
※ 下図のようにグループにする最初の曲（3曲目）と最後の曲（12曲目）は、グループ管理されていなくても、間にグループがはさまれているとグループを作ることはできません。

（グループ1）
1 2 ③ 4 5 6 7 8 9 10 11 ⑫

このような場合は、『グループを解除する』（115ページ）の操作をして、グループを解除してからグループを作り直してください。

ご注意

● 一度グループに登録された曲は選択できません。
● 10グループがすでに登録されている場合、“ GROUP OVER ”を表示します。
● ディスク名、グループ名の文字数に制限があるため、10グループ登録できない場合があります。（“ TITLE FULL ”や“ CANNOT EDIT ”が表示されます。）
● 全トラックがすでにグループ登録されている場合は、“ CANNOT EDIT ”が表示されます。

グループを作る（つづき）

グループの曲を変更する

★ グループ内の曲を変更できます。
★ グループとして管理されていない曲の前後にグループがある場合、グループにすることができます。

［例］ グループ2（4曲目〜8曲目）を3曲目〜9曲目に変更するとき

グループ1　グループ2　　　　　グループ1　グループ2
[1 2] 3 [4 5 6 7 8] 9 10 ――→ [1 2] [3 4 5 6 7 8 9] 10

1 ON / STANDBY（本体）または POWER（リモコン）を押して、電源を入れる。

2 編集するMDをMD挿入口に入れる。
※ディスプレイの“GROUP”表示が点灯していることを確認してください。
消灯しているときは、グループモードを『ON』に設定してください。（73ページ参照）

3 MD ►/❚❚（本体）または MD ►（リモコン）を押してから、
■（本体）または ■（リモコン）を押す。
● 停止状態になります。

4 EDIT（本体）または EDIT（リモコン）を押す。

5 MULTI JOG ⏮/– +/⏭（本体）を回すか ⏮/–（リモコン） +/⏭（リモコン）を押して“GP MODIFY?”が表示されたら、
PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER /PROG（リモコン）を押す。

6 MULTI JOG ⏮/– +/⏭（本体）を回すか ⏮/–（リモコン） +/⏭（リモコン）を押して、変更したいグループを選択する。

（次ページに続く）

グループを作る（つづき）

7
PUSH ENTER / PROG（本体）
または
ENTER /PROG（リモコン）
を押す。
GP GP02 04-08Tr
LP 2
GROUP
8
MULTI JOG
I◀◀ / – + / ▶▶I
（本体）
を回すか
I◀◀/–（リモコン）
+/▶▶I（リモコン）
を
押して、変更したい最初の曲番を表示させる。
9
PUSH ENTER / PROG（本体）
または
ENTER /PROG（リモコン）
を押す。
GP GP02 03-08
LP 2
GROUP
10
MULTI JOG
I◀◀ / – + / ▶▶I
（本体）
を回すか
I◀◀/–（リモコン）
+/▶▶I（リモコン）
を
押して、変更したい最後の曲番を表示させる。
GP GP02 03-09Tr
LP 2
GROUP
11
PUSH ENTER / PROG（本体）
または
ENTER /PROG（リモコン）
を押す。
●“ COMPLETE ” 表示後、停止状態になります。
12
⏏
（本体）
を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。
●TOC情報を書き込み、MDを排出します。
書き込みをはじめると“ TOC ” 表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。
編集した情報が記録されません。
●TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。
・録音を停止したとき
・録音一時停止を停止したとき
・電源を切ったとき（スタンバイ状態）

42 グループを再生する

(1) 1グループのみを聞く

★ まず『グループを作る』の操作をおこなってください。

1 MD挿入口にグループ登録したディスクを入れ、入力を『MD』にして停止状態にします。

2 SET（本体）または SET（リモコン）を押す。

3 MULTI JOG（本体）を回すか |◀◀/−（リモコン） +/▶▶|（リモコン）を押して "1-GROUP?" が表示されたら、PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER/PROG（リモコン）を押す。

1-GROUP?

⇩

1-GP ON/OFF

4 MULTI JOG（本体）を回すか |◀◀/−（リモコン） +/▶▶|（リモコン）を押して、"ON" を点滅させる。

5 PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER/PROG（リモコン）を押す。

1-GROUP ON

⇩

10 26Tr 76:37

※ グループ登録のないMDのときは"NO GROUP"が表示されます。

6 MULTI JOG（本体）を回すか |◀◀/−（リモコン） +/▶▶|（リモコン）を押して、グループを選ぶ。

7 PUSH ENTER / PROG（本体），ENTER/PROG（リモコン）または MD ▶/II（本体），MD ▶（リモコン）を押す。

● 選んだグループに登録されている曲が再生され、再生が終わると自動的に停止します。

※ 再生中は MULTI JOG（本体）を回すか |◀◀/−（リモコン） +/▶▶|（リモコン）を押すと、再生中のグループ内の曲番を頭出しします。

CALLボタンでの選びかた

操作*6*で CALL（リモコン）を押してもグループを選ぶことができます。
再生中に押すと、次のグループに切り替わります。

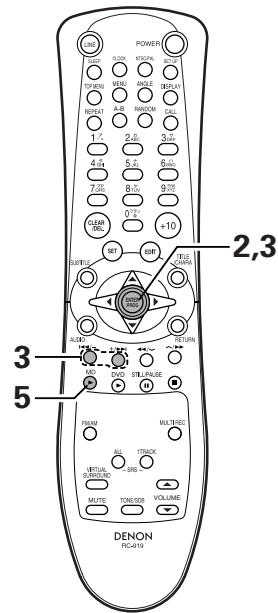
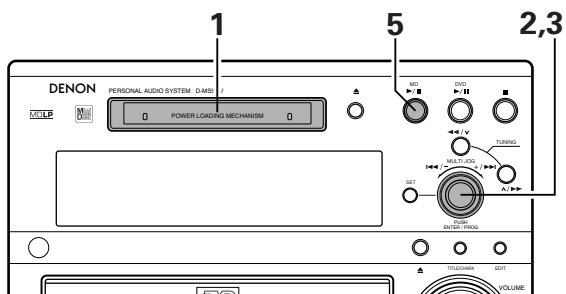
ご注意

● 1-GROUPモードは、プログラムまたはランダムモードにすると自動的に解除されます。

● 1-GROUPモードは 1（リモコン） 〜 +10（リモコン）を使ってダイレクト再生をすると解除されます。

グループを再生する（つづき）

(2) グループプログラム再生

★ まず『グループを作る』の操作をおこなってください。

1 **MD挿入口にグループ登録したディスクを入れ、入力を『MD』にして停止状態にします。**

2 PUSH ENTER / PROG（本体） **または** ENTER/PROG（リモコン） **を押して、**

“GROUP PROGRAM ”を選ぶ。

※ ボタンを押すたびに次のようになります。

3 MULTI JOG（本体） **を回すか** ⏮/–（リモコン） +/⏭（リモコン） **を押して、聞きたいグループを指定して**

PUSH ENTER / PROG（本体） **または** ENTER/PROG（リモコン） **を押す。**

※ 1（リモコン） ～ +10（リモコン） でも指定できます。

グループを間違えたとき

登録中に CLEAR/DEL.（リモコン） を押すと、

最後に選んだグループが取り消されます。
続けて押すと、順に取り消されます。

4 ***3*** **の操作をくり返して、聞きたいグループを順に指定する。**

- プログラムの総再生時間が“ 999：59 ”を超えると“ --：-- ”が表示されますが、記憶はされています。

5 MD ►/❚❚（本体） **または** MD ►（リモコン） **を押す。**

登録した順番を確かめるには

CALL（リモコン） **を押す。**

- 登録したグループが順に表示されます。

登録を取り消すには

停止中に PUSH ENTER / PROG（本体） **または** ENTER/PROG（リモコン） **を押す。**

（MD取り出しボタン（⏏）を押してMDを取り出したときも登録は取り消されます。）

ご注意

- 同じグループを登録することはできません。
- すべてのグループを登録後に操作***3*** をおこなうと、“ FULL ”が表示されます。

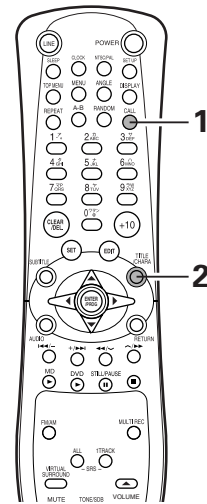
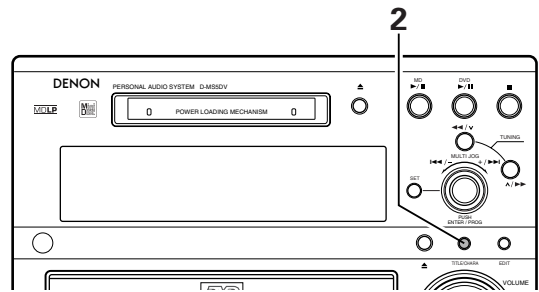
グループを再生する（つづき）

プログラム内容を訂正するには

[例] 2番目にプログラムした3グループを
1グループに訂正するとき

ご注意

すべてのグループが登録されている場合、訂正はできません。

(3) グループ名の確認方法

43 MDの編集のしかた

★ 編集機能を使用すると、曲番を付けたり、曲をつないだり、不要な部分を消したりすることができます。
また、MDや曲ごとにタイトルを付けることもできます。
いろいろなMDの便利な編集操作を存分にお楽しみいただけます。

(1) MD編集機能の紹介

本機の編集機能には、通常編集機能とグループ編集機能があります。

■通常編集機能

	項 目	機 能	参照ページ
1	DIVIDE	曲の途中や必要なところにトラックマークを追加して曲を分けます。	106、107
2	COMBINE	トラックマークを削除して指定した曲とその1つ前の曲を1つの曲にまとめます。	108、109
3	MOVE	曲を移動します。	110、111
4	ERASE	**1曲消去**：消したい曲を選んで消去します。 **全曲消去**：MDの内容をすべて消去します。	112〜114

■グループ編集機能

		項 目	機 能	参照ページ
※	1	GP NAME IN?	指定したグループのグループ名を入力します。	102
	2	NEW GROUP?	グループとして管理されていない連続している曲を選んでグループにします。1曲でもグループにすることができます。	91、92
※	3	GP MODIFY?	グループ内の曲を変更できます。	93、94
※	4	GP CANCEL?	指定したグループのグループ管理を解除します。	115
※	5	GP ALL CANCEL?	MD内のすべてのグループのグループ管理を解除します。	116
※	6	G-NAME ERASE?	指定したグループのグループ名を消去します。	105
※	7	GP ERASE?	選んだグループを消去します。	117

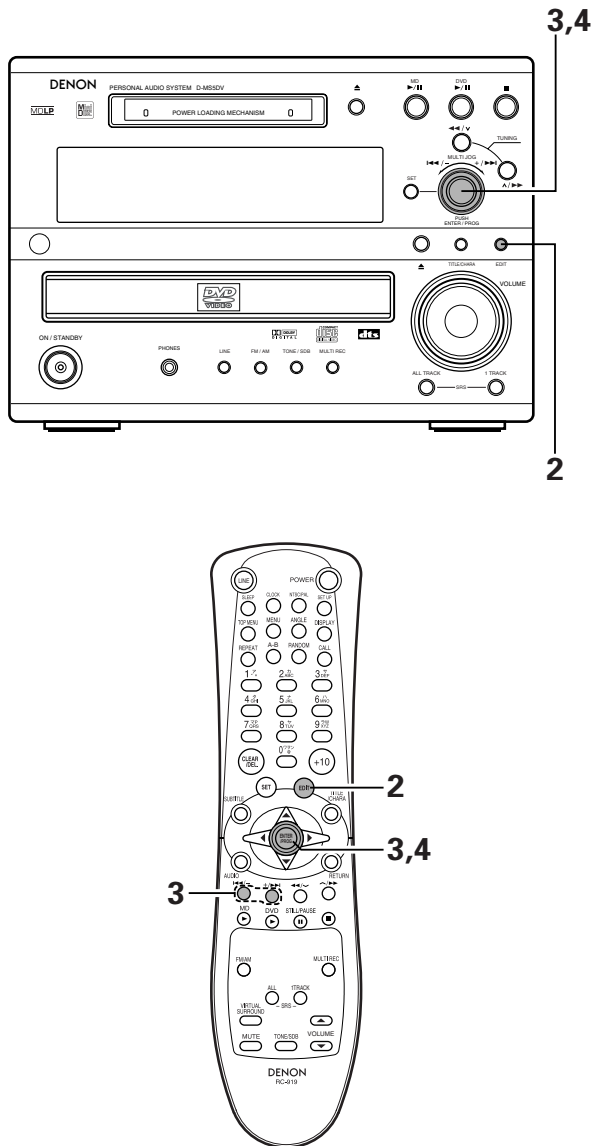
※は次の場合、表示されません。
① グループモードがオフのとき（73ページ参照）
② グループ録音されていないMDを編集するとき

ご注意

1. 本機で編集作業をおこなうと、本機の制限を超える情報は消去されます。
2. グループ録音されたMDをグループ機に対応していない他の機器で再生すると、ディスク名にグループ管理のために数字・記号が表示されます。この数字・記号を編集により削除すると、グループ登録が消去されます。ご注意ください。
3. 編集およびタイトル入力をおこなうときは、誤録音/誤消去防止ツメをずらして孔を閉じて録音できる状態にしてください。（11ページ参照）
4. MDが『PROGRAM』または『RANDOM』モードのときは、編集ボタン（EDIT）を押しても、編集モードに入れません。

MDの編集のしかた（つづき）

(2) 編集内容を取り消す

★ MDを取り出す前に次の操作をすると、MDを入れたときと同じ状態に戻すことができます。
取り出した後、あらためて各編集の操作をしてください。

1 編集後、ディスプレイの“TOC”表示が点灯していることを確認する。

01 36 74:34
点灯

2 停止中に EDIT（本体）または EDIT（リモコン）を押す。

D-NAME IN?

3 MULTI JOG（本体）を回すか |◀◀/−（リモコン） +/▶▶|（リモコン）を押して“EDIT CANCEL?”が表示されたら、PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER /PROG（リモコン）を押す。

CANCEL OK?

4 PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER /PROG（リモコン）を押して、編集内容の取り消しを確定する。

COMPLETE
⇩
MD 36 74:34

※ 次のようなときは編集内容の取り消しはできません。
- TOC情報の書き替えをおこなったとき
（本機をスタンバイ状態にしたとき、▲（本体）および を押したときなど）
- 録音一時停止状態から停止したとき
- 新たに録音をおこなったとき

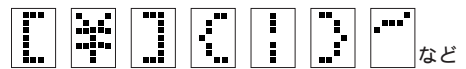
※ 停電したときは、編集内容が取り消されます。

MDの編集のしかた（つづき）

(3) 録音したMDにタイトルをつける

★ 英大文字、英小文字、特殊文字、カタカナで曲名やディスク名を入力することができます。
★ 曲名やディスク名、グループ名はそれぞれ約100文字（英数字の場合）まで入力することができます。
（グループ名の文字入力制限については、90ページをご覧ください。）

1 ディスク名をつける

5 **文字の入力が終わったら、**

EDIT（本体） **または** EDIT（リモコン） **を押して確定する。**

- 確定したディスク名がスクロールします。

6 ⏏（本体） **を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

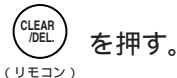
- TOC情報を書き込み、MDを排出します。
  書き込みをはじめると“ TOC ”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。編集した情報が記録されません。
- TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。
  ・録音を停止したとき
  ・録音一時停止を停止したとき
  ・電源を切ったとき（スタンバイ状態）

文字を消去するには

操作*5* で確定する前に

または
を押して、

消したい文字にカーソルを合わせてから

を押す。

文字を修正するには

修正したい文字を消去してから、もう一度文字を入力する。

または
を押して、確定する。

※濁音（゛）または半濁音（゜）を付けた文字を消去するときは、濁音または半濁音も合わせて消去されます。

リモコンのタイトル入力文字対応表

操作*4* でタイトル文字を入力する場合、

1（リモコン） ～ 0（リモコン） を押してもできます。

ボタン	英大文字	英小文字	数字	カタカナ
1			1	アイウエオァィゥェォ゛゜ー
2	ABC	abc	2	カキクケコ
3	DEF	def	3	サシスセソ
4	GHI	ghi	4	タチツテトッ
5	JKL	jkl	5	ナニヌネノ
6	MNO	mno	6	ハヒフヘホ
7	PQRS	pqrs	7	マミムメモ
8	TUV	tuv	8	ヤユヨャュョ
9	WXYZ	wxyz	9	ラリルレロ
0	特殊文字		0	ワヲン

【特殊文字で表示するキャラクター】

空白		!	”	#	$	%	&	’	(	)	＊	＋
,	－	.	／	:	;	<	＝	>	?	@	[	¥
]	_	`	{	¦	}	~	■	。	「	」	、	・

※ 0 で選択します。

ご注意

- 本機でつけたカタカナのタイトルは、カタカナ入力に対応していない他の機器では正しく表示されません。また、一部のカタカナ入力対応機器では正しく表示されない場合があります。
- 他のMDレコーダーで記録されたカタカナと特殊記号を組み合わせたタイトルは、正しく表示されない場合があります。このような場合は、本機でタイトルを再入力し直すことをおすすめします。
- ディスク名と曲名は、それぞれ約100文字（英数字の場合）まで入力することができます。（グループ名の文字数合計は約100文字です。）約100文字を超えるとディスプレイに“ TITLE FULL ”が表示されます。
- ディスク名、グループ名と曲名を合わせて約1000文字（英数字の場合）まで入力できます。文字数を超えるとディスプレイに“ TITLE FULL ”が表示されます。但し、本機で2倍/4倍長時間録音（LP2/LP4）した曲はその情報（LP：）が記録されるため、約1000文字以下でも“ TITLE FULL ”が表示されることがあります。
- カタカナ文字は1文字当たりのデータ量が多いため、入力できる文字数が英数字に比べて少なくなります。

MDの編集のしかた（つづき）

2 曲名をつける

1	**名前をつける曲の再生中に EDIT（本体） または EDIT（リモコン） を押す。** T-NAME IN?
2	**“T-NAME IN?”が表示されているときに、PUSH ENTER / PROG（本体） または ENTER/PROG（リモコン） を押す。** ● タイトル入力待ちを表すカーソルが点滅します。
3	**タイトルを入力する。** ※ タイトルの入力のしかた以降は、『ディスク名をつける』の操作*4* ～*6* を参照してください。

※ 停止中に曲を選んでいるときや、一時停止中にも曲名をつけることができます。
※ 名前を付ける曲の再生が終わり次の曲になると、タイトル入力モードは解除されます。
※ 文字の消去・修正は、101ページを参照してください。

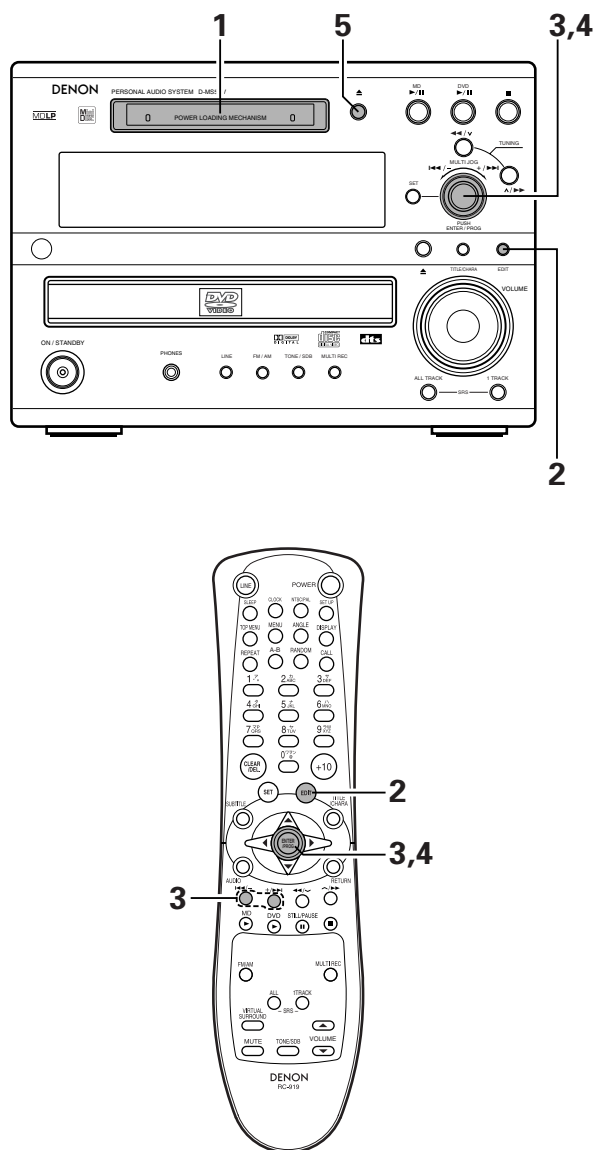
3 グループ名をつける

1	**MD挿入口にグループ名をつけるMDを入れる。** ※ ディスプレイの“ GROUP ”表示が点灯していることを確認してください。 消灯しているときは、グループモードを『ON』に設定してください。（73ページ参照）
2	**停止中に EDIT（本体） または EDIT（リモコン） を押す。**
3	**MULTI JOG（本体） を回すか ⏮/–（リモコン） +/⏭（リモコン） を押して“GP NAME IN?”が表示されたら、PUSH ENTER / PROG（本体） または ENTER/PROG（リモコン） を押す。**
4	**MULTI JOG（本体） を回すか ⏮/–（リモコン） +/⏭（リモコン） を押してグループ名を付けたいグループを選び、PUSH ENTER / PROG（本体） または ENTER/PROG（リモコン） を押す。** GP 02? ● タイトル入力待ちを表すカーソルが点滅します。
5	**タイトルを入力する。** ※ タイトルの入力のしかた以降は、『ディスク名をつける』の操作*4* ～*6* を参照してください。

※ 文字の消去・修正は、101ページを参照してください。

（4）タイトルを消去する

★ ディスク名、曲名やグループ名を消去することができます。

1 ディスク名を消去する

1	**MD挿入口にディスク名を消去したいMDを入れる。**
2	**停止中に** EDIT（本体） **または** EDIT（リモコン） **を押す。**
3	MULTI JOG ⏮/－　＋/⏭（本体） **を回すか** ⏮/－（リモコン） +/⏭（リモコン） **を押して"D-NAME ERASE?"が表示されたら、** PUSH ENTER / PROG（本体） **または** ENTER /PROG（リモコン） **を押す。** ERASE OK? LP 2
4	**"ERASE OK?"が表示されたら、** PUSH ENTER / PROG（本体） **または** ENTER /PROG（リモコン） **を押す。** COMPLETE LP 2 TOC ⇩ MD 13Tr 68:34 LP 2 TOC
5	⏏（本体） **を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。** ● TOC情報を書き込み、MDを排出します。 書き込みをはじめると " TOC " 表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。編集した情報が記録されません。 ● TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。 ・録音を停止したとき ・録音一時停止を停止したとき ・電源を切ったとき（スタンバイ状態）

MDの編集のしかた（つづき）

2 曲名を消去する

1 **MD挿入口に曲名を消去したいMDを入れる。**

2 **曲名を消去したい曲の再生中に EDIT（本体） または EDIT（リモコン） を押す。**

3 **MULTI JOG（本体）を回すか ⏮/–（リモコン） +/⏭（リモコン） を押して“T-NAME ERASE?”が表示されたら、PUSH ENTER / PROG（本体） または ENTER/PROG（リモコン） を押す。**

ERASE OK?

4 **“ERASE OK”が表示されたら、PUSH ENTER / PROG（本体） または ENTER/PROG（リモコン） を押す。**

COMPLETE

↓

MD 05T 01:02

5 **⏏（本体） を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

- TOC情報を書き込み、MDを排出します。
  書き込みをはじめると“ TOC ”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり､本機に衝撃を与えないでください。編集した情報が記録されません。
- TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。
  - ・録音を停止したとき
  - ・録音一時停止を停止したとき
  - ・電源を切ったとき（スタンバイ状態）

※停止中に曲を選んでいるときや、一時停止中にも曲名を消去することができます。

※名前を消去する曲の再生が終わり、次の曲になるとタイトル消去モードは解除されます。

MDの編集のしかた（つづき）

3 グループ名を取り消す

1 **編集するMDをMD挿入口に入れる。**

※ディスプレイに“ GROUP ”表示が点灯していることを確認してください。
消灯しているときは、グループモードを『ON』に設定してください。（73ページ参照）

2 **停止中に** EDIT（本体） **または** EDIT（リモコン） **を押す。**

3 MULTI JOG ⏮/－ ＋/⏭（本体） **を回すか** ⏮/–（リモコン） +/⏭（リモコン） **を押して、“G-NAME ERASE? ”が表示されたら、** PUSH ENTER / PROG（本体） **または** ENTER /PROG（リモコン） **を押す。**

グループ名を表示

4 MULTI JOG ⏮/－ ＋/⏭（本体） **を回すか** ⏮/–（リモコン） +/⏭（リモコン） **を押して、グループ名を消去したいグループを選ぶ。**

［例］グループ3のグループ名を消去したいとき

5 PUSH ENTER / PROG（本体） **または** ENTER /PROG（リモコン） **を押す。**

6 PUSH ENTER / PROG（本体） **または** ENTER /PROG（リモコン） **を押す。**

- “ COMPLETE ”表示後、停止状態になります。

7 ⏏（本体） **を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

- TOC情報を書き込み、MDを排出します。
書き込みをはじめると“ TOC ”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。
編集した情報が記録されません。
- TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。
  ・録音を停止したとき
  ・録音一時停止を停止したとき
  ・電源を切ったとき（スタンバイ状態）

MDの編集のしかた（つづき）

(5) 通常編集機能

1 曲を分割する

★ 録音後に曲を分割して、曲番を付けることができます。
★ 好きなところで曲番を付けることができ、選曲を簡単におこなうことができます。

［例］ 3曲目を分割するとき

MDの編集のしかた（つづき）

4 を回すか　を押して、分割する位置を移動させる。

- “ ±ポイント数 Point ” が表示されます。
- 微調整できる範囲は、最大－128～＋127ポイントまでです。（1ポイントは約0.064秒）
- 微調整後の分割する部分が数秒間くり返し再生されます。

5 または　を押して、曲の分割を確定する。

6 を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。

- TOC情報を書き込み、MDを排出します。
  書き込みをはじめると “ TOC ” 表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。編集した情報が記録されません。
- TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。
  ・録音を停止したとき
  ・録音一時停止を停止したとき
  ・電源を切ったとき（スタンバイ状態）

※曲名が付いている曲を分割したときは、後ろの曲には曲名が付きません。

曲の分割を止めるには

操作*5* の前に

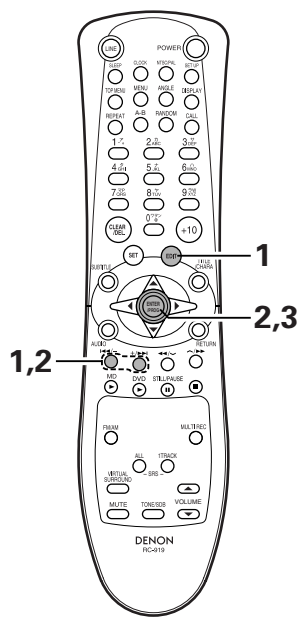
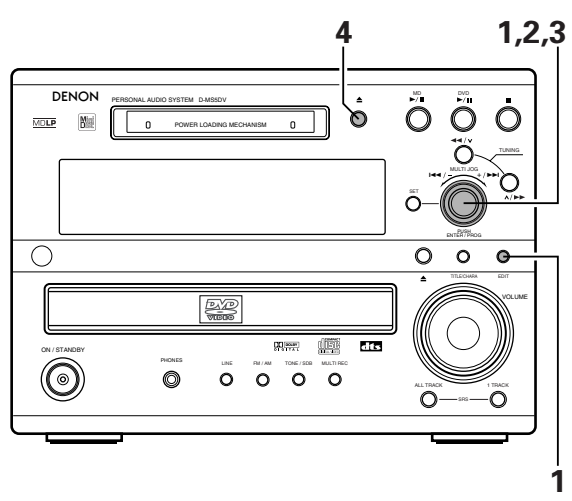
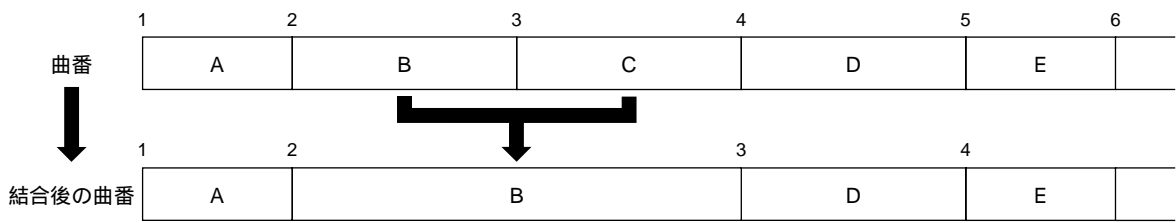
を押す。

分割した曲を元に戻すには

108、109ページの『曲を結合する』を参照してください。

2 曲を結合する

★ 連続した2つの曲をつないで、1曲にすることができます。

[例] 2曲目と3曲目をつないで、1曲にするとき

4

⏏ （本体） **を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

- TOC情報を書き込み、MDを排出します。
  書き込みをはじめると“ TOC ”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。編集した情報が記録されません。
- TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。
  ・録音を停止したとき
  ・録音一時停止を停止したとき
  ・電源を切ったとき（スタンバイ状態）

※グループ名/曲名は結合した2つのグループ/曲の前のグループ名/曲名が付きます。
但し、そのグループ/曲にグループ名/曲名が付いていないときはグループ名/曲名が付きません。
※一時停止中でも曲を結合することができます。この場合、一時停止している曲とその前の曲が結合されます。

曲の結合を止めるには

操作*3* の前に

または
CLEAR/DEL.（リモコン） **を押す。**

結合した曲を元に戻すには

106、107ページの『曲を分割する』を参照してください。

ご注意

- デジタル入力から録音された曲とアナログ入力から録音された曲を結合することはできません。
- 15秒以下の短い曲では、結合できないことがあります。（操作*3* で
または
を押したときに、“CANNOT EDIT”が表示されます。）
- 録音モード（SP/LP2/LP4）が異なる曲を結合することはできません。
- 離れた2つの曲を結合するには、あらかじめ『MOVE』を使って2つの曲を連続させてから結合させてください。

MDの編集のしかた（つづき）

3 曲を移動する

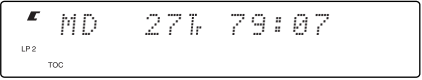
★ 移動させたい曲を選んで、目的の曲番へ移動します。
前後の曲番は自動的に調整されます。

［例］ 3曲目を移動するとき

4

PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER/PROG（リモコン）を押して、

曲の移動を確定する。

5

⏏（本体）**を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

- TOC情報を書き込み、MDを排出します。
  書き込みをはじめると " TOC " 表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり､本機に衝撃を与えないでください。編集した情報が記録されません。
- TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。
  ・録音を停止したとき
  ・録音一時停止を停止したとき
  ・電源を切ったとき（スタンバイ状態）

※一時停止中でもその曲を移動することができます。

曲の移動を止めるには

操作4 の前に

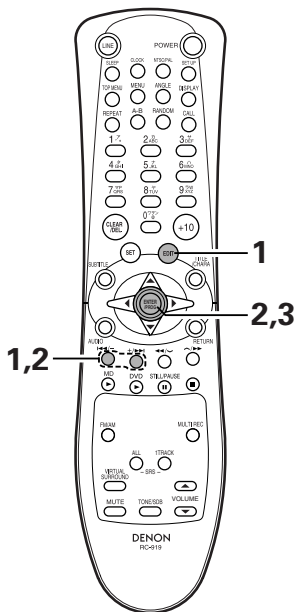
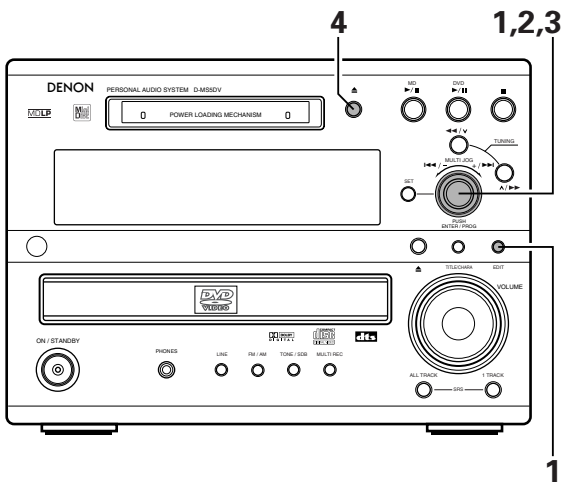
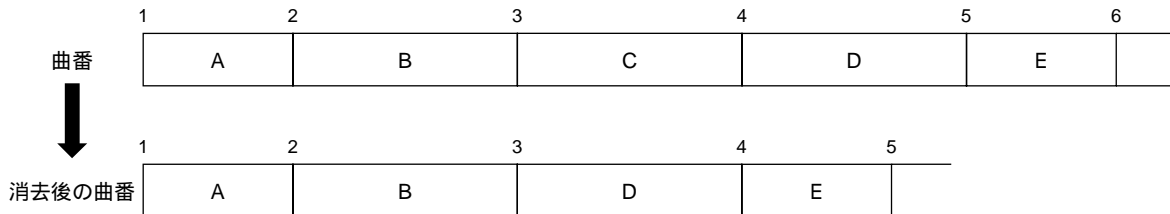
■（本体）**または**

■（リモコン）、CLEAR/DEL.（リモコン）**を押す。**

MDの編集のしかた（つづき）

4 曲を消去する

【1曲ずつ消去する】

［例］ 3曲目を消去するとき

MDの編集のしかた（つづき）

4

⏏（本体）**を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

- TOC情報を書き込み、MDを排出します。
  書き込みをはじめると“ TOC ”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり､本機に衝撃を与えないでください。編集した情報が記録されません。
- TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。
  - ・録音を停止したとき
  - ・録音一時停止を停止したとき
  - ・電源を切ったとき（スタンバイ状態）

※一時停止中の曲を消去することができます。

その場合、一時停止中に EDIT（本体） または EDIT（リモコン） を押して操作*2* からはじめてください。動作が完了すると、消去した次の曲番の頭で一時停止状態になります。

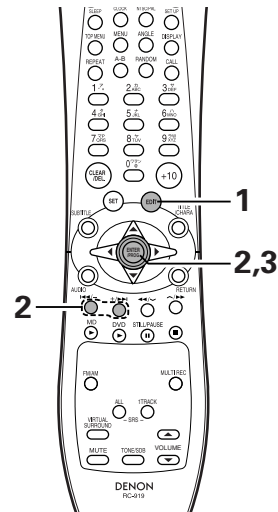
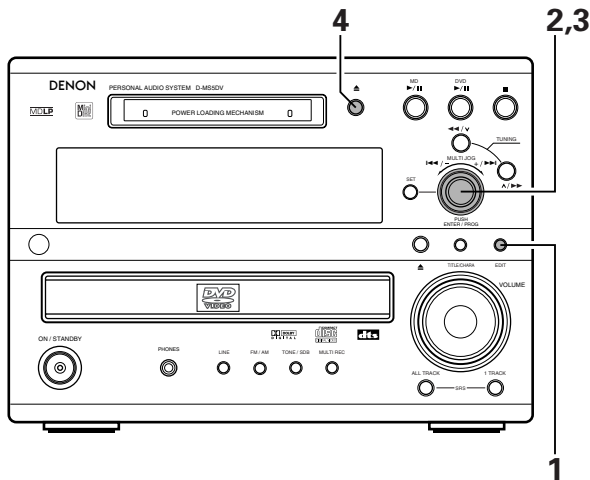
1曲消去を止めるには

操作*3* の前に

■（本体） **または** ■（リモコン）、

（リモコン） **を押す。**

MDの編集のしかた（つづき）

【すべての曲を消去する】

4 ▲（本体） を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。

- TOC情報を書き込み、MDを排出します。
  書き込みをはじめると“TOC”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。編集した情報が記録されません。
- TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。
  - ・録音を停止したとき
  - ・録音一時停止を停止したとき
  - ・電源を切ったとき（スタンバイ状態）

※全曲消去すると、同時にディスク名も消去されます。

全曲消去を止めるには

操作*3* の前に

ご注意

一度消去された曲はTOC情報の書き替えをおこなう前であれば、99ページの『編集内容を取り消す』で元に戻すことができますが、必ず確認してから消去してください。

（6）グループ編集機能

1 グループを解除する

【指定したグループを解除する】

MDの編集のしかた（つづき）

【すべてのグループを解除する】

★ MD内のすべてのグループを解除します。

1 **編集するMDをMD挿入口に入れる。**

※ディスプレイに“ GROUP ”表示が点灯していることを確認してください。
消灯しているときは、グループモードを『ON』に設定してください。（73ページ参照）

2 **停止中に** EDIT（本体） **または** EDIT（リモコン） **を押す。**

3 MULTI JOG（本体） **を回すか** ⏮/–（リモコン） +/⏭（リモコン） **を押して“GP ALL CANCEL”を表示させ、** PUSH ENTER / PROG（本体） **または** ENTER/PROG（リモコン） **を押す。**

GP ALL CANCEL

G.ALL CANCEL?

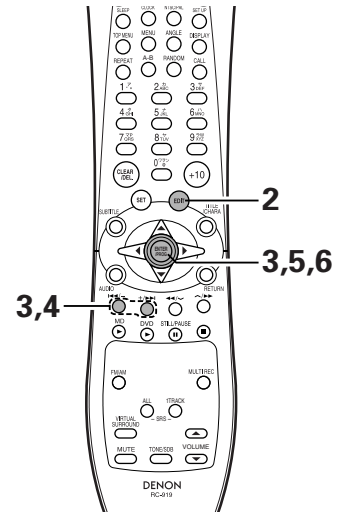
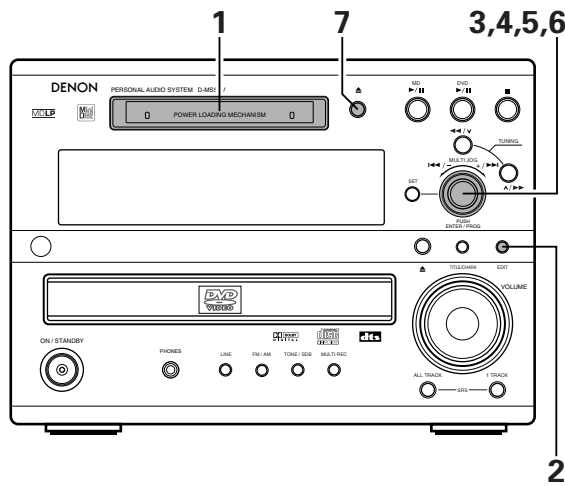
4 PUSH ENTER / PROG（本体） **または** ENTER/PROG（リモコン） **を押す。**

● “COMPLETE”表示後、停止状態になります。

5 ⏏（本体） **を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

● TOC情報を書き込み、MDを排出します。
書き込みをはじめると“ TOC ”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。編集した情報が記録されません。
● TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。
・録音を停止したとき
・録音一時停止を停止したとき
・電源を切ったとき（スタンバイ状態）

MDの編集のしかた（つづき）

2 指定したグループを消去する

1 **編集するMDをMD挿入口に入れる。**

※ ディスプレイに“ GROUP ”表示が点灯していることを確認してください。
消灯しているときは、グループモードを『ON』に設定してください。（73ページ参照）

2 **停止中に** EDIT（本体） **または** EDIT（リモコン） **を押す。**

3 MULTI JOG ⏮/－ ＋/⏭（本体） **を回すか** ⏮/–（リモコン） ＋/⏭（リモコン） **を押して“GP ERASE?”を表示させ、** PUSH ENTER / PROG（本体） **または** ENTER /PROG（リモコン） **を押す。**

GP ERASE?
LP 2 GROUP

GP 01? ＿＿＿＿＿
LP 2 GROUP

グループ名

4 MULTI JOG ⏮/－ ＋/⏭（本体） **を回すか** ⏮/–（リモコン） ＋/⏭（リモコン） **を押して、消去したいグループを選ぶ。**

［例］グループ3を消去したいとき

GP 03? DENON
GROUP

5 PUSH ENTER / PROG（本体） **または** ENTER /PROG（リモコン） **を押す。**

ERASE OK?
LP 2 GROUP

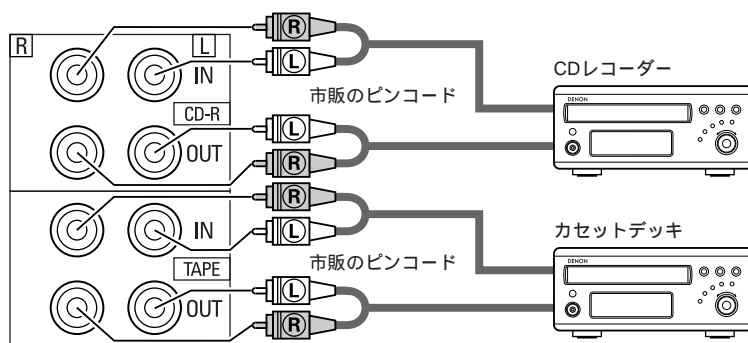
6 PUSH ENTER / PROG（本体） **または** ENTER /PROG（リモコン） **を押す。**

- “ COMPLETE ”表示後、停止状態になります。

7 ⏏（本体） **を押し、MDへの書き込み動作を完了させる。**

- TOC情報を書き込み、MDを排出します。
  書き込みをはじめると“ TOC ”表示が点滅しますので、このとき電源プラグをコンセントから抜いたり、本機に衝撃を与えないでください。
  編集した情報が記録されません。
- TOC情報の書き込みは、以下の操作でもおこなえます。
  - ・録音を停止したとき
  - ・録音一時停止を停止したとき
  - ・電源を切ったとき（スタンバイ状態）

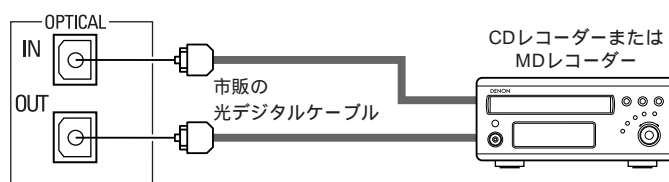
44 他の機器と接続して使う

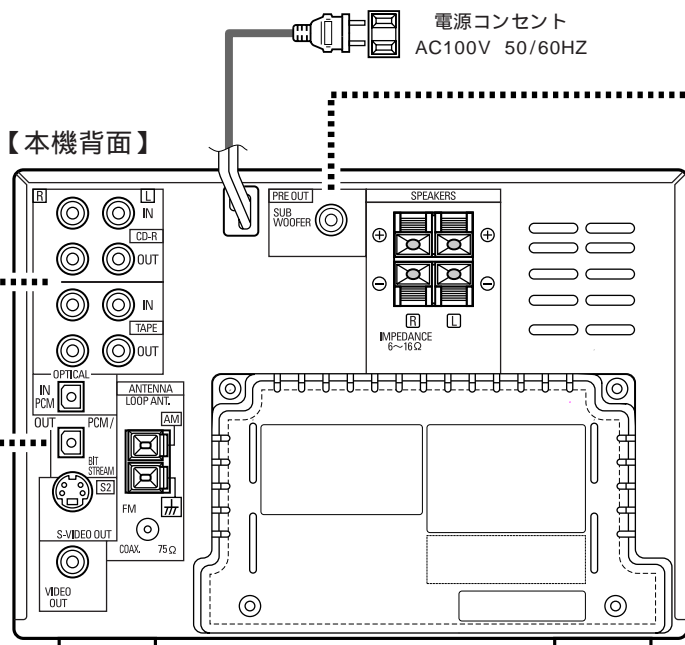
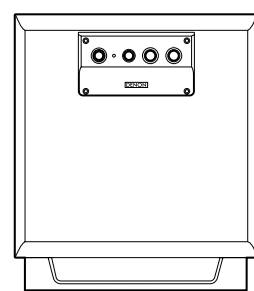
★ 接続する前には、各機器の電源を切ってください。
★ 各プラグは確実に差し込んでください。

● LINE（本体）を押して選ばれたソースがCD-R OUT端子またはTAPE OUT端子から出力されます。

●本機のソースを外部の機器で録音している間は、LINE（本体）を押さないでください。

ご注意

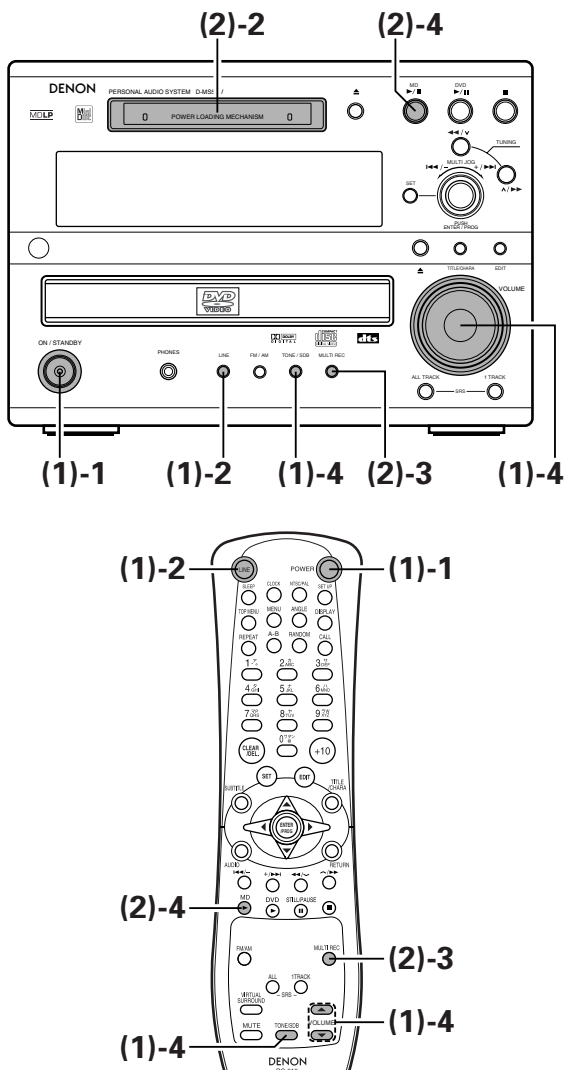
●本機のソースを外部の機器で録音中に LINE（本体）を押すと、録音するソースが切り替わってしまいます。
●DVD、CD、ビデオCD、MP3ディスクを他の機器でアナログ録音中にバーチャルサラウンドモードにすると、バーチャルサラウンドが効いた状態で録音されます。

OPTICAL端子

●デジタル機器を接続するときは、OPTICAL IN/OUT端子に接続します。
●光デジタル入力端子に入力されるのは音声信号のみです。
●他の機器を接続してデジタル録音するとき、接続される機器によってはトラックインクリメントが正しくされない場合があります。

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。
- 接続コード（ピンコード）のプラグは、図のように正しくLとL（白）、RとR（赤）を接続してください。
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。
- 一度電源コードをコンセントから抜いた場合は、約5秒経ってからもう一度コンセントに差し込んでください。
- 接続コードと電源コードを一緒に束ねますと、ハムや雑音の原因になることがあります。

（1）他の機器の再生音を聞く

★ はじめに他の機器の電源を入れます。

1	ON / STANDBY（本体） **または** POWER（リモコン） **を押して、電源を入れる。**
2	LINE（本体） **または** LINE（リモコン） **を押して、接続した機器のファンクションを表示させる。** ※ 次のように切り替わります。 CD-R → TAPE → OPT
3	**接続した機器を再生する。**
4	**音量や音質を調整する。** （27、28ページ参照）

（2）他の機器の再生音を録音する

1	**『（1）他の機器の再生音を聞く』の操作*1*、*2*をおこなう。**
2	**MD挿入口に録音用MDを入れる。**
3	MULTI REC（本体） **または** MULTI REC（リモコン） **を押す。** ● 通常録音一時停止状態になります。 ※ OPTのときは、必要に応じて録音レベルを調節してください。（77ページ参照）
4	**録音を開始する。** MD ►/II（本体） **または** MD ►（リモコン） **を押す。**
5	**接続した機器を再生する。**

※ ピックレックをおこなうときは、操作*3*で MULTI REC（本体） または MULTI REC（リモコン） を2回押して " PICK REC " を表示させ、MD ►/II（本体） または MD ►（リモコン） を押します。

※ ピックレックは、85ページの操作*1*、*2*をおこなって終了させてください。

45 タイマーの使いかた

★ タイマーを利用して次のようなことができます。

音楽で目覚める

設定した時刻にMD、DVD/CD、ラジオ放送を聞くことができます。

留守中に録音する

設定した時刻にラジオ放送をMDに録音することができます。

音楽を聞きながらおやすみになる

設定した時刻にMD、DVD/CD、ラジオ放送を停止することができます。（スリープタイマー）

ご注意

★ DVD/ビデオCD

- インタラクティブなDVDやプレイバックコントロール付きビデオCDの多くのものは、メニュー画面表示となります。（48ページ参照）

★ MP3ディスク

- フォルダーの中にあるファイルはタイマー再生できません。
- フォルダーにはさまれていたり、フォルダーの後にあるファイルはタイマー再生できません。

（1）タイマーを使う前に

★ 必ず現在時刻を設定してください。
現在時刻を設定していないと、タイマーは使用できません。（スリープタイマーは機能します。）

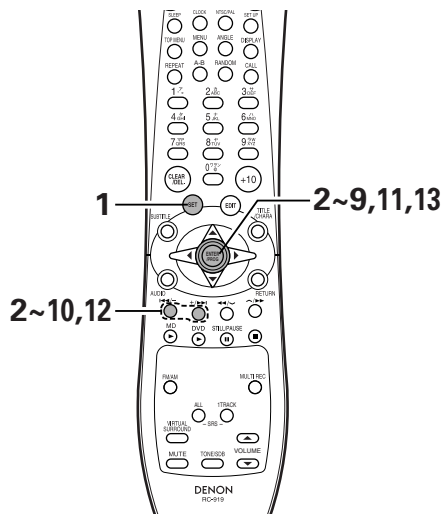
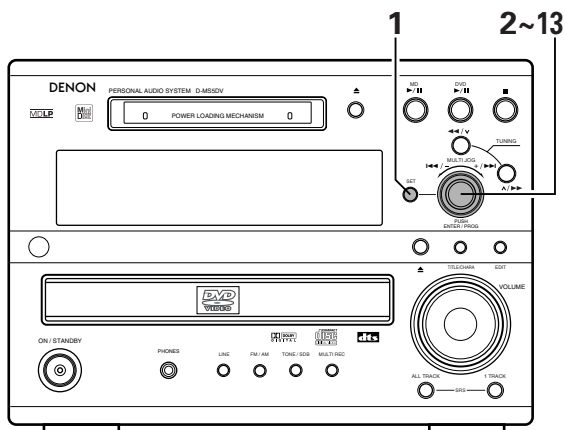
★ 再生や録音の準備をする。
- 再生用または録音用のMDを入れてください。
- ラジオ放送を聞いたり録音するときは、放送局を登録してください。

ご注意

- 他の機器は、この製品のタイマー設定では操作することができません。
- 電源がONの状態では、タイマーは動作しません。
- 次のとき、タイマー録音はできません。
  - ・再生専用のMDが入っているとき
  - ・MDが誤消去防止状態になっているとき
  - ・MDに録音できる部分がないとき
  （"TITLE FULL""DISC FULL"状態など）

（2）音楽で目覚めたり、留守中に録音する

1 タイマーを設定する

1 SET（本体）または SET（リモコン）を押す。

2 MULTI JOG ⏮/－ ＋/⏭（本体）を回すか ⏮/－（リモコン）＋/⏭（リモコン）を押して、“TIMER CHECK?”が表示されたら、PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER /PROG（リモコン）を押す。

TIMER CHECK?

⇩

CHECK/ADJUST

3 MULTI JOG ⏮/－ ＋/⏭（本体）を回すか ⏮/－（リモコン）＋/⏭（リモコン）を押して、“ADJUST”を点滅させ、PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER /PROG（リモコン）を押す。

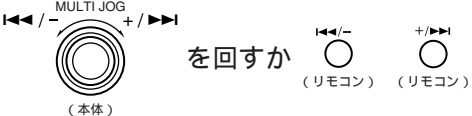
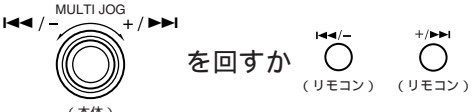
ON 0:00

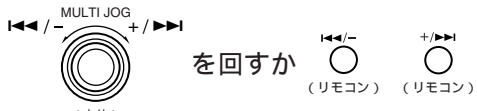
※現在時刻が設定されていないと“CLOCK ERROR”が表示され、自動的に時間設定モードになります。（30ページ参照）
現在時刻設定後、再度操作*1* から設定し直してください。

4 MULTI JOG ⏮/－ ＋/⏭（本体）を回すか ⏮/－（リモコン）＋/⏭（リモコン）を押して、時の桁を設定し、PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER /PROG（リモコン）を押す。

ON 12:00

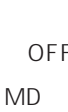
5 MULTI JOG ⏮/－ ＋/⏭（本体）を回すか ⏮/－（リモコン）＋/⏭（リモコン）を押して、分の桁を設定し、PUSH ENTER / PROG（本体）または ENTER /PROG（リモコン）を押す。

OFF 12:30

● タイマー開始時刻が12時30分に設定されました。

タイマーの使いかた（つづき）

（次ページに続く）

タイマーの使いかた（つづき）

13

または　を押す。

● タイマー設定内容が順次表示され、タイマー設定前の表示に戻ります。

※ スタンバイ状態のときに、タイマーがON状態であるか確認するときは、

または

を押して“CLOCK”を表示させ、（PUSH ENTER / PROG（本体））または（ENTER/PROG（リモコン））を2回押してください。“ ◷ ”表示と現在時刻が約5秒間点灯します。

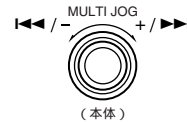
※“ ◷ ”表示が点灯している間は、毎日同じ時刻に予約されたタイマーが動作します。

※ タイマー動作をおこなわないときは、タイマー設定をOFFにして“ ◷ ”表示を消灯させてください。

※ MDまたはCD等のディスクが入っていない状態でタイマーがはじまったとき、本機はチューナーモードになります。

※ 停電になったときや電源コードをコンセントから抜いたときには、タイマーの設定は消えてしまうことがあります。

※ タイマーおよびチューナーのプリセット内容が消えていた場合は、もう一度プリセットし直してください。

2 タイマーの予約内容の確認

『タイマーを設定する』（122ページ）の操作*3*で“CHECK”を点滅させ、

または

を押す。

● 設定内容が確認できます。

3 タイマーの『ON』を設定する

4 タイマーを動作させる

5 留守中に録音する

（次ページに続く）

7 録音モードの設定

を回すか ○ ○ を押して、録音モードを選ぶ。

※録音モードは、次のように切り替わります。

MDLP SP ↔ MDLP LP2 ↔ MDLP LP4

8 **または ○ を押す。**

9 グループとして登録するか選択する

を回すか ○ ○ を押して、選択する方を点滅させる。

10 **または ○ を押す。**

11

を回すか ○ ○ を押して、ボリウムレベルを調整する。

12 **または ○ を押す。**

● タイマーの設定内容が順次表示され、タイマー設定前の表示に戻ります。

13 **『タイマーを動作させる』（124ページ）の操作をおこなう。**

※録音済みのMDを使用するときは、録音可能時間を確認してください。（録音モード（SP/LP2/LP4）で、録音可能時間が異なります。）

※MDへの録音は、タイマー開始時刻から約10秒後に録音をはじめます。
録音ミスを防ぐため、番組がはじまる1分程度前の時刻に合わせることをおすすめします。

タイマーの使いかた（つづき）

（3）音楽を聞きながらおやすみになる（スリープ）

★ 電源が切れる時間を10分間隔で最大90分まで予約することができます。

［例］ 80分後に電源を切るとき

1 聞きたい音楽を再生中に SLEEP（リモコン） を押す。

SLEEP 90

※ SLEEP（リモコン） を押すたびに次のように表示が切り替わります。

90 → OFF → 10 → 20 → 30 → 40 → 50 → 60 → 70 → 80 → 90

2 “SLEEP 80”を表示させる。

SLEEP 80

3 PUSH ENTER / PROG（本体） または ENTER/PROG（リモコン） を押す。

MD 09 0:18

● ディスプレイが暗くなり、スリープ設定前の表示に戻ります。

※ スリープタイマーのときは、ディスプレイの表示は明るくできません。

スリープタイマー動作をおこなわないときには

①操作*1*で“SLEEP OFF”を選び、

または **を押す。**

② または を押して、

電源を切る。

スリープ時間を確認するには

SLEEP（リモコン） **を押す。**

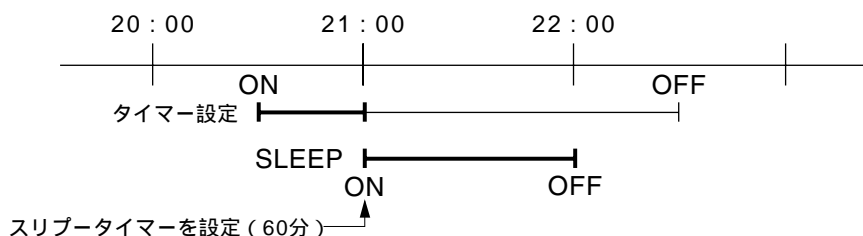
● 電源が切れるまでの時間を約5秒間表示します。

ご注意

スリープタイマーとタイマーの設定時刻が重なっている場合はスリープタイマーが優先されます。

タイマーの使いかた（つづき）

（4）タイマーとスリープタイマーの優先順位について

★ タイマーの終了時刻は、スリープタイマーが優先します。（太線が実行を表します。）

★ タイマー中でも、タイマーで設定された終了時刻より早くスリープタイマーの残り時間がなくなると、その時点でタイマーは終了します。

46 MDの規格上の制約について

★ MDの規格は、カセットデッキなどの従来の録音方式と異なる方式でおこなわれます。そのため、いくつかの規格上の制約があります。次のような現象が出ても故障ではありませんので、ご了承ください。

（1）曲数の制約

- 何も録音されていないMDやディスク名だけで何も録音されていないMDに1曲目から順次録音した場合は、最大255曲まで録音できます。しかし、編集を多く繰り返したりすると255曲まで録音できなくなることがあります。
- デジタル録音のとき、エンファシス情報などの入切が多いと曲の区切りと同じ扱い（曲番は変わらない）になり、録音時間や曲数に関わらず録音できなくなることがあります。

（2）録音機能の制約

- MDの最大録音時間に達しなくても、曲数が255になるとこれ以上録音できません。
- 録音は、約2秒単位でおこなわれます。それに満たない部分でも約2秒間分のディスクスペースを使用しますので、実際に録音できる時間は短くなります。
- MDに傷があるとその部分は録音できませんので、その分の時間が減ります。
- CDをデジタル録音するとき、CDの録音内容により数秒程度の無音部ができることがあり、曲数がCDと異なることがあります。
- 短い曲を消去してもMDの残り時間が増えないことがあります。これはMDの残り時間を表示するとき、12秒以下の部分を無視するためです。

（3）編集機能の制約

- 編集をおこなってできた短い曲を結合できない場合があります。
- CDから録音した曲（デジタル録音）とラジオ放送から録音した曲（アナログ録音）をつなぐことはできません。
- 録音モード（標準録音（SP）、2倍長時間録音（LP2）、4倍長時間録音（LP4））の異なる曲をつなぐことはできません。
- 録音や編集を繰り返したMDでは、マニュアルサーチ中に音が途切れることがあります。

47 故障かな？と思ったら

故障？と思っても、もう一度確かめてみましょう

■各接続は正しいですか
■取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

	現　象	原　因	処　置	関連ページ
共通部	電源が入らない。	●電源プラグがコンセントから外れている。	●電源プラグをコンセントに差し込んでください。	13
	スピーカーから音が出ない。	●音量を最小にしている。 ●ヘッドホンが差し込まれている。 ●スピーカーコードの接続が不完全である。	●適当な音量にしてください。 ●ヘッドホンを外してください。 ●しっかり接続してください。	27 19 13、18
	高音が出ない。 音源の位置が不明瞭。	●スピーカーの極性（⊕ ⊖）が合っていない。	●スピーカーコードを正しく接続してください。	13、18
	リモコンが動作しない。	●電源が入っていない。 ●乾電池が正しく入っていない。 ●乾電池が消耗している。	●電源を入れてください。 ●乾電池を正しく入れ直してください。 ●新しい乾電池に入れ替えてください。	27 26 26
チューナー部	FM放送に“ザー”という音が入る。	●アンテナの方向が悪い。 ●放送局の電波が弱い。	●アンテナの方向を変えてください。 ●屋外アンテナを接続してください。	17 17
	AM放送に“シー”や“ザー”という音が入る。	●テレビなどから雑音が入る。 ●放送局の干渉音が聞こえる。	●テレビを消してください。 ●AM用ループアンテナの向きを変えてください。 ●屋外アンテナを接続してください。	ー 17 17
	AM放送に“ブーン”という雑音（ハム）が入る。	●電源コードを伝わってくる電波が電源周波数によって変調を受ける。	●電源プラグの方向を逆に差し込んでみてください。	ー
MDレコーダー部	操作できない。	●MDが入っていない。 ●MDが損傷または汚れている。	●MDを入れてください。 ●他のMDと取り替えてください。	52 11
	再生できない。	●MDに録音されていない。 （“BLANK DISC”または“NO TRACKS”が表示されます。）	●録音されているMDと取り替えてください。	78、132
	録音できない。	●MDが誤録音防止状態になっている。 （“PROTECTED”が表示されます。） ●MDに残り時間がない。 （“DISC FULL”が表示されます。） ●255曲収録されたMDに録音しようとしている。 （“DISC FULL”が表示されます。） ●デジタル録音されたソースをMD録音ボタンからの操作でデジタル録音しようとしている。 （“COPY PROHIBIT”が表示されます。）	●MDの誤録音防止ツメをずらして、孔を閉じた状態にしてください。 ●MDを取り替えてください。 不要な部分があれば消去して、録音時間を確保してください。 ●MDを取り替えてください。 不要な部分があれば消去して、録音時間を確保してください。 ●SCMSにより、デジタル録音することはできません。シンクロ録音ボタンからの操作でアナログ録音してください。	11、132 112、113、132 112、113、132 81、82、132

	現　象	処　置	関連ページ
DVDビデオプレーヤー部	再生ボタンを押しても、再生がはじまらない。または、すぐに停止する。	●結露していませんか。（1、2時間放置してください。） ●DVD、ビデオCD、音楽CD、MP3ディスク以外のディスクは再生できません。 ●ディスクが汚れているのできれいに拭いてください。	6 9 10
	映像が映らない。	●接続を確認してください。 ●テレビの入力を『ビデオ』にしてください。	16 —
	音が聞こえない。 または、聞きづらい。	●接続を確認してください。 ●テレビ・ステレオなどの入力を正しく設定してください。 ●『デジタル出力』または『ダイナミックレンジ圧縮』の設定を確認してください。 ●著作権保護された96kHz/24bitのDVDを再生するとき ・デジタル音声で再生する場合は、『初期設定』-『音声設定』の『LPCM変換モード』を『変換する』に設定してください。	13〜15 — 44、47 44
	ビデオCDのメニュー再生ができない。	●プレイバックコントロール付きビデオCD以外は、メニュー再生できません。	49
	早送り/早戻しをしたら画像が乱れる。	●多少乱れが生じることがありますが、故障ではありません。	—
	各ボタン操作ができない。	●ディスクによってはその操作を禁止している場合があります。	49
	字幕が出ない。	●字幕の入っていないDVDは字幕が表示されません。 ●字幕が『字幕なし』になっていますので、字幕を設定してください。	— 39、40
	音声（または字幕）言語が切り替えられない。	●複数の言語が入っていないディスクは切り替えられません。 ●音声（または字幕）切り替え操作では切り替えられず、DVDメニュー画面などで切り替えられるディスクもあります。	— 65
	アングルを変えて見ることができない。	●複数のアングルが記録されていないDVDは、アングルを切り替えられません。また、複数のアングルは特定の場面のみ記録されているものがあります。	64
	タイトルを選んでも再生がはじまらない。	●『視聴制限レベル』の設定を確認してください。	45、46
	視聴制限で設定した暗証番号を忘れた。	●以下の操作で初期設定の内容を工場出荷時に戻してください。 ファンクションをDVD/CDにして停止状態にしてください。ディスクを取り出し、ディスプレイに“DVD/CD　00:00”が表示されているとき、リモコンのダイレクトボタンで『1→2→5→7』と順番に押してください。（テレビ画面の“初期化しました”が消えたことを確認してください。）	—
	初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	●DVDにその言語の音声や字幕が入っていないときは選んでいる言語になりません。	39、40
	4：3（16：9）の画像で映らない。	●お手持ちのテレビに合わせて『TV アスペクト』の項目を正しく設定してください。	42
	希望の言語でメニュー画面のメッセージが出ない。	●初期設定の『ディスク言語設定』の『メニュー言語』を確認してください。	39、40

異常が起きたら

この製品を使用中に強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気または落雷による電源電圧の異常など）を受けたときや誤った操作をしたときなどに正しく表示しなくなったり、操作を受け付けなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、次のようにリセット操作をしてください。

1 電源コードをつないだまま ON / STANDBY（本体）を押して、電源を『切』にする。

2 以下の順序で約2秒以内にボタンを押す。

■（本体）→ ◀◀ / ∨（本体）→ ■（本体）

● “ CLEAR ” が表示され、本機がリセットされます。

※リセットすると、登録した内容はすべて消えます。（DVDビデオプレーヤー部の初期設定項目は、リセットされません。）
※万一、異常な音・におい・煙りが出たときや異物が中に入ったときには、電源を切り、電源コードを抜いてお買い上げの販売店に連絡してください。

48 メッセージについて

(1) MDのメッセージ

メッセージ	内容
MD 001Tr 00:00	●MDが入っていません。
DISC FULL	●MDの残り時間がなくなりました。 ●曲数が255曲を超えてしまいました。
TITLE FULL	●グループ名/ディスク名/曲名が約100文字（英数字のとき）を超えています。 ●グループ名/ディスク名/曲名として入力した文字の合計が最大約1000文字（英数字のとき）を超えています。 ●タイトル入力の文字数の制限により、NEW GROUP、GROUP MODIFY、MOVE、DIVIDEの編集ができません。
BLANK DISC	●何も録音されていないMDが入っています。
NO TRACKS	●ディスク名はありますが、曲が入っていません。
READING	●TOC情報を読み込んでいます。
WRITING	●編集または録音時の各種情報を書き込んでいます。
DISC ERROR	●記録されているTOC情報がMDの規格に合っていないか、他の障害により読み込むことができません。
CANNOT EDIT	●編集できません。
CANNOT JOINT	●つなごうとしている曲の録音モードが異なっているため、曲をつなぐことができません。 ●デジタル入力から録音された曲とアナログ入力から録音された曲は、つなぐことができません。
CANNOT REC	●MDが動作中（READING、WRITINGなど）のため録音できません。 ●MDまたはDVD/CDが入っていないため、録音できません。
CANNOT SRS	●MDが動作中（READING、WRITINGなど）のためSRS録音できません。 ●MDまたはCDが入っていないため、SRS録音できません。 ●高速録音を始めて74分以内に101曲目を録音しようとしています。
PROTECTED	●MD誤録音防止状態になっています。 ●255曲入りのMDをALL ERASEしようとしています。 （このような場合は、曲数を減らしてからALL ERASEをおこなってください。）
PLAY ONLY	●再生専用MDに録音や編集操作をおこなっています。
COPY PROHIBIT	●SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）により、デジタルコピー禁止のソースです。
ALREADY DUBB.	●再生/録音用MDである曲を高速録音すると、録音をはじめた時点から74分間は、同一の曲を高速録音できません。
WAIT ○○MIN	●HCMS（ハイスピードコピーマネージメントシステム）が解除されるまでの時間です。
NOT AUDIO	●オーディオ用の信号ではありません。
GROUP OVER	●登録されているグループ数がすでに10グループを超えてグループの追加/編集ができません。
CANNOT GROUP	●登録されているグループ数がすでに10グループを超えて録音後、グループの登録ができません。 ●タイトル入力の文字数の制限により、録音後、グループの登録ができません。
NO GROUP	●グループ管理のないMDで、1-GROUPモードには入れません。
DIN UNLOCK	●外部光入力端子からの信号が無いので録音できません。
REC ERROR	●SRS録音中、CDのフォーカスエラーが発生して、録音できません。
FULL	●プログラムされている曲数がすでに25曲を超えているため、プログラムの追加ができません。 ●すべてのグループをプログラムしているため、プログラムの追加ができません。

（2）DVD/CDのメッセージ

メッセージ	内　　容
DVD/CD　00:00	●ディスク（DVD/ビデオCD/CD）が入っていません。
CD SAME TRACK	●同じ曲をプログラムして、高速録音しようとしています。
ERROR	●DVDメカが正しく働いていません。 ●電源を切って、再度電源を入れてください。
FULL	●プログラムされている曲数がすでに20曲を超えているため、プログラムの追加ができません。
DISC CHECKING	●SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）信号を確認しています。

49 主な仕様

センター部（USR-MS5DV）

《DVDビデオプレーヤー部》

信号形式	NTSC/PAL
対応ディスク	（1）DVD-VIDEOディスク 12cm片面1層、 12cm片面2層、 12cm両面2層（片面1層）、 8cm片面1層、 8cm片面2層、 8cm両面2層（片面1層） （2）コンパクトディスク（CD-DA、CD-R/RW、ビデオCD、MP3ディスク） 12cmディスク、 8cmディスク
S映像出力	出力端子：S端子　1系統
映像出力	出力レベル：1Vp-p（75Ω） 出力端子：ピンジャック　1系統
デジタル音声入出力	光入力端子　1系統 光出力端子　1系統

《MDレコーダー部》

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
サンプリング周波数	44.1kHz
音声圧縮/伸長方式	ATRAC/ ATRAC3　24ビット演算方式
チャンネル数	2チャンネル、ステレオ
周波数特性	20Hz〜20kHz

《チューナー部》

受信周波数	FM：76.0〜108.0MHz AM：522〜1629kHz
アンテナ	FM：75Ω不平衡型 AM：ループアンテナ

《アンプ部》

音声入力端子	TAPE（IN） CD-R（IN）
音声出力端子	TAPE（OUT） CD-R（OUT） PREOUT（スーパーウーハー） ヘッドホン スピーカー（1系統）
実用最大出力	20W＋20W（EIAJ 6Ω）

《タイマー部》

タイマー形式	1日1動作（オン/オフタイマー）
スリープタイマー	10、20、30、40、50、60、70、80、90分
時計表示	24時間表示 （時計精度　月差1〜2分）

《共通部》

最大外形寸法	（幅）　210mm （高さ）　154mm （奥行き）353mm
質量	約7.6kg

スピーカー部（USC-MS3）：1本当たり

形式	2ウェイ・バスレフ型
スピーカー	ウーハー　：12cm ツィーター：2.5cm
入力インピーダンス	6Ω
最大入力	50W
最大外形寸法	（幅）　155mm （高さ）　270mm （奥行き）240mm
質量	約3.2kg

パーソナルオーディオシステム（D-MS5DV）

電源	AC 100V（50/60Hz共用）
消費電力	電源　入（ON）時：75W 待機（スタンバイ）時：約1.2W
最大外形寸法	（幅）　520mm （高さ）　270mm （奥行き）353mm
質量	約14kg

■EIAJ規格とは、（社）電子情報技術産業協会（略称：JEITA）が制定した規格です。

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。
※本機は国内仕様です。
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。
AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
This product incorporates copyright protection technology that is protected by method claims of certain U.S. patents and other intellectual property rights owned by Macrovision Corporation and other rights owners. Use of this copyright protection technology must be authorized by Macrovision Corporation, and is intended for home and other limited viewing uses only unless otherwise authorized by Macrovision Corporation. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

50 著作権についてのご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■ 放送やCD、DVD、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
■ 従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
■ 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、『日本音楽著作権協会』（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。
■ ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
■ ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画像は乱れます。
■ 本機は、合衆国特許権と知的所有権上保障された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの許可なしでは、一般家庭用または他の限られた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先
（社）私的録音補償金管理協会
☎ 03（5353）0336

（社）日本音楽著作権協会（JASRAC）

本部	☎ 03（3481）2121
北海道支部	☎ 011（221）5088
盛岡支部	☎ 019（652）3201
仙台支部	☎ 022（264）2266
長野支部	☎ 026（225）7111
大宮支部	☎ 048（643）5461
上野支部	☎ 03（3832）1033
東京支部	☎ 03（3562）4455
西東京支部	☎ 03（3232）8301
東京イベント・コンサート支部	☎ 03（5286）1671
立川支部	☎ 042（529）1500
横浜支部	☎ 045（662）6551
静岡支部	☎ 054（254）2621
中部支部	☎ 052（583）7590
北陸支部	☎ 076（221）3602
京都支部	☎ 075（251）0134
大阪支部	☎ 06（6244）0351
神戸支部	☎ 078（322）0561
中国支部	☎ 082（249）6362
四国支部	☎ 087（821）9191
九州支部	☎ 092（441）2285
鹿児島支部	☎ 099（224）6211
那覇支部	☎ 098（863）1228

株式会社デノン

本　社　〒113-0034　東京都文京区湯島3-16-11
TEL：（03）3837-5321（代表）

後日のために記入しておいてください。	
購入店名：	電　話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

Printed in China　511 3921 000